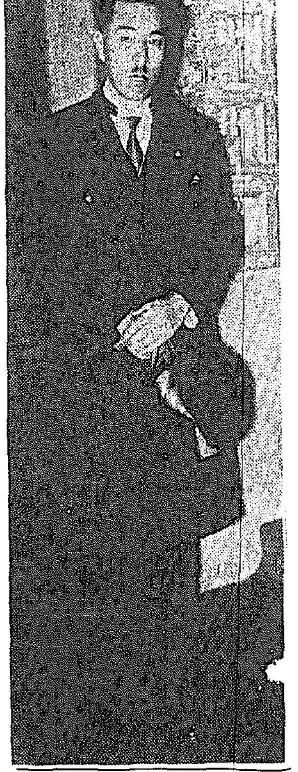
夕刊
京城日報
京城府太平通一丁目三十一番地 發行所 合資會社京城日報社

ふぐ料理 旭町一川

內閣總辭職決定
辭表を取纏め首相參內



【東京電話至急報】政府は四日午前十時半首相官邸に初閣議を開き總辭職を決定首相は全閣僚の辭表をとりまとめ午前十一時半參內した【寫眞は近衛首相】

近衛首相辭表を捧呈

【東京電話】近衛首相は四日宮中における政始の御儀終了後、午前十時四十分首相官邸に初閣議を招集し、內外諸情勢に照應して內閣の根本的强化を必要とするに至つた旨を述べ閣僚の同意を求めた結果、各閣僚とも首相の決意に異議なく贊同茲に總辭職に一決、首相は全閣僚の辭表を取纏め同十一時三十分首相官邸を出で宮中に參內

天皇陛下には拜謁仰付けられ總辭職を決意するに至りたる事情を奏上し、骸骨を乞ひ奉り闕下に辭表を捧呈した

天皇陛下には「何分の沙汰あるまで庶務に精勵せよ」との有難き御言葉を賜はり、首相は恐懼して御前を退下した

人心の一新を要す
新たなる庶政の工夫を廻らし
總辭職の理由に就いて 近衛首相語る

【東京電話】近衛首相は四日辭表を捧呈すると共に總辭職の理由について左の如く語つた

本日 私は闕下に辭表を捧呈致しました、私は一昨年六月乏しきを以て測らずも大命を拜し內閣首班の重責に當るや、日ならずして支那事變の勃發をみるに至り內外の時局頗みに重大を加へたのであります、私は菲才その任に堪へざるを恐れたのでありますが、事態の推移は容易に內閣の更迭を許さないものがありましたが故に敢て身命を賭し打つて今日に及んだのであります、然るに今や事變は新段階に入り東亞永遠の平和を確保すべく新秩序の建設に向つて主力を注ぐべき時期に到達致しました

惟ふ にこの意義ある事態に處するためには强力なる內閣の下に新なる庶政の構想工夫を廻らし以て人心の一新を圖ることの必要なるを感ずるものであります、而も事變に

政始の御儀

【東京電話】東亞の新秩序建設に邁進する帝國の稜威輝く、天皇陛下には、四日午前宮中東一ノ間に於て嚴肅なる政始の御儀を行はせられた 近衛首相以下各國務大臣、松平宮相、平沼樞府議長等フロックコートに威容を正して參列 天皇陛下には午前十時御軍裝に大勳位副章を御佩用、松平式部長官前行申上げ湯淺內府、百武侍從長、宇佐美武官長等を從へさせられて東一ノ間に出御、玉座に著御せ給へば近衛首相は恭しく御前に參進神宮の御事を奏上、滯りなく終へさせられた 次で松平宮相は宮中神殿のことを奏上し、御儀を終へさせられ 陛下には入御あらせられた

興亞の新政策【四】
樞密顧問官伯爵 金子堅太郎

◇…二年ばかり

であの通りルーズヴェルトの調停によつて日露の戰爭は濟んだ。さうして時にポーツマスの媾和談判が開かれるといふ直前です。小村外務大臣が日本を立ちロシアの全權ウヰツテもセントピータスベークを發つてアメリカに來るといふまだ兩全權がアメリカに着かぬうち、「媾和談判のことについて色々相談したいから一夜泊りに自分のオースター灣の私邸に來い」といふルーズヴェルトからの通知です。忘れもせぬ七月七日です。私はオースター灣に一夜泊りに行つた。一晩泊つて明くる朝々飯後ルーズヴェルトと二人で色々媾和談判のことについて打合せた後

「さて今度の日露兩國の媾和談判は是非成り立たせにやいかん誰も二年ばかりかかつて居るし平和に解決する樣盡力自分が盡力する。が今度平和になつた後日本政府のアジアに對する政策はどうするかといふこと、これが問題だ……日清戰爭で支那と戰爭をした、今度は日露戰爭でロシアと戰爭をした。さて將來日本はアジアに向つてどういふ態度をとるか、その態度のとり方によつて又大問題が起る。勿論日本政府の考へもあらうが、私の考へを一つ君に十分云ひたいから君が歸つたならば、そのことを元老及び政府に傳達して貰ひたい。これは私が踐てからアジアの問題を研究して居る結果として云ふのだが、今日露戰爭は平和談判すでに漕ぎつけた、これは無論平和條約が出來るが問題はその後だ。……」

さうして再び口を開いて彼が言ふには

「緊急第一に日本のモンロー主義をアジアに行へ—それはどういふ譯かといふに今から百年前にアメリカ合衆國は獨立した、併しアメリカ中部及び南アメリカといふものは皆小さな國であるそいつをヨーロッパの大國が來て、ある一國を好きなことをして自分の勢力範圍にしようとする。エスパニアも來る、フランスも來る、ドイツも來る、と云ふ風にこれ等が南アメリカの小國を奪ひ合つて自分の屬國にしようと狙つて來る。南アメリカにさう云ふヨーロッパの勢力が來ちや合衆國の政府が始終ヨーロッパと喧嘩をしないまでも外交が喧し氣になるからこれはどうしてもヨーロッパが南アメリカの諸國に一切干渉しない樣にといふ政策をとつて大統領のモンローと云ふ人が南北アメリカにヨーロッパの諸國は一切干渉をすべからずといふのが即ちモンロー・ドクトリンだ。このモンロー・ドクトリンによつて合衆國が中心となり南アメリカ諸國に色々干渉する奴を追拂つたそれからそれに順々獨立したペルーとかチリーとかブラジルとかアルゼンチンとかいふ共和國が出來た、全くモンロー・ドクトリンといふものを南アメリカに行つた效である、今朝鮮、支那と云ふものがこれと丁度同じ位置にある。支那が朝鮮を自分の屬國にしようとして到頭日清戰爭が起り支那を追つぱらつた。今度は又ロシアが來て朝鮮のみならず滿洲をとらうとする、さうして貴國の國が戰をして居る。朝鮮、支那を今のまゝに打棄つて置いてはどうしてもいかんから恰度我々の大統領のモンローがヨーロッパ諸國は一切南アメリカに手を出すことはならぬと言つたやうに、日本が「アジアは我が帝國の指導の下に從くから一切ヨーロッパ、アメリカは干渉することならん」と言つてモンロー・ドクトリンをアジアに行へ」—斯う言ふ大膽直ひ切つた意見であつた。私は流石に驚いた。

「なるほど君の論の通りアメリカのモンロー・ドクトリンとアジアのモンロー・ドクトリンと同じ事には違ひないが、どう言ふ譯でさういふ說をなすのか」

◇…もう一つ

突込んだ說明を求めた所

「今のまゝアジアを打棄つて置けばアジアはヨーロッパ、アメリカの蠶食するところとなつて將來日本は非常に困るぞ。それだから私はこれを言ふのだ。のみならず私は日本のことは年來研究したが日本人種といふものは實に優秀なる人種で、それは色々あるが、今度旅順の陷ちたのを見ろ、あの旅順といふものはロシアが何億の金を投じて最新なる築城法と最新なる機械と大砲とをさうして砲臺建築の學問のありと凡ゆるものを應用し、ありと凡ゆる文明の利器を利用し、ありと凡ゆる大砲を据えて旅順といふものは軍略上どの點から論じても殆ど難攻不落だ、とても歐米の人種ではあれを攻め落さう等いふとは及びもつかない。又歐米の兵隊ぢや決して落ちないやうな組織になつてゐるのをば乃木大將の率ゐた日本軍は—それは苦戰もしたし永くもかゝつたがともかくも落した。日本の兵隊だから落ちたのだ。外の兵隊、歐米の兵隊ぢや決して落ちぬと私は思ふ。日本人種といふものは戰にも强いのみならず僅か六十年ばかりの間にイギリス、アメリカの文明の利器を輸入して、制度、文物歐米に倣ふて發展してゐるぢやないか。現に鐵道も電信も電話も郵便も凡て交通機關はヨーロッパ通り。銀行その他經濟機關も歐米に採り、教育も然り、軍備も陸海軍共に立派なものを作つてゐる、制度の點で言へば地方制度府縣制度皆文明の制度を採つてゐる。斯う言ふ人種は世界の何處に居るか。これは日本人種一人だけ、外にはありはせん、日本人種は歐米の文明を咀嚼しそれを自分の國の制度と調和けのさせた頭を持つてゐる斯う言ふ人種は外に世界にはない。このやうな日本人にアジアの經營を任せて置けば日本人が日本を經營した通りにアジアを經營し、立派な文明のアジアにするだらう。吾輩は日本のことを研究したが日本といふ國は自分の國の習慣と歷史を基として歐米の文明を輸入しそれを日本古來の習慣、國體に調和せしめるだけの頭を持つてゐる。我々と少しも變りはせぬ。我々の文明の利器を利用し、文明の生活をしてゐると同樣同じ考を持つてゐる。さうして支那朝鮮に對してはどうかと言ふと同文同人種の國だ。字も同じ同文だ人種も同じモンゴリアンだ。さうしてこの日本人は支那人と朝鮮人が出來ない歐米の文明を利用することの出來る人種だから、勿論アジアを經營すれば我々が滿足するやうな經營をするといふことは我輩は疑はぬ。だから俺の考へぢやアジアは日本に委せて置く方がいゝ。ロシアやイギリスに委せて置いたつて碌なことは出來るものではない。日本に委せて置けば我々と同樣文明の政治をするに決つてゐる、から吾輩はアジアは日本に委せる方が世界の爲だと信じる。さうして歐米の人種は歐米だけを立派な國にして、アジアは日本に委して置くが一番いゝと言ふ私の考へだ。但し斯う言つたらイギリスが一寸異存を唱へるだらう。ロシアも異存を言ふだらう。がイギリスの取つてゐる印度とか香港、それからアメリカが取つてゐるヒリツピン、フランスが取つてゐる安南、又ロシアの取つてゐるシベリアからカムサツカの方はこれは既得權で西海岸までは日本の勢力範圍であるから日本のモンロー・ドクトリンは及ばぬ、西はスエズ運河からずつと東にカムサツカのアジアのモンロー・ドクトリンの範圍に屬する、その中の印度とか、安南とか、ヒリツピンとか、香港と言ふものは取除ける—これが俺の政策だ」と言ふ。

◇…其當時から

言へば實に途方もない雄大なもの日本のモンロー・ドクトリンぢやない世界の朝貢を私に膽々と說いたのである。

「實に君の論は雄大な考へだ。我輩はさうまで日本が君に知られてゐるといふことは今日初めて聞いた。勿論アジアの將來に向つての君の論には大贊成だ。困つたら早速政府の人に言はう。同時に俺は一つお前の此の議論を東京の公會堂で國民に知らせたいと思ふ。俺は演說する。それだけ俺に許して異れるか」

「や一寸待て、俺は今アメリカの大統領だ、君と俺は親密な間柄だから言つたのだが、それを君が東京の公會堂で世界に公表したのではアメリカの人民が承知すまい。大統領がこんなことを言ふ。併しから奴隸だと攻撃を受ける。今は大統領といふ職權を持つてゐる。任期が終つて一個人になつた時は、お前に手紙で演說の日にニユーヨークの公會堂で演說することを知らせるから。お前も東京で同じ日に演說したが上からう。俺の任期の終るのもあと三、四年だからそれまでは政府當局に言ふことは差支へないが、國民に言つて異れては困る」

「それぢや待たう」

と言つて待つて居つたのだが、彼が大統領の任期を終へて間もなく南アフリカで猛獸狩の際毒虫に刺されそれが原因で惡病死んでしまひ、彼の獻說は遂に聞くことが出來なかつた。私も言ふことが出來なかつた。

工業委員部を分割

【モスコー二日同盟】ソ聯最高政府會議は二日輕工業人民委員部を分割し織物工業人民委員部並に輕工業人民委員部の二部となすに決定した旨發表した、尚新設二部の人民委員に前者にコフシキア氏、後者にルキン氏が任命された

大命平沼男に降下？

【東京電話】近衛內閣總辭職による時局の收拾に關しては、近衛內閣退陣の經緯並に事變下の重大時局に鑑み、すみやかに强力內閣を要するので一面近衛內閣首班には時局を適確に把握し事變處理各方面の關係を融和統合して、擧國一致の實を擧げ得ることを第一條件とする觀點から現樞府議長平沼騏一郞男が最適任とされ、又一部には近衛公に再び大命降下せんと見る向きもあるが元老重臣方面の意見は平沼男奏請に一致してゐるやうで、四日中に平沼男に大命は降下するものと見られてゐる【寫眞は平沼男】

現閣僚の大半は留任し、更迭するものと見られるのは池田藏相、末次內相、有馬農相、中島鐵相、永井遞相などで板垣陸相、有田外相、木戶厚生相、八田拓相、荒木文相、鹽野法相などは現地位或は閣僚割振りの都合上居殘るものと見られる

大命降下せば けふ組閣に着手・
五日中に名簿捧呈か

【東京電話】大命が平沼男に降下した場合、平沼男は時局に鑑み極力組閣を急ぎ四日中に組閣に着手し、五日中には閣員名簿捧呈の運び

三長官政務官も辭表を提出

【東京電話】內閣總辭職と同時に風見書記官長、船田法制局長官、諸企劃院總裁並各政務官は近衛首相の手許まで辭表を提出した

風見翰長談

【東京電話】風見內閣書記官長談 總理は只今辭表を取纏め闕下に捧呈するため參內致しました、處すべき帝國不動の方針は先に畏くも聖斷を仰いで確定せられてゐるのであります、私はこそ重責を拜辭すべきでありまして、この上なほ任にとどまることは恐懼に堪へぬと思ひます、これ闕下に骸骨を乞ひ奉つた所以であります

原田熊雄男 園公と要談

【興津電話】西園寺公秘書原田熊雄男は四日午前十時坐漁莊に園公を訪問、東京の政情を報告種々要談した

湯淺內府 園公を訪問

【東京電話】畏き邊りでは後繼內閣首班に關し湯淺內府に御下問あらせられたので、內府は事の重大なるに鑑み西園寺公の意向を質した上奏答すべく御許しを願つて、四日午後一時東京驛發で興津に赴き坐漁莊に西園寺公を訪問した、內府は園公に御下問の趣旨を傳達すると共に、內外諸情勢を說明內府の見解を披瀝して園公の意見を求め、四日午後六時十八分興津驛發同九時東京驛着特急ツバメ號で歸京直ちに參內して奉答する豫定である

朝鮮總督府命令航路
仁川—青島
直行航路開始
仁川 每月 五ノ日發
青島 每月 九ノ日發
航路案內進呈
朝鮮郵船

滿洲國武官令公布

【新京四日同盟】國軍の精强化充實に資すべき武官令は、去る六十次國務院會議を通過、參議府會議の諮詢を經て四日之を公布したが、その內容は全文九十八條(一編二章二編五章、附則)よりなり主たる條文左の如し

第一編總則

◇第一章 服務紀律

第一條 武官は勅諭を奉體し聖旨を恪守し堅確なる軍人精神、並に嚴肅なる軍紀を涵養して勇往邁進に赴き欣然死地に就くの大節を持すべし

第二條 武官は特に國家の干城國民の中核たる矜を持し、毅然として正道を進み能く操守を固くし之が顯現を期すべし(以下略)

◇第二章通則

第十九條 武官を分ちて軍官、准尉官及軍士とし軍官を分ちて將官、校官及尉官とす。上將たる將官は特任官、中將及び少將は簡任官、校官及尉官は薦任官、准尉官及軍士は委任官とす(二十、二十一條略)

第二編總則

◇第一章補充

第二十二條 各兵科軍官(憲兵科軍官を除く)は官學兵科の軍官候補生又は少尉候補者にして、少尉に任ぜられる資格を具ふる者を以てこれを補充す(五十六條まで略)

◇第二章 官等及進級

第五七條 將官を分ちて上將、中將、少將、校官を分ちて上校、中校、少校、尉官を分ちて上尉、中尉、少尉とす、准尉官はこれを分たず、軍士を分ちて上士、中士、少士とす

◇第三章 俸與

(六十二條まで略)

◇第四章

(六十三條より六十六條まで略)

◇第五章 分限

(六十七條より八十二條まで略)

第八十三條 將官は終身其の官を保有し之に對する禮遇を受く、但し第八十四條又は第八十七條の規定により免官せられ又は失官したるときは此の限りにあらず(九十五條まで略)

◇附則

第九十六條 本令施行期日は國務總理大臣これを定む(以下九十八條まで略)

軍事諮議院令公布

【新京四日同盟】武官令の制定と共に新たに軍事諮議院を創設することになつたが、同院令は第六十次國務院會議を通過、參議府の諮詢を經て四日公布されたがその內容左の如し

▲軍事諮議院令

第一條 軍事諮議院は武官軍務に關し皇帝の諮詢に應ずるの所とす

第二條 軍事諮議院は諮詢を待つて意見を上奏す

第三條 軍事諮議院に議長、幹事長及幹事を置く

第四條 軍事諮議官は左の如し

治安部大臣、特に軍事諮議官に親補せられたる上將又は中將

第五條 軍事諮議院議長は諮議官中高級古參の者を以て之に充つ

第六條 必要ある場合においては重要の職に在る將官を以て臨時諮議官に補し諮議會に列せしむ但し其の關係せる議事を終へたるときは直ちに解職せらるるものとす

第七條 幹事長は參謀司長又は他の將官をもつて之に充て、軍事諮議院の庶務を整理せしむ、幹事は治安部の武官中一人を以て之に充て、幹事長の職務を補佐せしむ

第八條、特に親補せられたる軍事諮議官には副官として校尉官一人を附す

◇附則

本令は公布の日より施行す

本府御用始式
南總督から訓示

本府十四年度御用始式は四日午前十時から第一會議室で擧行された、各局、課長、判任官囑託以上、第一次所屬官公署所長一千餘名參列し、南總督から現職第三年の訓示があり、更に大野政務總監が參列高等官を代表して時局下滅私奉公を誓つて式を終つた

朝鮮軍

【京城電話】長期戰に備へて朝鮮軍の御用始式は四日午前九時、一同練兵場に集合、寒風の中に軍人勅諭を捧讀嚴肅な式であつた、なほ在龍部隊でも午前九時から各隊毎に行はれ、部隊長の勅諭捧讀があり滯りなく終つた

深澤部隊

深澤部隊の御用始式は午前九時半から本部前庭で行はれ、岡本總務部長、臼井參謀長以下全將兵參列のもとに深澤部隊長は嚴肅なる訓示を與へ、寒風の大陸の覇者は吹き下す南山嵐の中にも勇ましく無敵皇軍の威容を誇つた御用始式であつた、つて直ちに執務を開始した

鐵道局

鐵道局の御用始式は四日午前九時から工藤局長以下各課員參集、鐵道部第大ホールで行はれた

京畿道

京畿道の御用始式は四日午前九時半分から道廳第一會議室で全職員參列の下に擧行、甘庶知事の訓辭に對して神谷內務部長の答辭あつて閉式した

京城府

京城府の御用始式は四日午前九時廿分から府廳會議室で擧行、高橋府尹以下全職員參列の下に、戰時下の府政翼贊を誓つた

專賣局

專賣局では四日午前九時半宇野事業課長以下全員集合、御用始式を擧行、徐川局長の訓示に對して職員を代表して答辭があつた

遞信局

遞信局では四日午前九時十分から遞信事業會館で山田局長以下各係長以上參列、御用始式を擧行したが、山田局長の事變下における遞信事業の使命に關する訓示に對し佐々木工務課長が答辭を述べて終了した

僕の來た時分の總豫算より
殆んど二倍に達す
勅任を認められた事は成功
大野總監談

【釜山電話】歸鮮の途上にあつた大野政務總監は四日朝釜山上陸「あかつき」で歸城した、新年度豫算について左の如く語つた

新年度豫算は年末三十日に至り漸く決定した、折衝の結果約六億四千三百萬圓に落ついたもので、要求額に比して多少削られたが、その出入はあるが仕事を進める上に支障を來たす程の削減はない、特に一般豫算に於て勅任增員は認めぬ方針であるが拓務、企劃部長、保健課長、小鹿島更生園長等勅任を認められたことは成功したといつてよからう

厚生 局、地方課を新設されなかつたことは惜しいが時局柄止むを得ない

京慶 設計も出來上り

咸南 端川、濟州島の築港は二ヶ年繼續五十五萬圓の小規模乍らも出來る、のだが、これによつて交通の便を增し資源の振興、紙木アルコールの增産等に貢獻するところ大なるものと期待してゐる

僕の 來た時分の總豫算二億一千萬圓程であつたが、殆んど二倍に達した、將來或は押上げを必要とするかもしれぬが、現在では斯うした計畫はない、何れにしても時局と關聯した施設をしたことは物價の騰貴や、貨幣價値の低落等の影響もあるが朝鮮の實力が充實した結果と解すべきで愉快に堪へない【寫眞は大野總監】

時の錄音

地球は大きく公轉して、ここに意義深き昭和十四年の錄音は始まる。先づ以てお目出度う。

×

その最初の大きなる錄音は、近衛內閣の總辭職。

×

正に晴天の霹靂には相違ないが、既にその情勢は豫知し得たこと。戰時體制强化の爲めか。

×

汪の聲明を御題目にして、それでも果して支那は安きや否や。

×

しかも、その發議文に「我國は百餘萬の將兵、數百萬の同胞を犧牲にし」云々は笑止々々。

×

わが軍當局の發表よりも多いところ、白髮三千丈式の强がりのみとは申されまい。

×

何はともあれ、日本は精一本槍で行きませう。

陸相閣議の結果を報告

【東京電話】板垣陸相は總辭職決定後一時陸相官邸に中島參謀次長、山脇次官、町尻軍務局長、富永人事局長等を招き閣議の結果を報告、これを中心に協議を重ねた

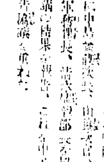
木戶厚生相首相と要談

【東京電話】木戶厚生相は三日午後一時半首相を私邸に訪ひ近衛首相と要談した

號外發行

四日午後內閣總辭職決定の號外を發行、速報致しました

開花三世相【76】
村松梢風 中一彌畫



金剛不壞(一)

武州の小金井村は花の名所で、花盛りの時は江戶から見物人が群れるが、平常は非常に閑靜である。此の小金井村の內に國分寺がある。國分寺は、人皇四十五代聖武天皇の御宇、勅して日本全國に一國一寺を建立させ給ひし大寺で往時は常住伽藍の莊嚴を極めたものだが、武州の國分寺は久しく前火災で全燒して以來再建も出來ず、廢寺となり大な寺域は只荒れるに任せ、樹木鬱蒼として狐狸の巢となり、今では狐狸の棲家と化してゐる。

さういふわけで現在は寺の跡を留めてゐるに過ぎないが、只境內の一隅に金王堂といふ小堂だけが殘つてゐる。

金王堂といふのは、佛寺の金王經を納めたところであるが、國分寺は古來三度も火災に遭ひ、其の時金王堂も燒失したから、聖武天皇が御寄進遊ばされた金王經は勿論保存されてゐる譯ではない。

現在の金王堂といふのも實は假堂である。本堂其の他が燒失して寺が退亡した時、これだけの名刹を全然名殘も留めず失はせることを惜しんで金王堂の跡に草の庵を結んだ僧があつたので、やがて土地の人々が木や竹を持ち寄つてともかく寺の形にしたのが現在の建物であつた。其の後幾年の年月が經つてゐるか分らないが、再び屋根は朽ち、柱は傾いて、雨も漏るであらうと思はれるのに、矢張り住庵に住んでゐる僧がある。別に檀家があるわけではないが、さりとて附近の村落に頼つた布施もないやうな暮し方をしてゐる。

暮い盛りに、ブラッと此の金王堂へやつて來たのは、小金井村の住人で安積彌太郞といふ郷士だ。

彌太郞は國學と水戶派の儒學を修め、文章、詩歌を得意とするが、同時に神道無念流の劍術も達してゐる。

彌太郞は武州では最も早くから攘夷を唱へた人で、關東の攘夷派の間に隱然として重きを成してゐた。そんな譯だから自然幕府筋から睨まれるやうになり、近年は殆ど土地にもゐず主として京都方面で活躍してゐるといふ噂であつたが、近頃は又々故郷へ歸つて來てゐると見える。

年は廿三、丈は低く、色が黑く小肥りで風采は上らぬ方だが、分別に富んでゐるさうな人柄、木訥の自髮の着物を着て、羽織も袴もなく、腰に一本だけ差してゐる。

「やあ和尙さん、お寒うムいます」

表から聲を掛けると、

「これは安積先生、大變お早いお越しで」

「まだ誰も見えませんか？」

「はい、何方もまだお見えでムいませんよ。併し其のうち皆さんお出でになるでせう。どうかお上り下さいまし」

と云つたのは年頃四十前後の坊さん、顏色の法衣を纏つてゐるが眼中鋭く、どうやら一癖有りげな面魂だ。

勅選二名の補充を決定

【東京電話】政府は四日の閣議で左の如く勅選議員二名の補充を決定し、直ちに御裁可の手續をとり即日發令された

大阪商船社長 村田省藏
早大總長法學博士 田中穗積
貴族院令第一條第四號により貴族院議員に任ず(各通)

靜中動の不氣味さ
朗々と聞ゆ謠曲の一節
時の人・平沼樞相邸のその朝

【東京電話】近衛内閣の總辭職によつて俄然政局の前面にクローズアップされた時の人―平沼樞府議長は慌しき政局の身にしみる寒行きをひし〳〵と感じつゝ四日午前六時過ぎ起床すると平生は朝めし拔きの[illegible]持久主義にも似ず今朝は牛乳にパンで腹をこしらへた後愛育のシエパード牡富士號を相手にチラ〳〵と降り續く初雪の中を庭に出て深呼吸しこれから毎朝日課である謠曲「[illegible]」

一曲　を朗々と謠ませ午前九時十五分にはフロックコートに威儀を正して政治始めの御儀に參列のため參内、同十時半分歸邸した、その時にはもう淀橋區西大久保一丁目の平沼邸前には各新聞通信社の自動車が二間幅しかない道路にぎつしり、淀橋交通巡査が出動したやつと車の波をくゞつて門内に入るとそこでは早くも各新聞通信社の急造のテント村が紅白の幔幕で出來上つてゐる

健康　な樞相は緊張の色もなくゆつたりとした足取りで邸内に入つたがすぐ大島の着物に着替へて一階の和室十疊の間に入り日本茶で喉をうるほした、男やもめの樞相の家には令兄の故平沼淑郎博士の長女で海軍大佐飯田[illegible]氏の夫人となつてゐる節子さん(四五)一家が約十年程前から同居し更に淑女さんの長女で[illegible]花子さんが目黒高女二年生の智恵子さんそれと日本大學三中一年生信雄君(一三)の二人を預つてゐるので邸中[illegible]はたつた

一人　で姪の一家が樞相を[illegible]それで樞相は獨身ながらに家庭の暖かさに浸つてゐられる譯だ

酒も飲まず近頃は[illegible]て七十三歳の[illegible]くしやくとして力強い[illegible]午前十一時半頃樞相が一番可愛がつてゐる淑女さんの次女で中川[illegible]四郎氏夫人節子さん(二九)が澁谷[illegible]山から赤ちやんのヨシ子さん(二つ)を抱いてあわたゞしく馳け付けて來た

目ぼしい訪問客はなく靜中動の不氣味さだつた、邸の周圍には淀橋署の警官約三十名が配置され物々しい限りだ

畑大將懷しの故國に
上陸第一歩を印す

【門司電話】前年松井大將の後を受けて中支方面最高指揮官として徐州攻略後江南の線に轉じ、前後[illegible]赫々たる武漢三鎮攻略の[illegible]威武を中外に宣揚した畑俊六大將は、三日午後[illegible]時門司入港の○○○にて鈴木少將、大内歩兵少佐、高橋砲兵少佐の幕僚と共に松井西部防衛、田島下關要塞兩司令官その他多數の歡迎官民に迎へられ、船中で挨拶を交はされた後、午後四時聖戰三年の新春を迎へる故國に上陸第一歩を印した、畑大將は「一寸上までは何事も絶對にお話申上げることは出來ない」と固く口を緘し、隨員が記者團に左の如く語つた

畑閣下は第一線將兵と別れて只一人戰線から歸還されたことについては言ひ難い感懷を持つてをられます、また陣歿將兵、遺家族及戰傷病兵に對しては誠に氣の毒に思つてをられます、閣下は戰地に在任の間銃後から第一線將兵に寄せられた熱誠なる御援護に對して感謝してをられます

なほ同大將は下關に渡り山陽ホテルに少憩、同夜八時發の特急富士で東上の途についたが、途中[illegible]泊、五日朝に東京へ[illegible]

畑將軍の足跡

【上海三日同盟】昭和十三年二月[illegible]を受けて中支派遣軍最高指揮官に[illegible]軍の行くところ[illegible]破竹の[illegible]武漢占領後の戰局は一轉して長期建設戰に入つた、この秋[illegible]過去の武漢攻略をはじめ中南支戰線に於ける武勳に輝いた中支方面最高指揮官畑俊六大將は晴れの歸還を命ぜられ、三十一日午前十時南京下關發

故國　に向つた、畑將軍のこの大きな足跡を顧みると二月二十三日大命を拜し前最高指揮官松井石根大將の後を受け、同月下旬上海に上陸、南京[illegible]後の支那軍は[illegible]津浦線、隴海線に沿ふて八十ケ所の大軍を集結し徐州を中心に[illegible]新、宿州、蒙城、歸德、蘭封、開封の各地に堅陣を構へ大部隊を配して徐州を死守せんと猛烈な抵抗を續けつゝあつた、之に對し畑將軍は一擧に之を殲滅すべく徐々に作戰を練り攻略の準備を進め、この間北支より南下する皇軍と緊密なる連絡を保ちつゝ徐州包圍の[illegible]戰を布き、將軍らは津浦線[illegible]南馬五月上旬戰術[illegible]三軍を叱咤して命令一下總攻擊の火蓋を切り

行動　開始後僅か半ケ月にして五月十九日早くも徐州に日章旗を翻へし、世界戰史未曾有の大殲滅戰に見事成功し、その餘勢は南下軍の最高指揮官寺内[illegible]の一大防禦地帶を誇る大別山系の堅壘には、長くも東久邇宮殿下の率ゐる勇猛果敢部隊が之に當り武漢防衛は三方から漸次縮少された

の男名と共に永久に戰史の一頁を飾りて、同月二十五日徐州飛行場に於て兩將軍は歷史的會見をした、次いで海軍に立直る暇も與へず海軍と協力の下に大膽なる長江溯江作戰を開始、拔打的に六月十三日蕪湖上流の安慶を屠り江北には廬州から行動を開始した精鋭部隊が安慶占領と時を同じうして敵水を確保し

戰局　は豫想以上に急進展した、安慶占領後更に廬州江上遡擊部隊と緊密なる連絡を保ちつゝ協力して前進又前進、七月四日敵の海軍根據地たる湖口を占領し敵艦を急追して同月二十六日九江を確保するや、直ちに武漢攻略の戰備にとりかゝり八月に入るや先遣部隊を派して廬山南麓の星子、九江西方の敵根據地たる瑞昌を占領し江北、江南の兩戰線進擊部隊の歐躍を[illegible]へ海軍江上部隊の湖江作戰と相俟つて八月下旬武漢大攻略戰の火蓋を切つた

斯く　て一路漢口へ漢口へと進擊を續け武漢三鎮を目指す皇軍の士氣は[illegible]上にも揚り、[illegible]軍は[illegible]九江に進み連日不休三軍を統率[illegible]は[illegible]西方の[illegible]たる堅陣を突破し猛烈なる山岳戰を[illegible]敵の武漢の一大防禦地帶を誇る大別山系の堅壘には、長くも東久邇宮殿下の率ゐる勇猛果敢部隊が之に當り武漢防衛は三方から漸次縮少された

趣味は乘馬位さ
山田中將記者團と初會見

【南京三日同盟】畑前中支軍最高指揮官の後任として新たに着任した山田乙三中將は三日午後一時[illegible]に於て記者團と初會見を行つた、電氣ストーヴ一箇を取付けただけの簡素な應接室は將軍の簡素な陣地生活を思はせるに十分なものがある、温顏に笑を湛へつゝ山田將軍は「支那は始めてでこれからは諸君に教へて貰ふことばかりである」と劈頭して記者團の質問に答へたから大要左の如く語つた

飛行機でここまで飛んで來てから毎日○○と○○の間をピストンのやうに往復してゐるだけだから南京の模樣はよく分らぬが思つたよりも南京が繁榮してゐるので喜ばしいことだと思ふ、南京は北方と違つて水や樹木が多いからこの點日本と似てゐて

趣味は何かといつて別に何もない、ただ強ひて言へば乘馬位のものである、運動のためにもなるし[illegible]が、南京は天氣が惡いので[illegible]に居たが漸く[illegible]方面の[illegible]と掃蕩されて一般人の住居も安全となつてゐる

最後に「記者諸君もしつかりやつてくれ給へ」と激勵し記者團は五時半辭去した

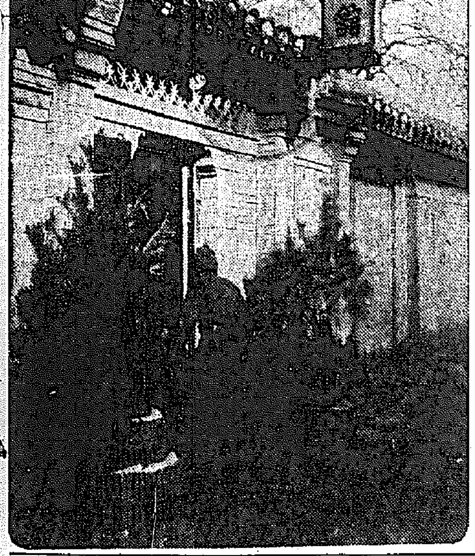
山田中將經歷

【東京電話】新中支派遣軍最高指揮官山田乙三中將は騎兵科出身、同期には宇佐美武官長、西尾教育總監及び前中支方面最高指揮官畑大將がある、東京府出身本年五十九歲、朝鮮軍參謀、參謀本部第三部長、同總務部長などを歷任し昭和十年十二月中將に進み十二年三月滿洲に於ける[illegible]補せられ今日に至つた

和やかな迎春風景
聖戰下第二春の北京

聖戰下第二春の北京はまつたく日本色一色の正月だ、現在の在住日本人は凡そ三萬事變前に比べると實に十倍の增加といふ素晴らしい發展振りで、街々には「おでん」「木たゞ」といつた純日本食堂が店して、胡同の入口ごとにある純燈の店名も賑かしくも賑やかである

駐在し、料理屋や旅館などもは去年までは恐ささへ敷いてあれば重寶がられたものが、今では内地にも負けない數寄を凝らしたのが續々開業し、門松たてゝ純日本風なお正月を、戰線のあひ間に愛ぎを晴らす皇軍の勇士もあれば、支那服の婦人も料亭の門を潛つて和やかな迎春風景だ【寫眞は北京の門松】



武裝支那正規兵
總領事館員を拉致
國境視察中の鹽見書記生

【ハノイ三日同盟】佛印領内に於て我が總領事館員が武裝せる支那正規兵のため不法拉致された前代未聞といふ一大不祥事件が發生した……十二月二十九日佛印派遣ハノイ總領事館鹽見聖策氏は同國境南關附近を視察中、國境線まで僅か[illegible]

鮮かな寢業
殊勳の森脇君表彰

三日午後七時半ごろ京城錢湯町三五仲居高須チヨ方留守宅に怪漢が侵入一仕事の後逃走しかけた處に、湯から歸宅の「泥棒」と叫んだので風呂敷包みを背負つたまゝ逃げ出したが龍山[illegible]に[illegible]約五百圓を盜んでゐた、兇賊を取押へて殊勳の森脇正人君(二〇)は四日午前署長から金一封と賞狀を授與されたが元氣で語る

格鬪の現場を通り合した時は文句なしに腕が鳴つて思はず組み付いて了ひました、凄い程の大男でしたが「柔道を知らんか」と言つて首を絞めた處難なく縛につきました、死に角手錠の氣なかい程太い腕をしてゐました

職工同志
五十餘名亂鬪
微慶町で流血の慘事

三日午後五時頃京城微慶町一八九の染織物工場職工金某(二〇)が同僚女職工金[illegible]の歸途に就かんと工場先へ出た處、待ち伏せてゐた[illegible]金某の背後から組つき胸部に全治二週間の危害を加へ、更に工場男女職工五十餘名が入亂れて流血の亂鬪を演じ双方とも多數の負傷者を出した、東大門署では關係者を引致して取調中である

年賀郵便激減
電報は却つて增加
自肅とスピードの時代反映

京城郵便局で取扱つた年賀郵便特別扱ひによる年賀狀は、引受總數十六萬九百九五十二通で前年に比して四百九十四萬八千二百四十四通の大激減、到着は七百十四萬六千七百九十七通でこれまた四百三十萬二千五百廿一通の激減、時局色を反映したが、銃後國民の生活指標が窺はれる、これに反して京城外廿四局で取扱つた年賀電報を見ると着信は四千四十通と前年同樣であるが、發信は前年より二割七分を增加して二千二百四十九通、さすがにスピード時代の京城ッ子氣質をそのまゝに現はしてゐる

小包郵便の取扱數は引受十一萬六千八百八十七箇、到着九萬千二百三十箇で引受二割一分、到着四分と何れも前年に比して增加してゐるが、引受の大部分は戰地に送るお年玉の嬉しい包み、到着の殆んどは遺家族の家庭へ配られる慰問の品々でこゝにも聖戰下のお正月らしい匂ひが漂つてゐる

轉業相談所店開き
軍需工業化への指針

京城府では時局下の生産擴充に協力する大規模の[illegible]工場の新設を完遂の銃後下におかうと聖戰第三年を迎へた昭和十四年を期して劃期的な時局對策『京城府轉業相談所』の新設を中心に、百萬圓の廢品統制會社の創設とそれに伴行

眞に　時局下の生産擴充の[illegible]京城府では[illegible]事業の約[illegible]中小平和工業の上にも著しき[illegible]統制の平和工業、有機的な關聯を有す

有す　る各機關を非常時府策或は代用品產業への轉換樹立が緊急事として要望されてゐるとき

愈よ　今春早々看板も鮮やかに新生する運びとなつた譯で、將來の大規模な工業指導所を目ざして少くとも十萬乃至二十萬圓の豫算を以て時局下に蘇る生産都市京城建設のために積極的に乘出すこととなつてゐる、なほこれと密接な關係を以て進められる廢品統制會社と再生工場は一ケ年平百萬圓を超える金額のボロを立派な再生品として差り出す筈である

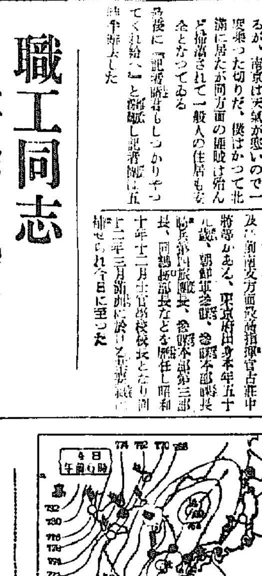
和産業は相當以上の深刻な打擊を受けてをり、京城府内に產業構成上最も重要な地歩を占める府内企業の[illegible]生となつた、京城府では時局によつて驅かされてゐる經濟關係の推移を從來の平和產業から切換へし、ての脚光に照らし出すこと

新嘗祭獻上穀耕作道

米は慶南、粟は咸南

本年の新嘗祭獻上穀耕作道は米は慶南道、粟は咸南道と決定、一月四日御用始當日南總督の御決裁を得て兩道へ電報通牒を發した、兩道知事は道内耕作者を選定のはずである

四日朝の天氣概況



高氣壓は蒙古地方に發達して七八四粍を示し其の外沿海州及東北地方海岸に執れも七六八粍のものがあり、低氣壓は日本海及濟州島東方に共に七六〇粍のものがあつて此の二つを貫く不連續線があります、天氣は滿洲は東部及遼東半島は曇で其の他は概ね晴朗、鮮內は北部は雲多く南部が晴で湖南地方は高氣壓が强うございます、內地は西日本は曇地方及北海道では所々雪の所があります、其の他は晴、鮮內の氣溫は平年に比べて三度內外の高目を示し一般に吸ひ方です

金買上手數料
一錢に値下げ

「みんな國策に協力しよう、そして政府へ金を賣らう」と、朝鮮銀行では六日から純金一瓦に付一錢の買上手數料を一錢に引下げることになつた──この大巾の引下げを行ひ朝鮮銀行の買上の增加を外視してまで金の買上と政府集中を促進しようといふのであるが、金を死藏させる時期ではない、持つてゐる金は金の指環でも、指輪でもみんな國策の線に沿つて政府へ賣らう、これも銃後の一つのつとめだ、といふ一般大衆の金の供納を期待したものである

(一名)の頭部に噛つきを喰はして重傷させた、これがため兩工場男女職工五十餘名が入亂れて流血戰を演じ……

か二百名の佛印領內へ侵入し來れる武裝支那正規兵卅名に拉致されそのまゝ支那領內に拉致され今日に至るも消息不明である、我が總領事館では直ちに佛印當局と連絡善後處置を講じてゐるが身柄は更に奧地に拉致されたものと見られ、その生命も危ぶまれてゐる

生活難から
自殺未遂一件

正月早々生活難の自殺未遂二件──京城阿峴町四六の三○九李小壽(二〇)は二日午後四時ごろ自宅で[illegible]を嚥下自殺を企てたが家人に發見され高麗病院にかつぎこまれて生命別條なし◆三日午前七時半ごろ阿峴町三五二金[illegible]は自宅で苛性曹達を呑んで自殺を圖つたが家人が發見手當して一命を取止めた

明進舍に寄附

三橋本社京城支局長、伊藤同事務局長は不幸な孤兒を育てゝゐる京城新堂町明進舍の事業資金に金一封を寄附した

手賀傳氏

朝鮮取引所常務理事長手賀傳氏(五八)は卅一日午後一時死去、葬儀は八日午後二時より大和町曹谿寺で執行

天氣豫報 (五日)

黄海	南西乃至北西の風稍強く	一般に晴れ今夜から朝の[illegible]
京畿 北忠南	〃	〃
全北 全南	北乃至西の風弱く	一般に晴れ[illegible]
慶北 慶南	〃	〃
平南 平北	北西乃至北東の風	晴
咸南 咸北 江原	西乃至北の風弱く	〃
咸南 北[illegible]	〃	〃

仁川の潮時 (五日)

	午前	午後
滿潮	[illegible]	[illegible]
干潮	[illegible]	[illegible]

京城地方　【今晩】北西の風晴れ寒くなる【明日】同じ

仁川地方　【今晩】北の風【明日】北の風晴後晴

京城溫度(三日)最高零下一度六(四日)今最低零下十一度、六朝零下四度五正午零下二度四

交響曲 第九 ベートーヴェン曲 (合唱) ワインガルトナー指揮 ウイーン・フィルハーモニー交響樂團 ウイーン國立歌劇場合唱團 短調 作品一二五番 16

絶讚！好評！ 曾てなき此の曲の最高表現！完璧の名演奏と詳細なる解說御推奬

豪華アルバム入 あらえびす・有坂先生御解說の解說書つき (十二吋盤九枚) 二十八圓五錢

日本テレフンケン キングの洋樂

交響曲 シューベルト「未完成」 ブルーノ・ワルター指揮 ウイーン・フィルハーモニー管絃樂團 モーツアルト K五五一

Columbia 傑作集 第三〇〇輯 一月末日迄一組毎に綜譜を贈呈 (十二吋 全四枚 アルバム入)

コレコロムビアの時代

桃屋の桃の罐詰 品質第一等 生より美味しい 白桃、黄桃 各デパート及食料品店にあり 東京桃屋商店

病人と弱い兒には 醫學博士が百度證明の 胚芽米の五百倍のビタミンBと多量の有價成分を含有の滋養保健料「イマヅ」ビタ素を ぜひ用ひよ！病人に治り早く弱い兒は丈夫に育つ 一月分八十錢 三月分二圓四十錢 特約店京城各藥局 大阪[illegible]

初春 アケマシテオメデトウゴザイマス 大子供會 五日より十日まで 會期中御來場のお子たち樣に限りお年玉を差上げます 六階ギャラリー

新春用 名古屋帶陳列會 十日まで 三階 吳服賣場

全國帝國大學學生寫眞聯盟作品展 五階ホール 主催 京城帝國大學 會期 五日より十日まで

京城 三中井

謹賀新年 昨年末多忙の節は何かと不行屆の斷行を恐縮に存じます。尚本年も相變らず御引立の程偏に願ひ申上ます。

主催・朝鮮防共協會 防諜防共映畫映寫會 四階ホール
各國人形玩具蒐集展 五階ギャラリー

京城 三越

新らしい年の始めに… 祝2599年 新らしい味のこの菓子 菓子店にあり [illegible]

改築御披露
純北京料理でお馴染の共和樓が昭和通りに改築されました 明朗なる階上ホールの[illegible] 一流コックが腕によりをかけての滋味求眞のサービス 皆樣の御來館をお待ち申して居ります
★宴會は共和樓で★
純北京料理 共和樓 京城昭和通り 電本一八七三番

戰捷の春！銃後の清新娛樂に！
初春ぞめき ビクター人氣歌手總出演のユーモラスな新年向傑作盤 (上)歌留多會の巻 (下)追羽根の巻 古川緑波・市丸・藤山一郎 他
當世ぶし 鈴木正夫・市丸
どんと節 鈴木正夫 月明の歌聲にはるか故郷を偲ぶ
ビクターレコード

總督府認可 京城第一自動車學校 自動車ヲ學バントスル者ハ他ノ追隨ヲ許サヌ本校ヘ 京城黃金町六丁目

德永小兒科 醫學博士 德永 勤 西小門町四一 電光二九六

銃後の新年　京日俳句紙上互選　第一回入選

選者　富安風生　水原秋櫻子　臼田亞浪

全日本俳壇に反響　應募三萬四千句　優秀句三百選出さる

中島俳壇に於ける劃期的催しともいふべき本社主催『京日互選俳句』は、果然自然的なる人氣を博し、時は宛も戦勝氣分横溢せるの秋、その題も時局に應はしき『銃後の新年』であつただけに、富安風生、水原秋櫻子、臼田亞浪等三選者のもとには毎日山なす應募俳句が配達され、締切日たる十二月十日までには朝鮮内は勿論北は北海道、樺太、南は沖縄、西は北支、滿洲等からまで總計七千二百三十餘人よりの投句あり、その句數三萬四千餘に及んだといふ盛況振りで、爾来各選者に於てはそれ〴〵優秀と認める句について愼重なる選をなし、こゝに左記三百句を得るに至つた。即ち左記三百句の作者はそれ〴〵所定の『互選規程』により互選資格を得た譯であり、それ等三百名によつて愈よ最後の優秀句が選出される譯である。互選有資格者は、別項互選規程により、期限内に互選の上本社あてに送達されたい。

入選三百句

1 歓呼は長し大いなる皇紀迎ふ
2 松の内千人針の姉妹かな
3 三顧を啓りて年を新にす
4 射撃場の夕靄深し松の内
5 あな努と今日の初空澄み渡る
6 軍國のつゝましき松飾りけり
7 御降りに濡れしまゝなる出征旗
8 新年や母の揚げし日の御旗
9 初空や大日章旗へんぽんと
10 歓聲す初明りいま地に曳けり
11 賀状只征戦の地にありとのみ
12 初詣り我が子の武運祈る母
13 初詣で九段上れば兵と逢ふ
14 初夢に入りたる夫を懐しむ
15 征き送る村の銃後や初硯
16 凧の音のうかり上るしき[illegible]
17 面長の國民服の御慶かな
18 縫初の千人針を乞はれけり
19 打ち揃ひ武運を祈る初詣で
20 國民服の一團来たり初詣
21 御飾に戦地の賀状供へけり
22 冬山をめぐる雪や初詣
23 初詣人は溢るゝばかりなり
24 戦地にも手に弾薬の屠蘇交す
25 聴初の戦況ニュースめでたさよ
26 室に積み廊下に積みぬ鏡餅
27 初日かげ大らかに島浮びけり
28 傷兵に馴れてあそべり初雀
29 読初やこの地圖支那に細きたる
30 大陸にいくさはすゝむ國の春
31 南山に仰ぐ銃後の初國旗
32 初空へどの家の旗も光り貫ふ
33 蓬莱を砧の石に飾りけり
34 神となりし子を想ひつゝ歌始
35 留守て征く夫の門松のみづみづし
36 門松に白き雪あり兵舎暁く
37 初風や軍旗静かに日に垂るゝ
38 弓矢古る家門日出たし弓始
39 縄をなふ銃後の父の初仕事
40 入營旗初日の渡し渡りけり
41 日の丸の色褪せにしを初祝
42 大凧をあげて戦捷祝ひけり
43 大國旗初東風へ引き揚ぐる
44 太刀佩きて征く日ぞ願ふ初詣
45 元朝の雪踏いて来し新願宗
46 初けぶる海をうしろに歌始
47 輪飾や聖戦に在る兄の跡
48 縫初の千針に澄めり處女の瞳
49 初御空夫はいづこに弾かざす
50 二人の子みいくさにあり歌始
51 ときめきや賀状に混る軍事郵便
52 初刷の陣中便り囲み讀む
53 正月も休まず炭を焼き続く
54 つぎつぎと武運を祈る初詣り
55 出征の子に父老いぬ山始
55 元日や大地圖掲げて兒童に語る
57 初日の出傷病兵ら座を正す
58 東海に上る初日や旭の如し
59 高らかに臣民誓詞四方拝
60 兵の妻若水汲みて祈るなり
61 子の消息入れて戦地へ初便り
62 雲を率て眞東よりす初日の出
63 出征の名を列ねけり謡始
64 屠蘇酌むや銃後の覚悟新たなり
65 武威の春地上白き雪に若す
66 弾初の戦國の歌玻璃をうつ
67 高射砲据へて凧のひるは狭ゆ
68 門松や枯れし一本に星浮く
69 初空にきらめきのぼる機影哉
70 歌留多の灯内地の灯や大陸照ゆ
71 初日かげベット並べ病む
72 お鏡も太く武運の神おはす
73 母として筆ふみ来り初詣
74 子等征きて夫婦の雑煮かな
75 初東風の下にはためく旗見ゆ
76 大君に二人捧げて老の春
77 幾山河越えし吾が子の初便り
78 二兒を君に捧げて嬉し老の春
79 戦場の麺に新年の日を迎ふ
80 前線の便り賀状と共に来る
81 雪道を辿りつきけり皆大神
82 書初めは陣中に贈る妻の筆
83 父に似し兒を抱きあげて初詣
84 初御空長期建設のアドバルン
85 初刷や戦捷の文字あふれたる
86 男の子みな召されず年立ちぬ
87 戦捷に民安らけく屠蘇祝ふ
88 初空の青し御旗の翻る
89 元朝の國歌御旗謹まりぬ
90 門松で歌ふ譜のかがれ来て
91 門松の前を通りし旗の波
62 初府壁に古びし戦況圖
93 初空を見つゝ窓辺に兵病む
94 縫よ来よ千人針の縫初め
95 入營を送る初風ぎの出船かな
96 初風呂に征く兄の背を流し
97 初荷馬鈴を鳴らして凱旋よし
98 初東風や高射陣地の和みをり
99 初日今銃後の國を照らすなり
100 たゞかひのさなかの陣東始め
101 はつ雪車出征兵と乗り合はす
102 元日やますらをのこと偲びつゝ
103 新しき世紀を刻む初日影
104 書初の子の父びとはいくさに
105 征く家の明く羽根のひゞきゐる
106 元朝や軍需工たるわが矜持
107 父召され我は若水汲みに行けり
108 兵送る灯のしらじらと飾り注
109 我が夫に送りし餅の雑煮かな
110 年新た古き支那地圖に新たに
111 正月二日にてはやミシン踏む
112 初御空荒鷲一機低う舞ふ
113 初鏡征途の夫をまぼろしに
114 戦場の夫の碑より初日記
115 大いなる歴史の影そ日の出
116 大捷の宇風に野空晴る
117 元日やまづ皇軍の幸いのる
118 消息の絶えゐし兵の賀状来る
119 元日。國につゝがなし兵の祖母
120 ぬかづけば心新に初日さす
121 馬征きし厩に深く初日さす
122 留守まもる犬の家にも飾かな
123 忠魂碑初日に母ぞたちつくす
124 戦車踏んで銃後の初詣で
125 破魔弓や遺骨の子のたくまし
126 母娘してねぎこと長し初詣
127 門松をトーチカにして戦ごっこ
128 たゝかふニュース聞く初暦
129 兵の子の凧ぐんぐんと揚がる
130 戦捷祈願神前の雪に歩を印す
131 出初をして本営に戻りけり
132 元朝の輪飾り隊と寒安慰
133 戦捷祈願へのびくる初明り
134 銃眼に氷鳴りつづくるお元日
135 銃眼視ふ母子やいくさ祈りつ
136 植初のモンペの母子が餅をふみ
137 新年に軍需工場址をつらね
138 若水に南支をおもふ顔うつり
139 春晴に日の丸かゝげ草の宿
140 初詣兵に召されし兄の子と
141 初凪の島見えそめし輸送船
142 出征の父の寫眞と初詣
143 凱旋の兄を囲みつゝ
144 社運の月の暦の名札ありに
145 夫の頭欽ずりて銃後の決せしめ
146 兵五人征かしめし戸や松飾り
147 戦塵の○○より賀状かな
148 兵の兒の母とつゝまし松の内
149 初荷船一齊ドラに凪ぎ明くる
150 木蔭の手郵と初稽古
151 漢口の土に汚れて賀状かな
152 兵の子の凧あぐるにも父想ふ
153 輪飾や召されて留守の庭にも
154 夫征けど貧も納め年迎ふ
155 出征の家居静かに屠蘇の客
156 古地図にみいくさ進み年明けぬ
157 書初や銃後の春と征強く
158 二日はや油のしみし服を着る
159 みいのりの神楽あがるお元日
160 ますらをは正月も戦に伏す
161 門松に國難へる敵の国か
162 初東風や銃後の子らの出初り
163 鋤始われには守る土のあり
164 初日指し軍都の衛兵凛る
165 初風や弟望の春は赤く晴れ
166 初東風の遠き軍歌に知るなる
167 戦線を偲び箸とる雑煮かな
168 出征の家ふえぬ門松つゝましく
169 初空に英霊の子の凧一つ
170 舗道晴れ初行進の靴そろふ
171 温泉の娘ら戦傷兵と羽子つけり
172 初針や千人針の一の針
173 軍需工場松の内なる日ざしかな
174 傷兵と日南の草に脈を搏ふ
175 いさをしのしるしを胸に初詣
176 去年今年なき戦勝の春迎ふ
177 凱旋京飾りてあり凱旋祈所
178 母腸する銃後の春の港かな
179 出征の旗もひらめく松飾
180 大いなる銃後の春と思ひけり
181 歳旦の互き灯連ね工都映ゆ
182 武運祈る母の試筆を貼りけり
183 大初日戦線の國明けにけり
184 英國に輸送遠き門爆を接く
185 戦捷の展望の大盃廻しけり
186 初風や船より軍歌聞えけり
187 初日いま三人征かす草の戸に
188 たたかひの誓ひ書きの賀状かな
189 姉妹三人慰問袋を縫初め
190 征くもの征き正月も桑を摘る
191 皇軍捷々元朝の旗高くあぐる
192 工母は早や鍛吐く松の内
193 大日本國民のひとり初詣
194 軍事郵便手に。家の春たのし
195 征きし兄へ代りて初荷積み出せり
196 戦地より賀状とどけり炭焼小屋
197 征きし子の使ひし鍬に輪飾す
198 大御稜威四方に輝く初日かな
199 征き行きて難後しのぶ雑煮かな
200 初刷や銃後の覚悟新たに
201 兵營のいらかに映ゆる初日かな
202 初詣で國旗の波につゞきけり
203 靖國のわれは母なり初鏡
204 戦捷の御稜威にふと年明くる
205 日本の大き歩みや御代の春
206 年頭に今年手袋なかりけり
207 誓ひを忘れはならぬ初鏡
208 今年こそ召しませと初詣
209 元旦の吹雪にラヂオ戦を告ぐ
210 母と讀む今年の屠蘇の冷たけり
211 出征さし庭の口の飾かな
212 元日や傷顔として兵の父
213 喇の前夜憾矢かしこみお
214 一村の慰問袋を初荷とす
215 軍装の子の門松に並び居り
216 氷江に夜警の鈴凍るの春
217 初詣夫の寫眞をしのばせて
218 人材にすがり銃後の初鏡
219 征きしもの祈れば初日
220 松の内なれど奉仕旗立て勤む
221 陸軍のあたりが堅き雑煮かな
222 大日輪軍需工場の往還にほふ
223 ふるさとを守り老いし鋤始め
224 二日早や奉仕の絆纏へぬ
225 いくさおもふ武運祈願
226 妻と子の武運祝ぐ御慶かな
227 門松を立て、登峰本部かな
228 藩名高の一命もなく初凪けり
229 初日出銃後賑いやかたし
230 み民われのどには死なし鍬始
231 初荷馬一聲たかくいなゝける
232 凱旋を遺族の家は往還を飛ぶ
233 大どかに晴れたる空に初飛行
234 初凪に征く方の雲もなき
235 元日の富士を拝する母子かな
236 出征の留守の門松いと小さく
237 雪深き戦場の初日をろがみぬ
238 召さるゝ日待つ間も又鍬始
239 初便り故郷は雪の便を語ふ
240 召されたる隣の戸にも松飾る
241 元日を雪晴さにゆくモンペ哉
242 初詣みいくさ勝てと祈りけり
243 馬居らぬ廐されの松飾り
244 はらからの出征中や國の春
245 慰問袋に二日の閑をりけり
246 初空へたかたかと立つ日の御旗
247 山守り征けるを注連静かにす
248 とく起きてラヂオ体操の春
249 遺児守りて母は在りはしぬ松飾
250 征きゆきて迎ふ兵士はも
251 海の戸の守の神へ初詣
252 兵の母ひとり霧を打ちゐたる
253 召されし父へ片仮名の子の賀状
254 日章旗たてし社門の初春かな
255 眠りゐる海の敵方の初日かな
256 初暦今の暗さに昏の押く
257 元日。戦捷ニュース今日も告ぐ
258 高らかに軍歌つゞく御代の春
259 起重機に初日さしそめぬ
260 波がしら生き初日に双手を拝ぐ
261 轟く陣営に初日を拝みけり
262 みいくさに父あり祈る初明り
263 初風や高さみよしの御紋章
264 輪飾の小さけれどもめでたけれ
265 輪防んで銃後の老の歌始
266 孫織り細な銃後の二日かな
267 初夢や出征江上戦に在り
268 注連飾おもひは遠く前線へ
269 鈴筆の亜非便なる賀状かな
270 新天に雪をとばしぬ鍬始
271 年賀客國民服をつけて来る
272 御旗立てし鎮守や初日の出
273 注連張ってなほも弟の兵想ふ
274 縫初や千人針を先に
275 温泉の灯明けし今朝の春
276 初富士や爆音雪山で
277 いさをしを白衣につゝみ初詣
278 初荷船武運長久の大幟
279 雙六や江南の鮎ひた押しに
280 初日影爾年の明けにけり
281 元日も國を護るなり兵の步
282 元朝やいざ我も征かしめ
283 若水を征かしめて老の汲む
284 飾笑く戦捷の空しづかなる
285 去年召され初夜に子の手を握りぬ
286 大陸へ正しき歩み年迎ふ
287 見征ける稀年賀の人ゆけり
288 琉球に火笑き初日祈ちにけり
289 にぎやかに泣く子笑ふ子家の春
290 常のごと賀状を鍬初みお元日
291 掃除機風ある室にしづかなる
292 召されゆく畠門松に願ひ
293 みいくさを心に映ゆる初めに
294 初刷の戦捷ニュース嬉火を讀む
295 成田に町民ならぶ四方拝
296 兄征きて國鳴の旗し松の内
297 樺かめる幼き手の初暦
298 出征の父に代りて拝始
299 初日さす銃後を守る草の戸の
300 鍬始召す行く日を待ちつゝも

京日 俳壇・歌壇 今月より創設

俳句
冬季雜詠（一月廿日締切）　高濱虚子選

▲官製ハガキに一人一枚一句を限り認め京城日報社學藝部「京日俳壇」係へあて、裏面に「冬季雜詠」と朱書すること

短歌
朝鮮風懐（一月廿日締切）　北原白秋選

▲官製ハガキに一人一枚三首を限り認め京城日報社學藝部「京日歌壇」係へあて、裏面に「朝鮮風懐」と朱書すること

中島の文化面は最近長足の躍進をつゞけ、藝術に科學に素晴らしい足跡を印しつゝあります。この時にあたりわが國の民衆藝術として最も古くから、また最も廣く普及してゐる俳句及び短歌のために、本社は「京日俳壇」「京日歌壇」を創設し、高濱虚子、北原白秋兩氏にその選を委嘱快諾を得ました。

いふまでもなく高濱虚子氏は、日本俳壇の父として雑誌「ホトトギス」の主宰者であり、北原白秋氏また雑誌「多磨」を起して歌壇に縦横の活躍をつゞけてゐる人であります。

けだし斯る權威者を並べ迎へることが出来たのは、京城日報社の力に依ることと勿論でありますが、またこれに依つて中島の俳壇、歌壇が劃期的生育をなす上に於て特記すべき快事だと信じます。幸に本社のこの擧に賛せられ、大方の盛な投稿を希望いたします。

互選規程

一、互選に参加する者は、入選句の作者に限り、入選三百句の中より、優秀と信ずる十句を選ぶこと。

一、優秀と信ずる若干句については、その句を記さず、句の上に掲げたる番號により列記すること

一、右互選の結果は、本社より送達の互選用紙に記入する以外、他の用紙を用ひることを得ず。

一、未配達或は遲滞等の理由により再度互選用紙を交附することあるも、互選者は必ずその一枚のみを使用し、二枚を使用することを得ず。二枚を使用したる場合は、如何なる理由あるも、その二枚を全部無効とす。

一、互選の結果、最高點を得たる句より順次等級を定め、所定の賞金賞品を送るものとす。但し、同點のものある場合は、該等級の賞金を分割することあるべし。

一、互選締切期日は昭和十四年一月二十日とす。郵便の消印の如何に拘らず、同日以後に到着したるものは無効とす。

一、宛名は京城府太平通京城日報社學藝部「俳句互選係」とし、開封にて三錢切手貼付のこと。

一、郵税不足のものは受付けず。

一、互選の結果による成績は昭和十四年二月二十一日付紙上

お知らせ

入選者に對する互選用紙は本日それぞれ發送いたしました

今度の互選に入選せる俳句三百句をあつめ、これに互選の結果による順位により『京日互選俳句集』を刊行發行することになりました。菊判大贅、部六十頁内外となり、頒價十錢（定價十錢）とする豫定でありますが、この互選に参加される方の俳句は洩れなく掲載される譯であります。御希望の方は御希望の部数を本社學藝部あて申出で下さい。發行の期日は京城日報紙上で發表しますが、發行は別に申受けます。

新春雜詠

茶谷みよし

御降りがあればあるとて老梅

初詣殺後詣と子の手ひき

凍土にツツとのびゆくホースかな

空風が吹けば耳病む子のならひ

村上杏史

さつかりし東方日和の落かな

入船にしたがふ海猫凪げる

静かな凍樂の木の葉はしきて鳥ぶれる

燈に水引の金こぼれたる

初鏡いくさの留守をつゝましく

北川左人

年酒杯かはし輪のこと俳句のこと

三嶽に入りし二日の人ゆきゝ

斯くの如く描けれども初硯昨日より四温の松のかゝり羽子左義長のいくたびどつと焔かな

佐藤眉峰

何もなき庭を五六歩四方拝

日めくりのまづ赤出でしお元日

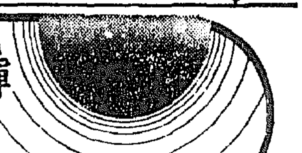
降りたちしスキーの瞳に四方拝

既に早や二日をめくる暦かな

七草や居士は既にわれのもの

今晩のラヂオ

六時お話と音樂（大）ボクノオ正月▲六時二五分講談 講座（東）支那古典▲七時三〇分國民歌謠（東）國に誓ふ▲七時四〇分講演▲八時零五分演藝（大）▲九時三〇分國民歌曲（東）明け行く島外



朝鮮土産に？白頭山特産ゾルチエクに限る

補血強壮剤　參茸トーク

四大浪曲
J★102
漢口最後の日　荻原四朗・作　南京最後の日の姉妹篇　鶴々木米若
男の友情　荻原四朗・作　巨匠友衛が特に選す代表作　木村友衛
熱血の道　荻原四朗・作　任侠と兵隊　廣澤虎造
祖國の花嫁　荻原四朗・作　日活映畫・祖國の花嫁・主題浪曲　天中軒雲月
テイチクレコード

喜樂館　日活　一月四日―十七日―日四日間　大人部生共三十銭均一　新春第二次戦闘興行　タイザーンの再現　杉狂の催眠術　馬鹿一錢　6,30 2,23 7,35 3,28 11,40 8,40 6,20 2,13 11,30 8,58 4,41 12,35

黄金座　人氣一館一皆様の黄金座へ　ロイドのエチブトの博士　ニユース　彌次喜多道中記　一月四日より一月七日まで　6,00 2,10 10,30 8,00 3,50 12,10 8,10 3,50 12,20

浪花館　一月四日上映　大朝、東日、京日　ニユース　東寶映畫作品　スクリン・アルバム　東寶超大作　牧場物語　高田稔、大日方傳　験の母　長谷川一夫、鶴立の倍る、小林重四郎、五月信子・大衆席三十錢

中央館　三日より五日まで三日間限り　階下席　大人二十錢　小人十錢　ニユース　大毎・東日　パスイ戦線に躍る　日本銀　テンプルの軍使　次

卸小賣　ネクタイ專門　京城本町二丁目　三吉支店

朝鮮汽船出帆廣告　一、釜山出帆　麗水行（急行）毎日　木浦行　元山行　釜山行

京城劇場　元旦より七日まで　新春初頭特別大興行　東京新進女劍戲　富士峰子　大一座

朝日座　元旦初日晝夜二回　新築第一回超特別興行　漫才大會

ワカケキ　一月四日より七日まで四日間　ニユース　陸地　天の獄　若武者　6,45 2,50 11,00 7,35 3,40 11,50 8,00 5,00 1,10 9,10 5,10 1,20

明治座　四日より　ニユース　母の歌　ミルトンの幸運兒　7,57 4,32 1,16 10,00 8,25 4,58 1,42 10,26 6,50 3,24 12,08

京龍館　四日より七日まで四日間　(1)ニユース　(2)漫　(3)ロッパのおとうちやん　(4)新篇丹下左膳

買上採算を度外して 手數料四厘引下
鮮銀の金地金集中に拍車

朝鮮銀行では金地金の買上に際し政府へ賣却のために要する諸費用として從來純金の毎目一瓦につき一錢四厘を、賣却者より徴取してゐたが、今回之を一錢に引下げ一月六日より實施することゝなつた、斯く手數料の大巾引下を行つたのは現下時局が益々金の増産及び之が政府集中を促進する要があるので、鮮銀における買上採算を度外視して、努めて産金業者等金地金賣却者の手取金を多からしめ、且つ急速に集中を圖らんとするに由るものであるから、本府鑛山課では從來産金地金を直接造幣局に納付してゐた向は勿論、金塊、金製品等を所持してゐる者もこの際政府の政策に協力する意味で成るべく鮮銀に賣却するやう希望してゐる

昨年の第三國貿易 琺瑯鐵器電球減
生産資材の輸入激増

昭和十三年中の朝鮮對第三國貿易額は、十二月廿五日現在輸出五百八十五萬三千圓、輸入五千二百六十一萬四千圓、合計五千八百四十六萬七千圓にして之を前年同期に比較すれば、輸出に於て實に一千百九十一萬九千圓の激減、輸入に於て三百三十萬圓の増、合計に於て八百六十一萬九千圓の減を示した、而して輸出激減は琺瑯鐵器、魚油、電球、陶磁器、麻布、人絹、魚介罐詰等の輸出減がその主なる理由となり、魚粉のみは幾分出超となつてゐる、一方輸入の増加は棉花、牛皮、生ゴム等生産資材の直輸入を反映したものである

準備全く成る 輸出工藝品協會
十五日に創立總會

第三國貿易振興策として、各方面から要望されてゐた輸出工藝品協會（假稱）の設立に關しては、從來朝鮮貿易協會が肝入りとなり其の具現化を急いでゐたが、愈々準備全くなり來る十日に發起人會、十五日には創立總會を開催することに決定、一月中には社團法人輸出工藝品協會の誕生を見ることになつた

貯蓄銀行利下
率先して實施

朝鮮金融調整聯盟は一月一日より愈々正式に撤廢する事となつたが、朝鮮貯蓄銀行ではこの新機運に乘つて率先として先驅的に次の利下げを一月一日より實施する事となつた、新舊利率次の通り

◇貸出利率

	新	舊
積金擔保	七厘八毛	八厘〇
二十四回以上	七・五	七・八
積金貸出	一錢七厘	一錢八厘
預金擔保	一錢五厘	一錢六厘
有價證券	一錢七厘	一錢八厘

◇預金利率

	新	舊
定期、特約 据置	三分七〇	三分九〇
普通預金	三分一二	三分二四
普通日歩	六厘	七厘
聯盟年利	三分二四	三分四八
聯盟日歩	七厘	八厘

なほ鮮銀としては金融調整聯盟のベースに比較して割安の点まで積極的に引下げたものである

渇水期に入り 石炭需給窮屈
出炭漸減の傾向

【東京支社】資材と勞働力の不足により石炭各社の出炭高は最近に

藤本ビルブローカー證券

贈呈

一、大衆投資家に對する株式投資の奬め

一、中型機械工業株を推奬す

右御申越次第贈呈但部數に限りあり

京城府黄金町二丁目　電話本局②二六二三・九六八番

諸般の經濟統制も 正確なる綜合的企畫へ
日本銀行總裁　結城豊太郎

皇軍 御奮闘の裡に聖戰第二の春を迎ふることゝなつた、顧れば戰局の擴大に對應する財界の諸情勢ならざりしは勿論、經濟界は極めて變化多き年を送つたのである。即ち資金の統制、物資及貿易の調整も一段と有効に行はれたる外、物資の生産、配給、消費、價格等各方面に亘り劃期的思ひ切つた戰時經濟對策が相踵いで實施せられ、固より是等の非常施設は我國として全く前例のないものであつただけ其の實施に當つては最初より必ずしも摩擦を避け得なかつた場合もあり又は經過的現象として幾分の無駄を免れ得なかつた事もあつたと思はれるが、官民の一致協力により財界全般としては概ね順調に推移することが出來たのである

我財 界の戰時體制への移行が斯くも圓滑に經過したのは結局我が經濟實力の强靱なるに由るものであるが産業界の動脈たる金融が終始極めて順便の狀態を持續してゐたことに負ふ所大なるは言ふ迄もない、政府及日本銀行の金融上の施設も一々枚擧の限りでないが、就中一昨年九月實施せられた臨時資金調整法の運用は昨年に入つて漸く過渡期を脱し不急不要事業に對する資金流入の抑制と又は起債市場の統制に其本來の効果を發揮するに至つたことは注目すべきであり、政府資金の圓滑なる撒布と共に金融の順調なる推移を齎らした二大要因と言はなければならぬ、斯くて資金利は著しく低下安定を示すと共に長期資金にあつても所謂低金利の平準化が漸次促進せらるるに至つたのである

新く の如き情勢下に於て巨額の發行を見た國債も常に圓滑且順調に消化せられ、又久しく停頓狀態にあつた起債市場も再開せられ、兌換券發行高の如きも生産力の擴充、經濟取引の増加に即して相應の程度に止まつて居り、物價、外國爲替相場其他諸般の指標孰れも我が財界の健全なる狀態を示して居るが、經濟力の根抵を培ふものは畢竟物資であり、其の圓滑なる消費に對應して所謂物資需給調整の問題は今後益々重要を加へて行くものと思はれる、乃ち生産力擴充及輸入力補强を中心とし、日滿支を綜合したる經濟上の建設事業は愈實行の時期に入つたと稱すべきであらう、近衞前首相の日支國交調整に關する聲明もあり此の關係は一層明らかにせられたのである

各般 の經濟統制も昨年迄は聊か戰時經濟編成への應急的措置として行はれたものとも見られるのであるが今後は更に持久性を有し且精確なる綜合的企畫の下に推進せられなければならないのであり、國家總動員法も此の觀點より逐次發動を必要とするに至つたのである。唯列强中未だ東亞の新事態に對する認識十分ならざるものあるに顧れば今後是等の建設事業に付き努力を要すること蓋し容易ならざるものがあらう

弱々 興隆に向はんとする日本が課せられたる任務の宏大なるを想ひ、官民一致不撓不屈の精神を以て一層の努力を續けるの要緊切なるを痛感するものである

寫眞說明…（上）朝取株式市場の初立會（下）朝取仁川支店の初立會

不動産受託の 特異性に發達した朝鮮信託
朝鮮信託社長　谷多喜磨

我國に於て信託法が施行せられたのは近く大正十二年のことである、當時は偶々歐洲大戰を經て我國の經濟力が著しい躍進を遂げた後であり、從つてかゝる經濟的繁榮を背景とし淵源としてその法的根據を賦與された我國信託業は逐年目覺しい發展の過程を辿り、爾來十有五年に於て信託會社數二十九社、信託財産總額は實に二十六億六千六百萬圓の巨額に達し、銀行、保險會社と鼎立して我國金融經濟界を三分する現狀である、以て如何に信託會社が我國經濟社會の緊要なる經濟的要求に應じたかを知るに足る

得られるであらう、蓋し現在の如き資本主義經濟社會に於ては、經濟界に於ける富の集積は益々増大すると共に、他面法律經濟を始め社會一般の事情は益々複雜を致すため、個人にとつては自己の財産を最も安全確實に管理運用、利殖することは容易なことでなくなる、かくして信用、技能、經驗の諸點に於て、個人に比し遙かに優れた營利事業組織の信託會社による財産の管理運用が當然要望されて來るに至る。かゝる觀點に立つ時我國信託會社の經濟界に於ける重要性は、將來に於て益々加ふべきである。即ち信託會社はあらゆる階級の死藏され又消費され易き靜的資金を集積して大資本を形成し、適當と認められたる事業に投資し以て資本の有する本來の使命を充分に發揮するものであり、此の事は信託會社が一の時代より次の時代へ富を授受する役割を擔ふと共に、産業經濟の發展に資すべき

信託會社の 半島なる使命であるといはねばならない、翻て我が朝鮮に於ては昭和六年六月朝鮮信託業令が公布され、同年十二月一日より施行さるゝと共に當時現存せる所謂信託會社二十社中、同令に依り免許を受けたるものは五社に過ぎずしかも其の内容に於いて遺憾の點が尠くなかつた かくて强力なる一大信託會社を設立して信託制度の健全なる發達を圖り、他面鮮内金融機構の整備統一を圖る必要があつた、然し朝鮮に於ける財産の大部分は不動産に限られてゐる狀態であり、從て朝鮮における信

硅石利用の企業化成り
城津工場を擴張生産へ
日本マグネ硅石煉瓦増産

日本マグネサイト化學工業では近年耐火用煉瓦の需要激増に鑑み、城津工場附近に豊富に産する石英を利用すべく研究を進めつゝあつたが、これが企業化の確信を得たことから、近く城津工場を擴張し硅石煉瓦の大量生産に着手することゝなつた

厦門香港間 定期航路
近く開始されん

厦門—香港間の商路は事變以來全く通船なく、貨客の輸送に困る不便を來してゐたが、今回定期通航を開始することゝなつたと傳へられてゐる、船は所謂「河船」と稱される小型船であるが、將來は香港より更に廣東まで延長する豫定といはれ、事變により杜絶してゐた同方面の貨客運輸はこれによつて著しく利便となり復興支部に貢獻するところ多大と期待されてゐる

昭和産業の 増資は五月

昭和産業の増資は大體昨年四月の當面增資を中心とし、之れが實施時期の決定次第資金調整局まで認可申請を行ふことになつてゐたが、昨年の重役會に於て五月を期して實施する事となつたので、近く正式申請を行ふことゝなつた、同社の増資は現在の如く現在一の富工場に於て生產してゐるシルクウールを日産五噸より三十噸迄で増産し、更に之が消化策として行つてゐる上屋の織物工場擴張、及び新たに進出する染色工場の建設資金を得るためである

殖銀行員昇給
殖銀では四日附を以て行員二百三十八名の定期昇給を行つた

眞の朝鮮の力を 顯現に努めよ
南鮮合同電氣株式會社　取締役社長　小倉武之助

事變第三年の新春を迎へ光輝ある戰捷國民の一員として誠に感謝と感激にたへない次第である、さて滿洲事變による朝鮮の經濟的飛躍はさることながら、今回の支那事變を契機とする、半島産業文化のあらゆる方面に於ける輝やかしい發展過程は誠に目覺しく稱讃に値するものがある、回顧すれば歷代總督の統治指導方針その宜しきを得て、着々實績を顯現されたることは言ふまでもないが、よく官民一致相協力して今日あるを得たことは誠に御同慶にたへない

抑も我が日本の國策たる大陸經營は今や現實にその理想に向つて堆積を成しとげられつゝあるが滿洲、支那を貫く生命線こそ實に我が半島の地位そのものである、或は大陸兵站基地論の强調される所以も、亦茲にあると信ずる次第である

今日朝鮮に於ける產業界を一瞥するに總督の「農工併進政策」が提唱されて以來特に工業方面の躍進は俄然旺盛に向ひ、內地資本の流入は之に拍車をかけて紡績、製鐵、パルプ、セメント、硫安、金屬製錬等其他各種大規模の工場が續々と設立されるに至つた、一方日滿支新交通路の開通と相俟ち、大陸方面への經濟進出上最も有利重要なる地點なることが認められ、工業資源の開發に各種事業の新規計畫となつて簇出する盛況である

唯斯の如き計畫遂行に當つて見逃し得ないことは半島に於ける動力の推進力となつてゐる最近政府によつて產金國有送電網の大計畫が樹立され、既に官民協力の計に着々之が實現に邁進しつゝあるが如きその前途刮目すべきものであらう

斯る情勢にありながら我が半島は兎もすれば尙未だ內地から植民地的偏見に禍されること多

半島經濟界の 堅實なる發達を
朝取々引員組合委員長　新田義民

昭和十年は滿洲事變に端を發し翌年戰を起して既に一年有半、昭和十三年は文字通り擧國一致戰時體制下に終始した、卽ち年初に政府は對支最高方針を決定するや「國民政府を對手とせず」との重大聲明を中外に發表し、今後の情勢に備ふべく國民の覺悟を促し、愼重なる覺悟を要請した しかして此の戰時下に於ける我が經濟界は政府の周到な施設計畫に依り諸工業の殷盛、物價の强調等を來調として一般に好調を呈し一面商業界は統制經濟への移行と共に幾分低調の感はあつたが、是亦非常時として克服したものと認められ、總動員法第十一條發動問題も當初は抽象的であつた爲財界に一應の衝動を與へたが年末に及んで發動の限度がついて財界も平靜に歸した

此の間にあつて我が朝鮮は滿洲北支に對する東亞大陸發展の基地として最も重要性を有し、東亞永遠の平和を擔ふべき經濟交友關係を保持する上に半島經濟界の鞏實なる發達こそ緊要で止まない所である。しかして今や生産力擴充を目途として各種產業の勃興、相次ぐ地下資源の開發等戰時、平和兩產業界の目覺しき躍進振りを見るに至つたことは眞に慶賀に堪へぬところである

事變は愈々長期建設の新段階に進み興亞院の開設を見、內に國民再組織の胎動あり精神總動員朝鮮聯盟結成せられ、物心兩面に時艱一新の機運漸く熟し來りたるを覺ゆるのであるが、複雜なる國際關係の將來を想ふ時官民共に更に一段と協力一致堅忍持久銃後の守を强くし我が正義に抗する者は世界の禍根として之を征服し我に與する者は共に相携へ實踐努行以て世界平和なる理想とする聖戰目的達成の日の一日も速かならんことを念じつゝ銃後經濟戰士として微力を盡さんと誓ひ以て國恩の萬分の一に報い奉らんと期するの次第である

ことの誠に遺憾である、之は今日の朝鮮なるもの、眞價を認識することの透明なるに起因するのであつて、之が是正に就ては我々もその責任の一端を痛感する次第である

地主階級中堅層は隠て地主であるといつても過言ではない。その地主が土地の管理保全の宜しきを得ぬ爲に往々事を破つて殷落し、延いては過激なる思想を抱くに至る例尠しとしない、從つて朝鮮施政の中心たるべき地主階級の殷落は誠に鮮內に於ける思想上社會上の重要問題として官民有識者の等しく憂ふる所であつた、即ちかゝる社會的要求に應じて昭和七年十二月朝鮮總督府、朝鮮銀行、朝鮮殖產銀行其他財界各方面一致の援助の下に本社が設立せられ、昭和九年十一月迄に前記五社の買收完了すると共に逐次鮮內に六支店を設置し茲に名實共に朝鮮唯一の信託會社として、その獨占的地位を獲得するに至つたのである、而して創業僅か六ヶ年足らずの今日資社信託財產は約一億圓に達し正に驚異的な發展を遂げた、之同より同期間に於ける朝鮮產業經濟の全面的な躍進の反映であるが、當社の誕生がよく半島の經濟的社會的要望に副ひ且信託思想の普及と業界の伸展に

不斷の努力 を傾注した成果に他ならぬ、就中當社がその創立に當り、既存的使命とせる不動產信託に於ては驚異的な發展を示現したのである、之は朝鮮に古來深く根ざせる不動產信託の觀念が茲に近代的受託機關を得て一時に其の利用を見たるに他ならない

金東證券　京城府南大門通二丁目一九一九　金百萬圓

現物部　電話本局⑨六一三一・六一三二・六一三四

短期部　電話本局⑨五一六一～五一六七

謹賀新年

昔年中は格別の御引立を蒙り有難御禮申上候本年も相變らず御愛顧の程御願申上候

内海清藏商店

短期株　現物株　期米　正米　株式週報送呈　營業案內送呈

京城明治町　株式　仁川本町　期米

仁川に製釘 工場設置（?）…期待さる

仁川鋼板屋金物店が中心となり株式會社組織の製釘工場を設立すべく準備中であるが原料の配給、機械の入手難等で行惱みの模樣である、鮮內鋼線供給の折柄この種工場設立は期待されてゐる

初立會式

戰捷の春初立會の四日は午前九時半る雪に明けて六時三十分取引所會員各取引店關係者參集して式は先づ取引所側淺野氏の挨拶に始まり次いで新田委員長の祝辭朗讀取引員の表彰式等あつて初立會式を終了した後十五分鮮かな初柝の音に賑やかな初春初立會の幕は切つて落された

取引員表彰式

朝取仁川支店では四日の初立會に於いて十三年度の賣買高並に受渡米最高者に對し左の如く表彰式を舉行しそれぞれ賞品を授與した

賣買高勤者
- 一等　金　鍾俊
- 二等　吉村半左衛門
- 三等　野辺　郁
- 四等　新田義民
- 五等　田中　來

受渡米多額者
- 一等　吉村半左衛門
- 二等　竹多　新三郎
- 三等　新田義民

各取引店の勤續者表彰は左の通りである

株式（四日）

朝取短期（前場）
銘柄	寄付	大引	高値	安値
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝取銓定と日歩
銘柄	銓定	日歩	代引
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株短期（前場）
銘柄	寄付	大引	高値	安値
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株長期（前場）
銘柄	寄付	大引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株長期（前場）
銘柄	寄	引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期（前場）
銘柄	寄付	大引	高値	安値
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京短期喰合
銘柄	賣	買	取組高
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京現株
銘柄	値
[illegible]	[illegible]

期米（四日）

朝取仁川（前場）
	當限	中限	先限
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京期米（前場）
	當限	中限	先限
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪期米（前場）
	當限	中限	先限
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

各地期米（前場）
	寄付	大引
兵庫	[illegible]	[illegible]
下関	[illegible]	[illegible]
名古屋	[illegible]	[illegible]

商品（四日）

銘柄	寄	引
大阪綿糸 前場	[illegible]	[illegible]
大阪棉花 前場	[illegible]	[illegible]
横濱生糸 前場	[illegible]	[illegible]
大阪人絹 前場	[illegible]	[illegible]
東京人絹 前場	[illegible]	[illegible]
桐生人絹 前場	[illegible]	[illegible]
大阪砂糖 前場	[illegible]	[illegible]
釜山 大邱 群山 木浦	[illegible]	[illegible]

外電（四日）

銘柄	値
倫敦金塊	[illegible]
倫敦銀塊	[illegible]
米棉	[illegible]
印棉	[illegible]
スチール株	[illegible]
アナコンダ株	[illegible]
日米爲替	[illegible]
英米爲替	[illegible]

金融（四日）

東京コール　翌日拂 0六五0　無條件 0七00　月越 0八00

日銀帳尻（廿八日）　發行高 [illegible]　正貨準備 [illegible]　預金高 [illegible]　貸出高 [illegible]

鮮銀帳尻（廿八日）　發行高 [illegible]　正貨準備 [illegible]　保證準備 [illegible]

鮮銀爲替　二八日 [illegible]　四日 [illegible]

總辭職の 株式界への影響
朝取委員長　新田義民氏談

內閣總辭職の報に新田朝取取引員委員長は左の如く語る

全くの初耳で驚いてゐる次第だが我々としては瑞理が誰にならうと統制の强化と云ふ事は既に豫想済みで格別悲觀する必要はないと思ふ、まだ顏觸れも決定せず大藏大臣が池城さんらしいと聞いたゞけでその方針も分らないうちに何とも云へないが株界としてはこれ以上大した刺戟とはならないと思ふ

株式 政局を案じて 初立會は不味

前場　双方よりの手詰め商內に平凡無味な新相場に越年したが休會中在籍物の動向は大きな刺激を見せた時も中央政界の重大聲明あり初立會は上る一方の情勢にあつたが中央政界の變動が豫想されたゝめ政局を案じ氣迷ひとなり、總じて商內薄く手控への模樣に終始した

報は切つて落されたが新年早々から相場の味は極めて悪い納會中大陸の情勢は大きな變化を見せたる如く國政樞に於ける大勢力たる在籍閥の重鎭說明出に見逃すを得ざれば、當日の第一派、北産派は商先物を警戒して在籍筋を迎へ好轉しない模樣で

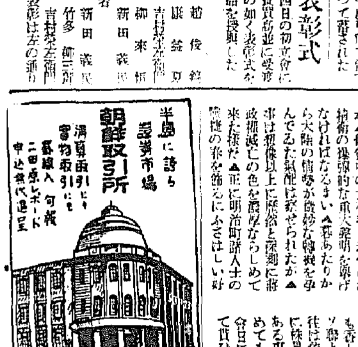
國債 政局眺め 見送る

新春初商は政局の微妙な動きからこれが成行は注目されるが新規申込は無く五分半以降五分物は見送りとなり結局は保合となり米買も見送られた

東京國債　▲甲號五分一〇二五〇　▲四分一〇三、一〇　▲十九年物一〇〇、二〇

源山本源作商店

謹而戰勝之新春奉賀上候



半島に誇る 證券市場 朝鮮取引所

滿員市場に 實物取引にも 御加入 何卒 二田原レポート 申込次第進呈

朝鮮取引所短期取引員 二田原商店

京城本町 電話本局 五一五五・五一七一・七一七・七一八・九一七 市場 五一二六

明治町 覺書

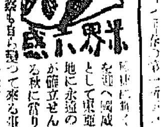
明けましておめでたう御座います▲聖戰第三年目の初立會を飾るにふさはしく四方銀世界に明けた今日▲初相場も緣起よく四海波靜かと操り廻したかつたが▲世界の情勢に寸歩の休止もなく新春早々から環境は大きく轉廻を示し▲內外の情勢は土台から昨年の年とはまるきり變つたものとなつてゐる▲好景氣大材料の諸特權は聊か氣迷ひ風情であるが惡材が山を利かして初値は一圓二十錢の下値に寄付き▲あとも下げ足早となつて二一圓九と形勢は益々惡い▲居酒酒の醉ひ

大材料であつたのだが▲今朝の初立會は案に相違した安値に初まりあとの地合も益々惡い▲材料は政局不安と稱する▲御來歷々云はれて來た政局のモヤくぐらゐでは濟ずされさうにない中央の形勢を傳へられて▲折角の在籍筋の聲明に對する好感も完全にもみ消されてしまつたもの▲樣である▲さうかと云つて惡材の悪影響にのみ專心する譯にも行かず大陸の在籍物を中心とする和平派と抗戰派との對抗が果してどうなるか分らないと云ふ好情勢を目の當りに置いて居る事であれば▲買込む事も危險だと云ふのであとは新東の一圓三、四十錢で下鎗り持合となつてゐる▲內憂外患でなくに明よりも內憂の方に實現性が濃厚だと云ふので自然相場の先行も否しくあるまいと思はれる▲ソ聯との問題も益々多事多難先往は依然懸念される▲昨年以上に株界の前途は曲折多く難航であるる事はこの多彩な初立會を眺めてもうなづける處▲この初立會日にしつかり肚を定めて臨んで貰ひたい

政局を案ず

前場　兩株は初相場の乘ス▲一圓二二圓新東新六七一四〇二圓一圓五十錢とたり▲四圓七錢丁新東一二三圓七と二圓二六▲滿業大の初商は四通が當面を見せ、一二三圓七と保合を割り續いて初立會を終了した
戰後の中央政局の變動は日本の新東亞建設の年昭和十四年の初立會の

米界の眼



聖戰に新しく迎へた輝かしき新春を迎へ國威益々として東亞の天地に永遠の平和が確立せんとする秋に當り物資を守る國民が其時も缺す事の出來ない重要物資としての米価を洞察してかゝらねばならない▲この意味から本年の初立會に於いては本日の米界に於いても平和に發揮された事は當然であると同時に今後に於いても飽り大きな變化は望み難く既に政府に於いて來年度の米穀政策を定

價格の弱みは肅然の外ない▲尤も他の物資に比すると米價は物價を呈し商勢が强の强力性を有するもそれを人爲的に押へてゐる嫌があるので▲この邊に保合ふかは疑問であるが然し目先としては米共物資の圓滑な時代であるのを市場は一つも想はぬで商人に假需要が平均しゐる點が云ふと季末の米價は弱含み供給不足でないかと思はれる▲何れにしても年間二百萬石の買上げは確實の米價安を喰ひ止めた事は明かであると同時に萬一成行となればこの米が上値の抑制に對照する事は必然であるからこの點は大いに考慮して今後の方針を決する必要

政

中島政治郎商店

東株一般短期實物取引員

日本橋區兜町一ノ二

電話茅場町 一六六〇・一六八〇・一八六五・二八〇九・三五〇〇

期米 買上反響薄 凡調に了る
新甫十五丁上鞘

前場　當所初立會は四日午前五時十分上り行はれたが、戰勝に輝く新春の事とて强弱双方とも大いに押かけ市場は立錐の餘地なき盛況を呈し定刻田崎理事より年頭の挨拶あり十三年度賣買受渡高の最高取引員に對する表彰式を行ひ桑野健治氏取引員を代表して答辭を述べ次いで初値は立會に入

月限は三十錢へ追ひ本年七九錢中三圓八三錢新甫三圓七五錢で▲同九七錢と中限よりやかに十五丁の上鞘に發會▲と勢力を示すに推移し新甫は高商の所で保合の儘凡調に初立會を了す

年頭の辭

光輝ある聖戰下第三春を迎へ謹みて新年の御慶を申上げます

旧年中は一方ならぬ御愛顧御引立を蒙り難有御禮申上げます

時恰かも新東亞建設の第一春各位の御健闘を御祈り申上げると共に尙一層の御愛顧御鞭撻賜りますやう偏に希上げます

店主　中島政治郎　外一同敬白

柳生旅日記（43）
小金井蘆洲演　若槻六郎繪

新三郎の働き

六郎画

[illegible]

「コレく新三郎、何故手荒い事を致す。それだから先刻も申聞けたではないか……アヽ一同の者、どうか勘辨してもらひたい。私は柳生但馬の倅十兵衛三厳だ。此の者は兩名共私の家來だが、何分酒の上のことだから萬事は十兵衛に免じて許してくれ……それともこれない、此の十兵衛が相手かいたす」

さア一同が驚いた。日本一の武藝の達人柳生十兵衛先生、他の武藝者と違ひお大名の若殿様、其の家來の新三郎にさへ敵はん者が、十兵衛先生にとつつかまつてはたまるものではない。一同酒の醉もさめて

「どうも恐れ入りました。つい手前共も酩酊の餘り失禮の事を致め立て致し、かゝる騷動を惹起して重々赤面の至り。先生の御家來とございますれば手前共に於て毛頭異存はございません」

「イヤ、各々が左樣云ふてくれゝば十兵衛此上もない大慶。然らば仲直りとしてどうか一杯飲んでくれ。さアく此方へ參るがよい」

「有難き仕合せ。然らばお供致しませう」

「手前は兵衛無作法な事を致しました。大事隊西郎と同道の者、隊西郎様の外大層致しまして誠に申譯ない次第です。手前の御用の場に參り取遣へ、意外の御無禮を仕り何とも恐れ入りました。常人に代つて手前から深くお詫を致します。就てはどうか暖の物は本人へお下渡しを願ひたう存じます」

「貴様は何か旗本屋の手代か、非方如き者が何と申しても渡すことはならぬ。町人の分際で身の程も知らず大小を帶びるとは不屈至極の奴だ。何れ我々大屋敷へ參つてから取調の上改めて下げ渡す。それ迄は返す事罷りならぬ」

「然れ、何と申しても渡すことはならぬ。ツベコベ多辯を致すに於ては容赦致さん、一刀の下に二人共斬つて捨てるぞ」

何しろ先方も醉つてゐるから自然と語氣が荒い。此方は年若、殊に幾分酒氣を帶びてをりますから新三郎

「これはしたり、聞くまでお詫致してもお聞入れがないとあらば、手前もこのまゝ引取る譯には相成らん。强つて御承知ならんとあれば止むを得ん、刀に掛けてもお受取申さう」

「ナニ、素町人の分際で猪口才の

京城日報　新年賞會　朝刊　本日朝夕刊共十二頁

平沼男に大命降下

直ちに組閣に着手す

【東京電話至急報】後繼內閣組閣の大命は四日夜湯淺內府が興津より歸京奉答の結果、同日午後九時四十二分樞密院議長平沼騏一郎男に降下した、平沼男は直ちに參內して大命を拜し暫時の御猶豫を乞ひ奉つて退下、組閣に着手した

【東京電話】後繼內閣首班に關し畏き御下問を拜した湯淺內府は四日午後一時東京驛發興津坐漁莊に西園寺公を訪問會見約一時間にして辭去し午後六時十八分靜岡驛發同九時東京驛着歸京直ちに宮中に參內　天皇陛下に拜謁仰付けられ謹んで後繼內閣首班に樞密院議長平沼騏一郎男を最適任者として奏薦し奉る旨を奉答申上げた、よつて天皇陛下には百武侍從長をして同九時四十二分電話をもつて平沼男を宮中に召された、平沼男は直ちに參內天皇陛下に拜謁仰付けられ茲に後繼內閣組閣の大命は平沼男に降下、同男は恐懼して暫時の御猶豫を乞ひ奉つて御前を退下した

【寫眞は平沼男】＝（號外再錄）

組閣本部 法相官邸

【東京電話】平沼男の組閣本部は大久保の私邸が手狹のため司法官邸を使用して組閣工作をすることゝなつた

平沼男、湯淺內府に挨拶

【東京電話】平沼男は四日午後十時參內天皇陛下に拜謁仰付けられ組閣の大命を拜し御前を退下した後內大臣室において湯淺內府と會見、組閣の大命を拜したるにつき挨拶を述べ種々重要懇談を遂げた

組閣工作順調に進捗

【東京支社特電】組閣の大命を拜した平沼男は宮中を退下するや直ちに法相官邸を組閣本部として組閣に着手したが　目下のところ極めて順調に進んで居り、五日中には閣員名簿捧呈の運びとなるものと見られてゐる、平沼男の組閣工作に關しては時局收拾を一日も早くせしむる意味に於て協力して居り、近衞首相も亦極力應援してゐるが、內閣更迭の轉換よりして平沼內閣の人的構成も多くを前內閣より踏襲するものゝ如く有田、板垣、米內の五相會議關係閣僚は居殘り、池田藏相は留任を固辭して後繼藏相に大藏次官石渡莊太郎氏を推薦、鹽野、木戸、荒木諸氏の再入閣は決定的と見られてゐる、なほ內閣書記官長は田邊治通氏に決定した

今夕刻までに親任式擧行されん

【東京電話】後繼內閣組織の大命を拜し御前を退下した平沼男は內大臣室に於て湯淺內府と會見、重要打合を遂げた後、午後十時五十分宮中を退下し一旦西大久保の自邸に入り更に同十一時廿五分首相官邸に於いて近衞首相と會見大命を拜した挨拶を述べ時局に鑑み極力支援を乞ふ旨述べ種々要談を遂げ、次いで組閣本部法相官邸に入り待合中の鹽野法相、有田外相、石渡大藏次官と會見し鹽野、有田兩相に留任又石渡次官に藏相就任を懇請し既に諾、兩相は留任に內定してゐるので此の程度をもつて四日は基礎的工作を終り五日早朝より本格的組閣工作に入ることゝなつた、しかして五日には陸、海兩相の留任を正式要請する事を初めその他の留任閣僚などを組閣本部に招いて留任又は入閣を交渉し大體同日午後までには組閣工作を完了して閣員名簿を捧呈し斯くて時局の重大性に鑑みて極めて快速調に組閣を進め、同夕刻までには親任式擧行せられる運びとなる見込である

新內閣顏觸れ

【東京電話】平沼新內閣の閣僚顏觸れは大體左の如きものである（五日午前零時現在）

首相　男爵　平沼騏一郎
外相　有田八郎（留任）
內相　木戸幸一（有任）
藏相　石渡莊太郎
陸相　板垣征四郎（留任）
海相　米內光政（留任）
法相　鹽野季彦（留任）
文相　荒木貞夫（留任）

その他農林、商工、遞信、鐵道、拓務、厚生の各大臣は政黨出身閣僚の綜合ひその他によつて決定されるものと見られ尚は未定であるが現拓相八田嘉明氏は現地位或は他に移つて留任するものと見られる、一說には近衞公が平大臣として入閣するとも傳へられその場合には拓相就任が有力視されてゐる、法制局長官には田邊治通氏が決定した書記官長に田邊治通氏が決定したが法制局長官には法制局第一部長黑崎貞明氏の昇格が有力視されてゐる

政黨よりの入閣 町田、前田兩氏か

【東京電話】平沼男に大命が降下した場合は同男が組閣に際し政黨方面に如何なる態度に出づるかは頗る注目されてゐるが、民政黨に對しては町田總裁の入閣を希望してゐると傳へられ、政友會には前田米藏氏の入閣說もある、なほ町田總裁は五日午前十時四十分新橋[illegible]

新年宴會御取止め

【東京電話】例年諸臣とともに賜はせ給ふ五日の新年宴會は時局に鑑みさせられ今年も御取止めあらせられる、畏くも事變勃發以來一昨年明治節を初め四大節の御宴、皇后、皇太后兩陛下、皇太子殿下、各皇子殿下の御誕辰の御祝宴、御內宴、饗宴、觀櫻、觀菊兩御會等宮中祝賀の御宴は總べて御取止めあらせられた、畏き邊りの大御心の程眞に畏き極みであるが、尙五日御恒例の有位華族への賜饌も御取止めあらせられる

畑大將に御陪食の御沙汰

【東京電話】武漢攻略戰に中支軍最高指揮官として三軍を率ゐ幾多の武勳を樹て來る六日晴の入京をする畑大將は、同日午前十時同十分東京驛着宮內省差廻しの自動車で直ちに參內、宮中表御座所において　天皇陛下に拜謁仰付けられ軍狀を奏上するが陛下には同日正午豐明殿に同時軍事參議官閑院參謀總長宮、朝香軍事參議官宮兩殿下にも御臨席、陸軍大臣、寺內軍事參議官、西尾教育總監など陸軍首腦をも召されて御慰勞の思召により午餐の御陪食を仰付けられる旨四日御沙汰あつた

內閣書記官長 田邊治通氏に決定

【東京電話】平沼內閣の書記官長は、前滿洲國參議田邊治通氏と決定した

田邊氏語る 午後十一時六分

【東京電話】平沼男は先刻お召しにより參內、後繼內閣組織の大命を拜し只今歸邸致しました

石渡大藏次官 組閣本部に入る

【東京電話】石渡大藏次官は四日午後十時四十分組閣本部より招かれ小石川雜司ケ谷町の私邸を出で組閣本部に赴いた、同氏の就任は確實

の準備なき限り決定的である

有田外相 鹽野法相と會見

【東京電話】有田外相は四日午後十時二十五分組閣本部の法相官邸に入り鹽野法相と會見した

鹽野法相 平沼樞相と要談

【東京電話】鹽野法相は四日午後二時二十分平沼樞府議長を西大久保の私邸に訪問種々要談を遂げた

水野氏歸京

【東京電話】水野錬太郎氏は四日午後二時四十七分大磯發午後三時五十四分品川驛着歸京した

けふ中に組閣を完了したい（平沼男と記者團會見）

【東京電話】四日夜組閣の大命を拜した平沼騏一郎男は宮中より退出後、午後十一時一旦西大久保の自邸に歸り、記者團と初會見を行つたが、右會談內容は左の如くである

平沼男　只今大命を拜して參りました、これから直ちに組閣にかゝるつもりです
問　近衞首相との會見內容如何
答　現在首相だから御挨拶する必要がありその他いろいろお話しすることもあるのでこれからお目にかゝる
問　近衞首相を何等かの形で居殘つて貰ふやうな希望をもつてゐるか
答　その點何んとも申し上げられぬ、何しろ大命を拜したばかりでさきのことは判らない
問　五相會議の閣僚に居殘りを求めるか
答　申し上げられぬ
問　池田藏相と會見するか
答　組閣本部に出かけて行つて見なければわからない
問　今晚（四日）中に組閣出來る見込あるか
答　今晚中には二、三の人に會ふだけで全部出來上るとは思へない、今晚は自邸に歸つて寢る、明日五日中には組閣を完成したいと考へてゐる

平沼男 近衞首相と會見

【東京電話】宮中を退出した、平沼男は一旦自邸に入つた後午後十一時二十五分首相官邸に赴き、近衞首相と會見した

老公は、何もかも御承知のはず 湯淺內府車中談

【興津電話】四日近衞內閣總辭職に伴ふ後繼內閣の首班に關し畏き邊りより御下問を拜した湯淺內府はしばしの御猶豫を乞ひ奉り、同日午後一時東京驛發同三時五十分興津驛着直ちに驛前差廻しの自動車にて同四時二十分興津坐漁莊に入り元老西園寺公と會見、近衞內閣總辭職の顚末を報告、後繼內閣首班に關し御下問を拜したる旨を述べ畏き邊りの御思召を傳へて奉答約一時間餘にして辭去、再び自動車にて靜岡に赴き同六時十八分靜岡驛發同九時東京驛着歸京の豫定で、湯淺內府は西公訪問の途中車中にて左の如く語つた

今日老公を訪問するのは思召によつて　陛下の御諮詢の資料を老公に求めるためである、內外の時局多端の折柄寸刻も忽せに出來ない時であるから都合のつく限り早く東京に歸り直ぐ參內する考へである、再び興津に來るやうなことはしたくない、現下の時局では國民全體がその全力を盡して御奉公すべき時である、老公は何も彼も御承知のことであらうが自分は出來るだけ詳しく近衞內閣總辭職の事情その他をお話しして御意見を伺ひたいと考へてゐる

板垣陸相は留任 三長官會議で決定

【東京電話】陸軍では平沼男に大命降下するに至つたので四日午後の持越り三長官會議を行つた結果平沼內閣に對しては板垣陸相を留任せしめる事に決定したが同內閣成立に當つては陸軍では一、支那事變處理に關して御前會議の決定を徹底的ならしめず、あく迄聖戰の目的を貫徹する事、二、東亞の新秩序建設に基き軍備充實を遂行し國家總動員體制を擴充強化すること…

平沼內閣と半島

各方面とも信賴 冷靜な待望を浴びる

大命平沼男に降下の報に對し全島は同男とこれまで關係の薄かつたゞけに一先づ冷靜且無關心の態度を以て迎へられてゐるが、平沼男は從來も政界の下馬評に上つた政界の重鎭であるばかりでなく、司法大臣としてまた樞府議長として其の實力は既に定評のあるところで時代の逸材であるので刻下の非常時局を乘切る適任者として本府初め各方面とも多大の信賴をかけてゐる、ただ同男が過去において全體主義的國家主義者と定評されてゐるだけに長期戰下の國際統制の強化を懸念し早くも財界筋は一抹の不安を感じてゐるがこれは藏相の如何によるものとして財界筋は平沼內閣を見守つて居り、一般的には平沼內閣は現下長期建設の最高目標に前進する強力內閣として全半島の冷靜な待望を浴びてゐる

平沼男なら大丈夫 南總督、聖業達成を强調

平沼男に大命降下の報に南總督は四日夜十時「この人なら大丈夫だ」と開口して欣然左の如く語つた
樞密院議長平沼男爵に大命降下し平沼內閣の出現を見んとすることは誠に慶祝の至りである、支那事變は御稜威の下皇軍の威武と擧國一致の精神により今や東洋永遠の平和を確保すべく新秩序建設の新段階に入り國民は新たなる心構へを以てこの聖業の達成に邁進すべきの秋に當り國民の興望を荷へる平沼男が新たなる陣容を以て時局を擔當せらるゝことは喜びに堪へない次第である

新內閣施策動向

聖戰目的達成に邁進せん

【東京電話】近衞內閣總辭職により後繼內閣組織の大命は平沼樞府議長に降下したが、今回の政變は近衞首相辭職理由にもある如く武漢三鎭、廣東陷落の事變新段階に處し東亞永遠の平和と秩序へ新秩序の建設に向つて新たなる內閣の下に力を新にして人心の一新を圖り舉國一致體制を一段と強化して事變處理長期建設の段階に邁進せんとするもの［illegible］時に我が國內體制の根本的強化を目的とするものと見られるので、その本質上對內外諸方策については近衞內閣の決定せるラインを踏襲するは勿論、支那事變處理の根本方針に關しては嚴として御前會議に於て決定せられた不動の國是が存するのでこれが遂行に當つては內閣更迭により何等變更も加へられないことは勿論であるが、唯世界新秩序建設の一環としての東亞新秩序の確立を目ざす聖戰の前途は何ほど遠であり、この聖戰の根本的な政治、經濟の政策刷新は益々複雜化すべく國際關係の調整など強力なる內閣の清新なる實行力に俟つべき必要は愈々增大するものと見られるのでこの事變處理建設段階に處し東亞新秩序確立の炬火を掲げこの新目標の下に國民を總動員してあらゆる困難を克服し聖戰の最終目的達成に邁進すべき新內閣の施策動向は愈よ強化されるものと見られる

財界に影響なし

【東京電話】近衞內閣總辭職により事變の新段階に對處すべき責務を帶びて茲に平沼內閣の誕生を見たので、新內閣が今後如何樣な財政經濟政策を遂行するかについてはその新內閣の藏相の人選と共に財界一般では異常な注目をはらつてゐるが、財界大勢の觀測として既に國策として帝國不動の方針が確立されてゐる現狀並に國際的、國內的諸情勢に鑑み、將來池田財政の大綱が變改されるが如きことなくその根本方針は依然として續行されて行くべきものと豫想してゐる、即ち具體的問題に於ては事變の進展に相應して各々適當な對策が遂行されて行くであらう事は當然とするも物資の圓滑なる需給調整並に生産力擴充東亞新秩序の樹立を目標とする所謂長期建設等を內容とする現段階の財政的根幹は既に確定された一線であり而して之等の線を阻む事は上記財政により許されざる事態にあるので以上の諸事情より推し致せば池田財政によつて樹立された、所謂近衞政府の財政方針はそのまゝ平沼內閣に於ても踏襲されて行くものと見られてゐる、從つて平沼內閣の成立により財界も一身に於いても特別の影響を受けることが如き事はあるまいとしてゐる

畑大將 國府津に到着

【國府津電話】武勳に輝く畑前中支方面最高指揮官は富士號で四日午後二時十八分小田原驛着下車、この日小田原まで出迎へた松井石根大將と上海以來十ケ月振りの感慨深い握手を交はした後自動車で國府津に到着、宿舍國府津館に戰十ケ月の戰塵を洗ひ落した

組閣本部の動き活潑

【東京電話】新內閣の書記官長に決定した田邊治通氏及び竹內賀久治、太田耕造の三氏は四日午後一時四十分西大久保の平沼男邸より組閣本部に入つた

柳川總務長官 後繼內閣成立後進退を決するか

【東京電話】柳川興亞院總務長官は近衞首相の懇請により內閣三長官とは別個に留任することになつたが、後繼內閣成立後總裁及副總裁と協議の上進退を決することになる模樣である

鹽野法相 平沼男と再要談

【東京電話】鹽野法相は四日午後七時四十五分西大久保の私邸に平沼男を訪問要談した

石渡大藏次官 池田藏相と要談

【東京電話】石渡大藏次官は四日午後池田藏相を私邸に訪問、要談の後同二十分辭去した

大野政務總監 きのふ歸任

大野政務總監は四日午後一時卅五分車中に內閣總辭職の政變を聞きつつ京城驛着「あかつき」で本府各局長、甘利京畿道知事以下在城官民多數の出迎へを受けて歸任、直ちに總督官邸に南總督を訪問歸任の挨拶と報告を行つた【寫眞は歸城した大野總監】

第二號外發行

四日午後九時四十二分平沼騏一郎男に後繼內閣組織の大命降下につき第二號外を發行速報致しました

東西南北

握手戰術上手の新政局の某さんも新年試驗ばかりは斷り切れぬとみえて、目下さかんに片付けではこ木山人と師かにやつてのけてゐる◆これをみた勘察「二木」山人とはい、雅號ですが、何か曰く因緣がありさうですね」と水を向けると◆頭取「大いにありますよ、木が二つは君、林ぢやないかね」と朗かに笑つてゐるあたり、相變らず

新年倍大號
理論 實際 機械及電氣
研究に實地に學修に眞に役立つ優良誌
特輯欄 水力學及水力機械晚近の進步
東大教授工學博士 富塚清編輯
新年倍大號
內燃機關邦譯文獻集
新道海外文獻が出版後、邦譯で二ヶ月內に讀める
新春と共に新學域へ進出す！
新年倍大號
理論 應用 植物及動物
特輯欄 遺傳・育種學晚近の進步
農林・園藝・畜産・養蠶上見逃しならぬ最緊要智識
斯道の學理と實際とに直に役立つ最優誌
新年特大號
農業及園藝
特輯欄 各地蔬菜栽培の現狀と其研究
蔬菜の確實收益增進法 座作ら各栽培地視察觀
發行所　東京市本郷區森川町七〇　養賢堂　振替口座東京二五七〇〇番　圖書目錄[illegible]

本社主催 長期建設を語る座談會【4】

我を妨げる他力は 毅然として卻ける

その一つは何かと云へば、最初われ〳〵が 考へて居つ た、今次の日支事變の當の相手といふものは蔣介石政權であるんだから、支那人相手でない、蔣介石をどこまでも追撃するのであるといふ我が方針に徹底しなかつたといふことが一つ、それから、もう一つ、次にこの政權を援けて居るところの英、米、ソなんといふものに對して、日本は殆ど斷乎として戰ふといふだけの腹が見えなかつた。この二つのことが南京占領後レディーバード號事件パネー號事件等が起り、或は英國の對支援助等に現はれ、今まで一ヶ年引つ張つて來た、だから さういふこと で今後も今のやうな不徹底、といふては言ひ過ぎるが、右顧左眄といふやうなことを日本の國民、朝野がやつて居つたならば時局は更に長期になる、それは川越君の云ふ通り、日本と支那との間の關係は、所謂先刻言ふ通り、大亞細亞主義に依つて彼等に勃興の道を摑へる、さうして兩國が提携共存して行くより途はない、而してそれを妨げる他の力あれば毅然として之を卻けるのだ、この覺悟さへあればさう前途は困難でないといふ風に考へても 信念を持つ ものである

高木 同感です、松井大將の言はれたことは同感です、北支の現狀において一時今年（十三年）の三、四月頃から八月頃まで非常に不安であつた、北京、山海關、天津、北京間は不安であつた、それはなぜかといふと、ずつと三、四月頃から共產匪及び土匪がこの冀東地區に入り込み十月初めの調べでは共の數が約五萬六千人入つて來た、それを今度軍の方をよく掃除して綺麗になつた、だから十一月初頃からは山海關―北京の間の鐵道もちつとも不安がなくなつた、それから津浦線も 山東線も皆 スチュー ト通りに出るやうになつた、[illegible]さんなんか外遊道でお出でになるといふやうなことで氣分的になつた、然し現地北支の北京、天津附近で現今何處が一番不安であるかといふと、天津の英、佛租界が一番不安だ、僕の友人の北支の要人達は私に向つて若しあなたが天津のアスターハウスで泊まられるならば、訪ねることが出來んから、よしてくれと言つてゐる、それは丁度此の十月に支那の要人の河北省の教育總長陶尚銘夫婦が英租界で自動車に乘るとき殺された、

それから陳中孚市長も襲はれた、天津の英佛租界が一番不安である、戰爭が起つて居る時に提供する筈であつた五千數百萬弗の現銀、あれも 英佛租界に あつた、彼處から移すことが出來ない、重慶政府に屬し青天白日旗を揭げて居る、だから電話は日本租界や支那街とは通じないといふ風な狀態である、今日の戰爭は表面は蔣介石政權との戰爭かも知れんが、實質上はさうでない、先程川越君の言はれたやうに一方に於て英國といふものが尻押して居るといふやうな結果が、今日の事變を長引かせて居る、戰爭に對して今松井大將の言はれたやうに毅然たる 態度を執つ て行くことになれば、そして彼等が今日の事態を認識して來るならば、或は非常に豫想より早く片附き得るかも知れんがそれが却々さういふ風なことが一寸今日の狀態に於てさう容易に出來ないのであるから、自然これは長期に亘るのも已むを得ざることになるかとも思はれるのです

那邊にあるか 英の國府援助

藤山 われ〳〵が考へなければならぬことは、なぜイギリスがあれだけ今の蔣介石政權に對して肩入れしたかといふ問題ですね、といふことは、要するに、イギリスとして私が考へるのですけれども、逸早く兎に角 支那の統一 運動、國家的な意識といふものをイギリスは感じて之を援助することに眼をつけたのです、從つて幣制改革にしても何んにしても總べてイギリスはその手で行つて居るから、支那人といふものは、イギリスが有難いといふ觀念を非常に植付けられた、今日になれば、無論自分達の權益の維持といふこともあらう、イギリスが支那の統一を援けて幣制の改革もし、その國民意識を摑へたといふことは、結局イギリスの經濟的利益を伸張させる意味で摑へた、日本としてはそれが私は 遲かつたと 思ふのです その點を考へなくちやならぬ、さつき川越さんの言はれたやうに、蔣介石を支那人は非常に崇拜して居る、無論私共が行つた段でも、「蔣介石はどこが偉いんだ」といふことを訊くと、若い連中などは、第一彼は今まで人を殺したことがない、どんな者でも殺さないで、[illegible]居る、それで偉い、しかし、蔣介石は偉いといふことは知つて居るけれども、國民的批評としては神樣として祀るまでには行つてゐなかつた、それがなぜそれ程までに行つたかといふと 要するに蔣 介石が偉いんぢやなくして、さういふつまり國家統一といふやうな意識のロボットにしちやつたのですね 要するに、ロボットであり、偶像である、國の一つの中心として のロボットを創り上げようとしいふ國家意識といふか、統一意識といふかさういふものが蔣介石に集つたのであつて、それだけに蔣介石といふものを國民が放さなくなつた、國民といふかインテリといふか放さなくなつた、蔣介石がインテリを摑へて居るより、インテリが蔣介石を放さなくなつてしまつたとかう思ふ のです、だからそこにわれ〳〵が考へなければならぬ問題が非常にあるんぢやないか

高木 實際、藤山さんの言はれるやうに蔣介石といふものは、これはわれ〳〵が始終行つて居つて話を聽いて居つても、愚痴をなして來たのはこの三、四年ですからね、それまでは矢張り蔣介石は、何らかの形勢を見て態度から下りて來る所謂中間派、右でも左でもない中間派だと云つてやはり反蔣派とか、反對派といふものは常に壓迫にあつた、蔣介石を排斥するのは南京政府の一部の者だけであつた、それを 國民黨の首 領にし、國民黨のみならず支那民族の首領われ等の首領といふことを言ひ出したのは、一昨年の暮頃例の西安事件以後日本が侮くしたやうな嘆きがありますね

御手洗 藤山さんの言ふイギリスは支那の新しい國民統一といふものに便乘した、それをうまく摑へた、日本はそれを摑へ得なかつたんだ、といふんだがしかし、こつちは、支那を侵略するんぢやない、支那人と一緒に行くんだ、提攜して行くんだといふことを 何十年言ひ 續けて來て居るのです、ところが、そいつをちつとも向ふの奴は信じないやうな時代になつて了つて來たのだが、それで日本が信じさせようと云つたつて、口だけでは信用がないたつて、今日の場合、いくらさうぢやない、こつちはお前と一緒に行くんだ、と云つたつて、向うでは取つて喰はれるといふやうな感じで逆もそれは出來なくなつてゐると思ふ、それならば、その支那人の考を變へさせて、イギリスがうまくあの軌道に乘じたやうに、こちらが 何か轉換さ せなければならぬが、それは一體どういふ方法でやれるんでせうか、そこが今の長期建設の方法といふことになるんぢやないかと思ふのですがね

松井 先刻來言うたことゝ同じ事を繰返すことになるんですがね、それは過去の――私は、われ〳〵の亞細亞主義運動は、支那人にも說かなければならぬが同時に日本人に先づ說かなければならぬといふことを主張しよつたゆう言うて居るんですが、だからこの時局に對しても、支那を反省せしむると同時に、或は之の前に日本人 自らが反省 しなければならぬところが多分にあるんですな、それは日本は、支那を侮らぬの、搾取せぬといふけれども、過去二、三十年間西洋人と較べて見て、日本人も大していゝことをやつてゐない、西洋人以上に支那のいやがることも時にはやつて來て居るでせう、しかし、それは勿論日本の過去四、五十年の間といふものは、日本自らがまだ生きんがために列國の壓迫から免れんがために非常に頓悶苦鬪して居つた時代から、その必要上支那に向つて多少は嫌がられるやうな態度 政策を實行 しなければならなかつたといふことも蓋し已むを得なかつたと思ふが、だから私は過去を決して咎めるんぢやないが、今日、日本は大日本に成つたんだから、今日からそこを大いに考へて行かなければならぬ、と思ふのだ

新體制の設計圖

藤山 今御手洗君も云つたやうに、イギリスは支那の國家統一意識を摑へて出て行つてやつた、日本はやらなかつた、といふのは非常にこれはやらないのです、といふのは私は貿業界にゐて、この十年間くらゐさう思ふのは 日本の海外 に眼を着けたといふことが、ヨーロッパ大戰を了りとして終つちやつたのです、これは單に支那ばかりでなく、南洋方面に對しても、凡ゆる方面に對して、日本の例へば經濟的な外國人との提携といふやうな對外事業といふものは全部あの時を以て終焉を告げたと云つていいんぢやないか、支那に對して私はその後何んの仕事を經濟人がして居るか、無論支那へ行つて仕事をして失敗した例が多いにしても、日本人がもう少し支那に眼をつけて貿業界の連中も出て行つてやつて居つたならば 先生方の鉞 分も緩和して居つたらうと思ふ、ところがヨーロッパ戰爭が了つて、昭和二年に金融恐慌があつて以來、日本の貿業家が何を考へてゐたかと云へば、要するに、ヨーロッパにもう一遍大きな戰爭があつて、再び大正年間のやうな濡れ手で粟を摑みたい、棚から牡丹餅が落ちて來るのを待つといふ氣持だつた、貿業家の會などでもよくさういふ話がされ、何處かに戰爭が起きはしないか、あなた方もさういふ聲をお聽きになつたでせうが、自分自ら苦勞しても出て行つて 海外に進出 しよう、外國人と提携して行かうといふやうな意識は恐らくなかつた、從つて、高木さんは苦勞をして居られるが、高木さんをバックして居る資本家は、高木さんに債權取立の仕事ばかりさせて、それ以上の仕事はさせてゐない

松井 さうだ、高木君や白岩龍平などはそのため一時圖服役ひされた

藤山 そこに日本人が弱かつた點がある、日本人は餘程反省しなければならぬ、

松井 それが悪かつたら到頭拳骨を振り上げて滿洲でやりました（哄笑）支那に何も與へずして、たゞ 拳骨だけを 振り廻すものだから、これが日本といふものを恐れさせた

御手洗 この問題はこの邊で一段落としまして、長期建設に依つて東洋にどういふ體制を建設しようといふのか、その新體制の設計圖ですね、先づ第一に政治的設計圖、次に經濟的設計圖、別箇になるか、一緒になるか分りませんが、どういふ東亞の新體制といふものを創るのか、これがハツキリすれば支那人だつて非常に安心するだらうと思ふのです、それは支那人ばかりでない、日本人の大多數が分らずにゐるだらうと思ふのですが 東亞の新秩 序とか、長期建設とか云つたつて、どんなものを一體創らうといふか

經濟方面から

川越 私は經濟の方面から一つ私の考へて居ることを述べて見たいと思ふのですが、長期建設新秩序といふやうなことは、實は私にもよく解らないのです、これは近衞さんが云はれたのでせうが、その言はれた政治的新秩序を標準に建てるといふことは、これは想像はしますけれども、ハツキリしたことは私には分らないのです、要するに、日本といふものが 東洋の覇主 盟主になつて、さうして今まで白人のために壓迫され、虐げられた東洋民族といふものを、その白人の壓迫から解放して、日本の皇道精神といひますか、それをアジア民族に普及せしめる、これは松井閣下のお考へもさういふことぢやないかと私想像して居るのです、その問題はそれとして、經濟的に新秩序建設といふことはどういふことを考へるかといふと、想像して見まするに、私はやはり先程申上げました、日滿支の經濟ブロックにあると思ふのです、その經濟ブロックも 段々お話が あつたことは私全く御同感ですが、徒に日本のみが儲けて、さうして日本の經濟だけが儲けて、さうして支那や、その他の馬來とか、今まで白人のために壓迫され、白人のために搾取されて居つた民族に對して、日本が今更搾取することになつちやつては、東洋の民族といふものは永久的に被壓迫、被搾取の民族になつてしまひます、これぢやいけない、そこに搾取もなし、壓迫もなし、ギヴ・アンド・テイク經濟上の利益といふものは皆が享受すべきものである、日本のみが 搾取するの でなくして日本と滿洲、支那といふものが經濟的に獨立の基礎の上に立つて三國が有無相通じて共存共榮これは何十年言ひ古された言葉であるが、共存共榮、俗に云へば、支那も儲ける、日本も儲ける、支那も經濟的に發展し、日本も滿洲も經濟的に發展する、これはその三ケ國の地理的の現狀、若しくは資源の配布の狀態といふやうなことから考へて見まするといふと、支那は必要なものを日本が供給し、日本で必要なものを支那が供給す、日本には資源が無いんですから 支那から資 源は持つて來る、支那の資源を日本に持つて來て今度は日本で品物にして復た支那民族に供給してやる、滿洲も同じことでありますが、よく有無相通ずるといふことを云ひますが、仕事を起して、さうして三ケ國の國民が共に經濟的な繁榮を來すといふやうな方向を考へて行く、經濟的に三ケ國といふものが密接な[illegible]やつて行くといふことが、日滿支經濟ブロックの狙ひどころであると想ふのですね、東洋に於ける新秩序といふやうなこともやはりさういふことを 狙つて居る のではないか、とこれは私が想像して申上げるので間違つて居るかも知れませぬが、私は少くもさういふ風に考へてゐるのです それぢや具體的にどうするかといふ、これは觀念論としては餘程ハツキリして居る、と思ひますが、個々のものについて、鐵はどうするか、石炭はどうするか、綿紡はどうするか、農業はどうするか、とかうなりましたならば、これは色々具體案といふものもありませうけれども、大體の方針としましては 先程申上げ ましたやうに共存共榮、有無相通ずるといふことが一番大事なことぢやないか、而してその狙ひどころは東洋に居る白人のため奴隷化されて居られた、民族を解放する、そして共に平和を樂しんで經濟的な利益を增進して行くところに狙ひ所が置かるべきではないか、これは私の想像が間違つて居るかも知れませんが

御手洗 高木さん、如何でせう、今主として經濟的な新方向を示されたのですが、政治的にですね、どういふ一體新東洋といふものを創らうといふのですか、支那を壓つてしまふんだ、といふのでは無論ありますまいからね、保護國にしようといふものも今私共の知つて居る範圍ではないと思ふのです

高木 無論經濟的のことは今川越さんの言はれた通りだと思ふのです、この政治的のことでも

時……十三年十二月十五日
所……東京星ヶ岡茶寮
出席者……（順不同）
前內務大臣 河原田稼吉氏
前大藏次官 川越 丈雄氏
中日實業總裁 高木 陸郎氏
陸軍大將 松井 石根氏
東商副會頭 藤山愛一郎氏
本社側 御手洗辰雄社長

これは 私寡聞にし てハツキリしたことは云へませんが、やはり新聞に出てゐるあなた方の御つて居る範圍と大して違ひはないのですが、所謂日本と提携して共產黨を排除するその主義に立つた政府といふものを支那に創らう、これはしかし、支那では分治合作といふことが言はれて居ります、その分治合作といふものはどうかと云へば、要するに現在あるところの河北に於ける臨時政府、中支那に於ける維新政府、蒙古にある聯合政府或は更に進んで回教徒の方の政府が出來るかも知れない 或は漢口に 於て一つ政權が出來るかも知れない、[illegible]方面に於て一つ政權が出來るかも知れんが、かういふものを併せて、さうして之をこの間維新政府の梁鴻志氏も云つて居りますが、聯邦政府といふものを創らう、といふやうな意識で動いてゐるんぢやないかと私共は考へてゐるんですがね、まアさういふ風な氣分に向つてゐるやうに見受けられますね

御手洗 その假りに支那の統一政府を聯邦政府として、之と 日本或は滿 洲との關係はこれはどうなりますか

高木 これは滿洲と日本と一緒になつて經濟的にはブロックを創る、先程言はれたやうな形式にならうかと思ひますが、軍事上及政治上總べて日本が、例へば南北アメリカに於ける何んと云ひますか、合衆國政府のやうな地位に居るんぢやないかといふ風な氣分もあります、ですね日本の指導權――指導權なんといふ言葉は使はれないかも知れ[illegible]

主將之道

己卯元旦 有田八郎

元旦試筆 有田外相

文藝春秋·時局增刊16

兵士の書いた實戰記
藍の標章 佐川英三
生き殘るの記 藤川忠治
漁業問題は日ソ戰の口火となるか 竹尾弌
第二の三國干涉 半谷高雄
▼ポーランドの動き ▼汎米會議の歸趨 ▼チュニス・コルシカ問題 ▼獨逸メーメルに進駐 ▼獨佛の接近を繞る ▼英國の對支援助の終る時
興亞外交への巨步 白鳥敏夫
★診療室から覗いた南京 醫學博士 岡崎祗容
★珠江の水軍 同盟記者 中村仲康
▼時務短言 古池生
銃後生活再編成
拓かれゆく移民地 和田傳
時局銳眼 短評
言葉の使徒 本多顯彰
高田義一郎
文明と文化 新關良三
東畑精一
戰爭の檢討 道家齊一郎
「戰ふ軍醫」座談會
劃期的な編輯を以て江湖に問ふ國民雜誌
投降 張露薇
支那紅軍 近藤榮藏
第四期抗戰を口號して次第に國民黨を壓迫し始めた支那共產軍 此特輯は吾人に其實相を教示！！
★支那共產軍研究
支那共產軍の大西遷 角田次郎
ブリュッヘルは支那にゐる！！ 中島謙治
石達開將軍 小田嶽夫
酒豪孫權 大場彌平
時局漫畫 麻生豊 石川進介 宍戸左行 堤寒三 小野佐世男
支那學者 時局を憂ふ座談會
出席者 文博 白鳥庫吉 文博 市村瓚次郎 文博 飯島忠夫 文博 小柳司氣太 文博 和田清 文博 諸橋轍次 文博 高田眞治 竹田復 石田幹之助
現地報告 定價四十錢
滿洲の文化・都會 岩崎昶
南支方面 海軍從軍報告 甲賀三郎
廣東の唄ごゑ 林炳耀
故伍長 北岡一角の手紙
從軍小說 珠江の中の女 長谷川伸
行軍 中谷孝雄
文藝春秋社 東京市麴町區內幸町 振替東京一七六〇三

賀戰捷之新春併而謝皇軍之奮鬪

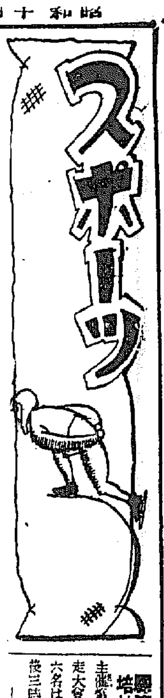
永興郡廳
永興警察署
永興學校組合
永興稅務署
永興面事務所
永興郵便所
永興產業組合
永興驛
永興穀物檢查所

延安警察署長 張命昌 電話六七番
延白警察署
延海水利組合 電話二八番
延安公立農業學校 校長 西村一平
黃海水利組合 電話一五一番
延白穀物協會
延安穀物商組合
黃海道 延安邑事務所 邑長 禹夏榮
黃海道延白公立普通學校 校長 中込欣一郎 外職員一同
安岡幸營 黃海道延安
朝鮮開拓株式會社延安出張所 所長 豊田橋藏
株式會社漢城銀行延安支店 支店長 今澤康三
延安郵便局長 趙燦九

延白稅務署
穀物檢查所仁川支所延安出張所職員一同
黃海道延安 西村清
西鮮電氣株式會社延安營業所 所長 松岡利男 電話五九番
黃海道延安 森岡駒太郎 電話二〇番
黃海道 延安消防組 電話一二三番
延白郡廳
延白郡農會
日海興業株式會社
沙里院木材商會 李胥永
沙里院稅務署
沙里院酒造組合
廣興工廠 電話二〇〇番
西鮮電氣合同會社 沙里院營業所
岡田旅館 岡田國藏
沙里院穀物組合

黃海道 延安郵便所 所長 入江幸平
黃海自動車運輸株式會社 所長 佐川安兵衛 外職員一同
黃海道延安 大關峰次郎
東拓延安分支所 所長 中村虎一 電話一三〇番
道立沙里院醫院
專賣局沙里院出張所
鳳山郡廳 電話四番
沙里院醫師會
沙里院金曜會
沙里院 至誠醫院 院長 李□兆 電話一〇八番
東洋製紙株式會社 沙里院工場

金志煥
沙里院郵便局 職員一同
朝鮮黃海道沙里院邑 鈴木德平商店 電話二六七番・五九五番
沙里院西里 三喜莊
沙里院西里 朝鮮料理 白雲莊
大成貨物自動車株式會社 取締役社長 康弼祥 支配人 林鳳煥
共成商會 電話三〇番
沙里院金融組合
朝鮮料理 景山莊 電話二五六番
沙里院消防組



長期戰下のスポーツ界 こゝにも一大轉換を

支那事變發生以來既に一年有半、長期建設の段階にあつて茲に新しく昭和十四年を迎へるに當り國力、國防の礎である運動競技、即ち國民體位向上も、日本、東亞、世界を一貫して政治、經濟、思想、その他總ゆる文化部門の發展と並行して戰時的大轉換の途を要請されてゐる。國民體力の如何が國力消長に重大な關係はこの程どの事變によつて飛躍的に痛感した、現下の時局を克服し東洋平和の大使命を達成するには人的資源の擴充强化、質に於て國民體力の向上を圖り數に於て人口の增大を期せねばならない。現下の體育運動にこれがための意義を認識し、新たな生面が展開されたのである

冬の寵兒スケート
目指すところは只 オリムピック準備

藤原文雄

新春來と共に本格的シーズンを迎へるスケート界はサン・モリッツ大會參加の實現を期し、聯盟も擧國一致主義を以てこれが陣容編成に方針を樹てたが、今季第一線がどこまで强化されるかに大きな

問

題であるが、現在の各種目の實績をみると前回のガルミッシュ大會以來、實質的に實力が一段と向上したのはアイス・ホッケーと女子フイギュアで、當時の第一線と同等に近いものが男子スピード、未だ及んでゐないものは男子フイギュアである。スピード競技はガルミッシュ大會で石原選手が初めて五百米に四位入賞を記錄した通り、日本の最も有望な種目は短距離である、現在石原の後繼者としては聯能振（明大門）南洞（早大）の兩者が居るが石原がオスローで作つた四三秒五の日本記錄に對し、聯は昨年信州の大會で既に四三秒六を出してをり、愈々先の理想で今季も充分期待されると云ふから

記

錄は落ちまいし、南洞は四四秒五の記錄を持つてをり、今年最も伸び率を持つてゐるから、國際的走法を以て更に之れを縮めるものと豫想される、さらに日本選手は歐洲では內地より遙かによい記錄を出してゐる從來の例からしても、前回より優れた成績を期待し得る事が出來る。これに次ぐ者に許、泉山、高橋、李東（明）山下、中村（早）大川（法）で、四五秒から六秒台にあるが、今季はストレッチの走法とコーナー・ワークとペースの完成が最大の難題となつてをり、學生、全日本、日滿對抗の三大會を通じて、不撓の精神力を注入しらんと鍛錬するうちに

誰

かゞ飛抜けて來るものと思はれる、中距離ではやはり聯能振が金正淵のガルミッシュ記錄二分二五秒〇を一秒の差につめてをり、安、李、崔（明）南洞、山下（早）がどこまで進境をみせるか、世界の水準から遠い長距離の第一人は張祐植（明）これにつぐ中楠（早）と初め李、安、尹（明）金、朴（滿洲）等が金正淵の一八分〇二秒四の日本記錄にどれだけ迫るかと併せ今季の宿題であるが、アイス・ホッケーは立、早、慶、明、四大學の充實で、前回に紙一重で選に漏れた者と、その後に入つた者が實力を守し、最强チームを編成して見ると前回より强いものが出來上るそ、これに滿鐵と、日光、王子兩實業團にも强いプレーヤーが發見されそうで全日本選手權がみものとなつた、現在の

戰

法は敵の攻擊を阻止し、パックをオープン・サイドに擲き、FW三人が飛出して行つて、敵のデフエンス・ラインを速攻で突破する反擊法とこの場合及び敵からメンデフエンスを布く場合に、味方のDFも前進させ、積極的敵陣に押入り、多角パスを使つてシユートを決めると云ふカナダから會得した猛攻法の二つがある、ガルミッシュ大會では歐洲第一級チームに强引な攻擊に遭つて守勢に陷つた爲、前者の戰法のみが採られ、後者は殆ど遂行する餘裕がなかつた爲も前者の戰法も、日本選手がスピードに劣り、小柄のため敵の巨軀に壓倒されて瑞典に2―〇、優勝の英國に3―〇で敗れ何れも、無得點に終つてゐる、かうした經驗から、現在第一線を見ると確に

ス

ピード即ち個々の突進力を增し、立派なとは掛引も上達したが、全般に組織力が未だ不足し、スティックワークの驅使さも、外人のそれを思ふとさして增したとは言へない、しかも、選手は總て屋內リンクで强くなつた、言はゞ溫室育ちであるが、サン・モリッツは屋外競技場であるから、こゝに無風、溫暖な氷質軟かく滑かな屋內のコンディションに馴れた習慣を捨て、寒氣强く、時に風雪を伴ひ、氷質硬く屢々ザラ〳〵となる屋外のコンディションに馴れ、而も屋內リンクで會得した技術的長所を生かす訓練が重要となつなので今年は日滿對抗戰を機に滿洲各地で轉戰し、鍛へ上げることになつてをり、その

効

果は精神力の强化と共に大きいものと期待され、かくして第一線は、ゴールへの集中力に於て前回の如く敗殘的に終ることはあるまいと信じられ、總攻法の一段の研究を積めばかなりの强チームが出來るものと期待される、フイギュアは前回十三歲の年少を以つてしかも本場から隔絶した極東で、日本のコーチから幼い頭に叩き込まれた技術をもつてオリンピック第一の絢爛的な女子コンテストに本場者もの群星を押退けて堂々十位を占めた稻田嬢が十六歲の春を迎へた三年前彼女が一流選手を見習ひ、指導の權威ゲルシエヴエラアから敎へられた技術を取入れて、今ではスタールに一層滑賞味を增し、フリーはジャンプやスピンに

確

實性と柔軟性をつけ四肢の成育と共にフオームを整へ、音樂に對する認識を强化した、然しながら、歐洲は更に前進してゐるのであらう事は容易に想像され、次回までの中間年度に一度派遣させ、其後の新傾向に觸れさせる必要があつた、尤も歐洲の根本的潮流は前回すでに把握してあるのだから、さして誤まられてはゐないであらう、何れにせよ彼女の實力は必ず十位以內を確保するものと期待される、それに次ぐ月岡、中村兩嬢は共に進境をみせてゐるが稻田嬢の線には到底及ばず、また國際場裡に出すまでには至つてゐない

男

子は第一人者片山がインストラクターに轉じ、老松は引退、長谷川は病氣渡邊も退いて（現在の第一線は有坂（明）碑田（田園調）小笠原（大阪）の三者が共によいスプリングを持つてをり、有坂の實力は片山の線をそろ〳〵摩さんまでになつて來た、今年この三者の競り合ひがどこまでの上達となるか興味深いものがある、女子スピードはオリンピック種目にないが男子よりも世界の水準に近く滿洲、北海道の對立が昨年から激化して來たので日滿對抗は醍醐を呈するものと思はれる、全日本に連勝してゐる江島嬢（滿洲）は、この二年間に日本記錄をどしどし更めた高能振りを今季も發揮すべく、これに挑戰する走法を磨く中川嬢（北海道）の挑戰はもつとも興味を惹き更に滿洲は分踊、木谷、村上、村山姉妹、鶴手、以下大勢、北海道は大高、平井等多士濟々の嚴例たる少女群の活躍は充分進步の跡を示すべく、世界の水準に一段の接近を示すであらう。

驛傳競走へ 培材中首途

八日行はれる關西大學主催第十五回全國中等校驛傳競走大會へ前回の覇者培材中學一行六名は崔部長に引率されて四日午後三時京城驛發列車で首途した

本社取扱獻金

國防獻金

—一月四日扱—

一金十圓也　京畿道開城京城日報支局扱

一金五圓也　京畿道仁川花平町青年團一同代表者朴仁國

日計　一金十五圓也

累計　一金五萬二千百九十五圓六十五錢也

皇軍慰問金

累計　一金八萬二千三十八圓五十三錢也

總計　一金十三萬四千二百三十四圓十八錢也

無電台

公債や希望の投稿歡迎・十五字詰四十五行以內・掲載無電台原稿・紙上匿名は差支なきも原稿に住所氏名明記のこと

教員の優遇を乞ふ

第二國民の教養に努力する教員の任務は實に重且つ大である、此の聖職に働く教員に逢ふ處毎に然頭が下る、殊に國境僻地に於て更生部落指導、一般農民の文盲退治、兒童教育に努めてゐる簡易學校の教員は側で見てゐても一女兒我々にも同情の涙を禁ぜられないものがある、殊に經濟機關のない隔絶した田舍にあつては自ら醫師になる場合も多い、それがため子女の死亡率も少くなく經濟的にも大きな打擊を受けてゐる、三四人の小學校學齡兒童を持つてゐる人はその下宿料や何や彼やで大變である、當然此の層の教員は優遇すべきであるにも拘らずかへつて忘れ去られてゐる觀がある、口だけの優遇では何の効もない、教育當局者はもう少し不平あつても云はずに默々と働いて居る此の層の教員を優遇すべきである、折角熱誠をこめて天職に精勵しても、時たま學務のおエラ方と會へば兎角小言ばかり言はれ、薄給生活に惱まされしかめた顏で生々とした教育が出來るかどうか疑問である、教員を優遇することこそ刻下時局の緊急事なりと痛感するが如何（黃海道溫井生）

教員に告ぐ

教員、大日本帝國の未來を擔ふべき第二世國民の教養の任務にあたる者、其教養の正否は國運の如何にかゝはる何といふ重大な職務であらう、その言行の第二國民に對する影響の重大さを思慮するとき抑も教員諸氏の全部が指摘するにあらずとも更々其責務を等閑にし酒醉放埓の醜態を演ずることが如きは寒心の至りに堪へず、非常時國家の線を脫し教壇を汚すことを何とか之に注さらんや、特に今後の覺醒を希望してやまない（鎭南浦蒼原白羊）

キング 二月號出來！

感激の大內容!! 見よ！魂をゆすぶる

變幻自在！文裝の快劍千亂れ飛ぶ千手!! 級は怨みをつゝむ大江戸の闇は急を（?）し

をり鶴七變化（角田喜久雄）

大感激！いよ〳〵大評判 現代名士五分間傳記
新拓務大臣八田嘉明氏
中京實業界の巨星青木鎌太郎氏
恩賜賞に輝く牛尾義方氏

▲體驗感話 魂の置所

▲日本の強み面白繪とき…檀野禮助

鷹森部隊長陣中感話

▲母の訓へ…樞密顧問官 林頼三郎
▲思はず吹き出した話…諸名家
▲時事問題早わかり…經濟學博士 太田正孝
▲隨感隨想…十二名家
▲佳話・珍話＝名士の面影…諸名家
▲不自由な體で活躍してゐる名士畫報
▲これは滑稽！あべこべ物語（特別色刷ページ）
▲大入滿員！漫畫大レヴュー館（面白い〳〵傑作續出!!）
▲伸びゆく日本！長期建設畫報
▲爆笑落語・借金長屋…柳家金語樓

特別讀物 スパイ小說・冒險小說集
▲膽大不敵 巡洋艦を俺に呉れ（スペイン大動亂の裏面に大活躍せる不敵の密偵がまんまと敵艦を盜んで逃げる）…櫻井正四郎
▲謎の砲聲 沙漠の友情（熱砂地獄―魔の沙漠に行きくれた探險隊に、これは又朗しき人の世の眞心）…淸水暉吉
▲神出鬼沒 スパイは何處かに居る（風の如く去つて風の如く來る彼の外國人、最近にもこんな驚くべき事實が）…北村小松

現代小說 若い力（　）…川口松太郎

特別讀物 武教小學（山鹿素行）…持寶山抄譯

相撲大特輯 双葉山を倒す者は誰か？…鈴木彦次郎
◆新進で有望な力士は誰か？◆スピード出世くらべ◆ノッポとチビ◆大男小男◆以來勝星十傑◆力士年少年長くらべ◆勝率十傑◆力士入幕順◆珍名くらべ◆面白い相撲川柳
▲面白い〳〵近世橫綱逸話列傳……

▲獨逸は何故偉くなつたか（獨逸より新歸朝の伍堂氏が、目の當りに見たナチス獨逸の實情を語り、同胞の奮起を促す!!）…前商工大臣 伍堂卓雄
▲一頭の牛が村を救つた話（至誠通天、一村の不況を救へた牛飼ひの名人が、血と汗と涙によつて築きます苦心奮闘譚）…岡崎久次郎
▲讀者慰安 一萬餘名當選大懸賞募集（誰でも欲しくなる大賞品續出！問題は至極簡單！早く御應募下さい）
▲出世と幸福あの道この道…諸名家

山窩綺譚 丹波の大親分（三角寬）

武俠情怨 愁ゝ夕暮記 堂々百枚に亘る大長篇讀切り傑作…海音寺潮五郎

▲戯曲 元祿忠臣藏…眞山青果
▲蟋蟀と軍犬…諏訪三郎
▲引越し戀愛…弘木丘太
▲物言はぬ密使…目黒麥男
▲嫁取り双六…佐々木邦
▲日本の妻…竹田敏彥
▲木曾の勘八…神田越山
▲愛憎の書…菊池寬
▲麗粧佛身…吉川英治

大熱淚の時代小說！ 國難（加藤武雄）

◎定價六十錢（送料四錢五厘）全國書店にあり　大日本雄辯會講談社

家庭

カットは山田新一氏

壽命にも遺傳性
社會環境の改善で左右
望ましきは生活能率の向上

昔から 民間に『長生きの系統』とか、『あそこの家は長生きの血統だ』といふやうな事がしばしば言はれて居る通り、事實、或る家族では代々比較的申し分のない年齢まで生存するのに、同じやうな生活環境に在るやうに見え乍ら一家中比較的若死する人が多いといふやうな事が往々ある。で大體人間の壽命に遺傳があることは大體疑ひないが、それなら壽命は先天的のものでどうすることも出來ないかといへば決してさうではない。人間は文化の進歩につれて一般的にも、社會的にも生活環境がよくなれば、それにつれて壽命をのばすことが出來る。現にアメリカあたりでは、千八百年前後以後、最近の二百年間程の調査によつて、平均壽命がのびてゐることを報じてゐるが、日本にはまだ殘念ながらその方の調査が出來てゐない

殊に日本は、明治以後の社會的、文化的發展があまりに急激であつたために、環境の變化が著しいので、後天的に平均壽命がのばすといふ點ではみとめられてゐない

もとくこの環境といふ言葉はわれくの方からいふと、一般的環境と、社會的環境の二種に分けられる。一般的環境といふのは氣候風土等自然の條件が人間に作用することで、この方は近來非常に進歩して初夏に發生したチブスが秋までぺんくと續いてゐるといふやうな事は殆どないし、衛生思想なども相當發達してゐる

しかし 社會的環境の方から見ると、社會の餘りに急速な發展に、人民大衆の生活條件が追ひついていかれない、高度の文明品にもかゝわらず勞働時間、賃金、勞働設備等々、勞働條件は工場農村共に非常によいとは云はれず、過勞と營養不足から起る疾病例へば結核等は世界の他の文明國に比較にならぬ程多いし、現在も急速に減少する目あてはつかない。但し、環境の進化が人間の壽命に及ぼす影響といふものは極く緩慢なものであつて非常に重大ではない。それよりも重大なのは生活の能力に關聯することである

いくら 長生きをした方がよいと言つたところで、早くからよぼくになつて、人生の無能力者としていつまでも生きてゐることは餘り有がたいことではない。がその反對に、昔から人生は五十年とか何とかいはれてゐるが、六十にして壯者をしのぐ活動をしてゐる人もある、長生きをすると同時に飛段まで生活の能率を上げる事の出來る能力がほしいものである。體力の増進——之こそは壽命をのばすと同時に決してゆるがせに出來ないモットーである(厚生省施設課長醫學博士佐藤正氏談)

家庭メモ
白玉の作り方
お汁粉にお正月のお餅を使つてもいゝやうなものゝ、白玉などはいかゞ、お汁粉でなくても白玉だけでもいゝおやつが出來ます。作り方のコツは、白玉を水でこねて、二時間おいてから茹でると、不思議と軟かい、とけるやうなのが出來上ります

新春から これだけは よしませう

妻楊子
どんな美人でも、むき出しに妻楊子をつかつてゐるのを見たらゲンナリものです。まして、赤い晴着した顔で、楊子を使ひ乍ら新春の街頭を歩くなぞは誠にはしたない見苦しいものです。

女てゐ て一度使つた小楊子を帯のかけ襟に挿込むなどもよくありません。妻楊子をつかふ時は右手にもつて、左手でかくすやうにして、うつむいて使ふこと 捨てるときは散紙にそつと包むか若くは割箸の紙袋があれば汚した箸と一緒にまとめて置くこと

大きな 日本髪に毛皮
丸髷や島田髷に、これは又物凄い大きな毛皮とは、およそ滑稽なスタイルです。大たい首巻に大きな毛皮は似合はないのに日本髪の襟合は古風な感じにそぐはず、襟のあたりが背やたほぼつてりしてゐるところへ猫い狐の頭のつけた毛皮をかけると、頭が重い大きな髷と毛とにおしつぶされたやうに見える

この場 合は必ずショールをお用ひ下さい。出來るなら、コートも洋服仕立よりは普通の方が似つかはしい

京城のお孃樣が語る 私のお正月
(四) 徒歩を實行
城大教授高木市之助氏令孃 高木ちよ子さん談

朝に夕に立ちこめる霧にもかぐはしい新春の香がたゞよひ黑土の中にまでも限りなき活力がこめられてゐるやうでございます、地上のあらゆるものがよみがへるお正月になりますと、誰でも今年こそはと改たな心に誓ふのでございますが、實行することはなかくのことだと存じます、しかし私は今度のお正月から是非共實行しなければならないことがあります、それは電車には乘らないことで、本町の買物に私の家から歩きますと三十分はかゝりますが、保健の爲めと申しませうか、暑くとも寒くとも我慢して歩きませう、電車賃つて極く僅かのものでございますが、やはり積れば大きな額になると思ひます、節約しましたお金は別に預金して御國の爲めにさゝげたいと思つてゐます

今年のお正月にもやはりどこのお宅でもお重詰料理をなさつたでせうか、お正月はお料理等も外形的なものに重きをおくことよりも内面的なしつかりした料理にとりかへようと心掛けました

兎の記念物 天然
世界的珍種 奄美大島の黑兎

白兎 は昔から月の精として壽千歳に及ぶといはれ、唐の時代には瑞物として珍重がられたものであるが、我國でも兎の肉は徳川時代には元旦の吉例として吸物にせられたさうである

×

山野 に棲む普通の野兎には學者によつて二種、朝鮮に一種、又内地に二種を區別してゐるが琉球列島の奄美大島と徳之島とに特産のものは奄美の黑兎と呼ぶ、天然記念物に指定せられてゐるほどの世界的珍種である

×

この 黑兎は深山の樹穴や岩の洞穴内に巢喰つて普通二、三頭の仔を産むが、夜間に活動して草木の嫩芽や蕨類、筍、芋等を喰ひ廻る

×

黑兎 狩りは巣に依る場合もあるが、巣穴を掘べたり、或は犬を使つて追ひ出して捕殺したり、又生捕つたりしたさうで、黑兎の毛皮は細工材料にされたり、又肉は肺病や婦人病の妙藥といつて利用されたと傳へられる(理學博士 木外岐雄)

感冒季節に 忘れてならぬ 濕布の上手な仕方
◇固くしめ過ぎると苦しい

☆咽喉カタルで喉のしきりに出るものには頸部の濕布を行ひ、氣管支カタルや肺炎には胸部に濕布を行ひます

☆頸部は、フランネルを一寸五分幅、一尺五寸長さに切つて熱湯にひたし、堅くしぼつて咽喉へまき、上に水のしみないやうに油紙を當てゝ布で卷いておきます、之を二、三時間おきに取かへます

☆胸の濕布は、年齢に應じて大きさを加減します。第一歳以下は縦三寸五分、長さ一尺六寸、五歳までは長さ一尺九寸、縦四寸、六歳以上は縦五寸の長さ二尺位に、晒木綿で濕布帶をつくります

☆先ず、晒をこの寸法より縦も尺も一寸位大きく斷つて、兩端に紐をつけます。次に木綿も寸法通りに切つて、二枚重ねて、その上に寸法通りに切つた油紙をのせ、晒を折りかへして白糸でとぢつけます。この濕布帶を二本用意します

☆用ひ方は、フランネルを二重にして同じ寸法に切つたものを熱湯にひたして固くしぼり、胸に卷きつけます。これはあまり熱しすぎるとやけどをしますし固くしめつけると苦しいものです。その上に濕布帶を卷き、兩端の紐でゆるく締めます。之は三時間おきに取かへます

主婦の手帖
揚玉の食べ方

◆天ぷらを揚げた時、ころもが散つて揚玉が相當出來ます、揚玉は出來るとすぐ手まめに掬ひ取らないと焦げて非常に油も惡くします

◆掬つたものは紙にとつて浮いた油氣を吸はせておき大根卸にまぜて食べると、非常においしい

◆野菜の煮出汁にしたり、煮込みものなどに一緒にまぜると味がよくて重寶です

香高い正月の漬物 芹と三つ葉

御馳走ぜめの、もたれ勝な胃を爽やかに刺戟する、變つたお漬物をおしらせしませう。

材料 芹、三つ葉、鹽、味噌、芹はよく洗つて布巾に包んで水氣をふき、鹽漬にする時は、丼に入れて薄鹽につけて壓石をし一兩日してから細く刻んで出します。

味噌漬にするのは平井に味噌を一寸おいて芹を五分厚さに並べ又味噌を一寸おいて交互に漬けて一番上には味噌を多くして蓋をしておく。これは二日目と三日目が一番味がよく、漬かり過ぎると味がおちます。同様に三つ葉もつけると極めておいしいものが出來ます

輕い朝粥二種

◇小豆粥
材料 小豆一合ほど、米、鹽
拵へ方 小豆は崩れぬ程度に柔かく茹でゝ、茹汁は丼にとつておき、小豆は笊にあげて水氣をきつておく
米を仕掛け、小豆の茹汁に水を加へて米の七倍量とし、氣永に煮て半煮えの頃に小豆を加へてまぜ合せ、鹽味をつけて最後にこんがりと燒いた餅を入れて蒸してから食べる

◇雜炊粥
これに小松菜、なづな、その他の有合せの菜葉を用ひた爽やかなものです。菜を細かく刻んでおいて、米の七倍の水で粥をつくり、御飯に刻んだ菜葉をまぜ、鹽味をつけます

行きたい朝鮮
椿澄枝

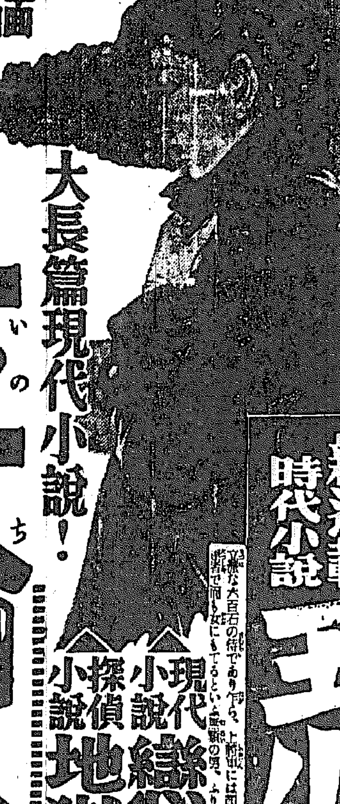
一度行つて見たい朝鮮、一度行つて見たい朝鮮の踊り。私共のよく知つてゐる「アリラン節」を歌つてゐると故郷を懐しむ寂しさに襲はれます。小川で砧を打つて洗濯をする朝鮮婦人の姿、物寂しい美しさを想はせる朝鮮は私大好きな處です

富士 2月號 定價七十錢 送料四錢
東京小石川音羽 大日本雄辯會講談社 振替東京三九三〇

面白い!とても面白い 大讀物滿載

大長篇現代小説! 生命ある河 片岡鐵兵
『生命ある河』は女性の戀愛に就て人生問題に就て、痛烈な筆で大問題を提起しつゝあり、男も女も大騒ぎ!

新掲載 戀は美しきものか、將又悲しきものか?
見よ深窓に育つた異母兄妹の深刻な人生の明暗禍福は、遂に美しき妹馨子の戀の秘密によつて始る! あゝこの戀や如何に?……作者片岡先生はこの戀によつて何を描かうとするか? 之ぞ作者が眞に畢生の傑作を以て、自ら殺到に投り乍ら綴つた大長篇!



見よ!銘打に巨彈連發!!此の大内容!!
富士は全く面白い眞に愛國萬人向の家庭雜誌だ!とお蔭様で新年號大盛況に引續き二月號も又々物凄い大評判!これ以上の増刷は不可能です、ぜひお早くお求め願ひます!

新連載 時代小説 玉川光之丞 村上浪六
(立派な大百石の侍であり乍ら、上官達には面が見苦しいと退けられ、同藩からは化物といはれ、町人にまで嘲と罵られても玉川光之丞、ふりかゝる幾多の女難に一世一代の大怒れ、之ぞ血沸き大衆大喜びの巧小説、面白き極い!)

現代小説 戀愛算術 菊池寛
(緣談を斷つて家出したその本人と再會した美貌の青年、彼女の相談、彼女の戀はどうなるか?)

探偵小説 地獄の道化師 江戸川亂歩
(アトダエの不可思議な犯罪、捕らはれてゐた犯人、見よ又又謎は謎を生み息もつけぬ面白さ!)

畫報 予類惱風景 (グラビヤの) 持局寫眞大畫報

時代小説 花婿三人侍 野村胡堂
感激物語 軍國初荷風景 安倍季雄
時代小説 念佛花吹雪 邦枝完二
落語 暮の酒 三遊亭金馬
新作講談 粂平内眞劍試合 東方白山
現代小説 深海の珠 今井達夫

時代小説 新版天下茶屋 吉川英治
現代小説 熱情の翼 竹田敏彦
時代小説 幕末劍士 川口松太郎 (大義の爲には友に刃も向けねばならぬ。幕末十劍士が互ひに戰ひを浮んで大爭鬪)

明治名將傳 黑木兜將軍 木村毅
(明治の興代に名將數あれど、既くも威名轟々の黑木將軍!見よ!本篇こそ將軍が日露の役に於ける武名と、名將の涙を描ける時局稀有の名將傳!)

戰爭小説 電臺爆破の挺進隊 濱野十三

家庭小説 岩に咲く花 小島政二郎
時代小説 栢榴一角 白井喬二
時代小説 三代盜ッ人宿 子母澤寛
現代小説 曠野の火 加藤武雄

從軍談 擔架の前後 山中峯太郎

花形力士 名寄岩物語

寶塚花形 月野花子物語

急所公開 ◎將棋上達 花田八段 ◎圍碁上達 瀬越七段

相撲特大輯 春場所大相撲 四方山座談會

通な相撲 大相撲面白話
(1)褌から關取りまで 三河太郎
(2)溫情の玉錦 濟開寺…
(3)部屋の話 鈴木…

朝鮮郵船出帆

○西鮮航路 ○濟州島航路 ○大連行 ○上海行 ○大連行 旅客並貨物 ○東京行 ○大阪行 ○北部線 ○南部線 ○鹿兒島行 ○博多直航船 ○北鮮航路 ○東京行 ○名古屋行 ○大阪行 ○新潟行 ○敦賀行 ○浦潮行

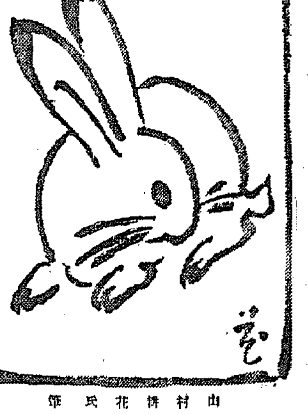
日本郵船定期出帆 ……

朝鮮郵船株式會社 京城府南大門通り五ノ一 代表電話本局(2)四一九五番

朝鮮郵船仁川定期出帆 乘客貨物 京濱行 名古屋、清水經由 …… 近海郵船仁川出帆 …… 沿岸航路出帆豫定 ……

朝鮮運送株式會社 仁川回漕部 電話一四一〇番

趣味と娯楽



山村耕花氏作

不老長生

森下雨村

私たちが少年のころには、杖にすがつた老人をよく見かけたものだ。田舍道など歩いてゐると、弓なりに曲つた腰に片方の手をのせ、頭を胸にくつつけるやうにして、よちよちと歩いてくる爺さんや婆さんにしばしば出會はしたものである。ところが、この頃では、そんな老人の姿を見うけることが稀しくなつた。

これは老人が內な外に出なくなつたためでもなければ、長壽者の數が急に減つたわけでもなく、結局、一般に國民の體位が向上しつつある事實を語るもので、老人までが若返つて來て、よぼよぼの爺さんや婆さんがゐなくなつたといふ嬉しい現象らしい。

明治維新の元勳の中で、たつた一人の國寶的存在として今なほ元氣でゐられるT老公は、この正月とゝもにたしか九十七の歳を迎へられたはずである。最近はお目にかゝる機會もないが、側近の人々の話によると、耳は少し遠くなられたやうだが、どうしてまだかくしやくたるもので、一向に老いの衰へを感じられる風もないといふ。

八十八の初壽に際し、四五の同志と祝辭を呈すべく隱居をお訪ねした時、非常なお元氣で四方山の話があつた中に、

『この節の人は帽子を冠つた上に洋傘をさして歩いてゐる。傘を二重にさしてゐるではないか』

といはれたことを覺えてゐる。

お話の最中へ三つか四つと思はれる可愛い子供がとびこんで來たと、

『これが僕の最近の製作ちや』

といつて破顏一笑された老公の面上には、明かに誇りやかな表情が浮んでゐた。

明治の功臣元勳も、もう八十にあまる老齢であらう。數年前、葉山の別邸に故某老伯をお訪ねしたとき、故伯をたゝいて遠洋制定のことの追憶や、ポーツマス條約締結當時の苦心談を語られた元氣さは、まるで青年そのものといつたほどの若々しさであつたことを思ひ出す。

岡氏の元勳や功臣と同日に語るべきではないかもしれないが、長壽者といへば郷里のお糸婆さんの白い顏が浮かんでくる。一昨年の秋百七歳かで死んでいつたが、その前日まで筆を手に、潮汐川、湖流に小舟を釣つて樂しんでゐた。耳も目もたしかで、腰もそんなには曲らず、色こそ褪せてはゐるが老人には不似合な赤い腰巻──恐らく維新時代の遺物であらう──の裾をみせて、元氣な足取りで河岸をあちこちと歩いてゐる姿は、たしかに郷里の名物といつてよかつた。そのお糸婆さんに、一度長壽の秘訣をきいてみた。すると、

「そんなむづかしいことは知らんがな。わたしは自分の年さへ忘れてゐる──」

といつたきり、小魚のじやれる浮木に見いつて振り向かうともしなかつた。

釣りを樂しむ人々の中には長命の人が多いやうだ。これも郷里に近い新進川の川筋で、名前はしらないが八十四歳で通つてゐる釣り好きの老翁がある。背丈より

もぐつと背が高く、しかも岩のやうに頑丈な體躯をして、これが八十の老人かと思はれるほどの壯健さだが、腕釣りの長い竿を手に荒磯や淵に立ちこむのを見ると、傍のものがひやひやさせられる。

しかし、當の老人は一向平氣で時には若いもの達も辟易するやうな岩を傳ひ岩をよぢる。冷水どころか翻騰といつてもいゝその元氣さは、つまりお糸婆さんと同樣、自分の年齢を忘れてゐるからにちがひない。

T老公の精力にしても、K老伯の元氣にしても、畢竟じつめるとやはり年齢を忘れた若々しさからきてゐるのではないだらうか。

もう左樣だとすれば──いや、たしかに左樣にちがひないが──不老長生の秘訣なんて、いともわけないもののやうな氣もするが、さて自分の年齢を忘れるといふことが、お互ひにとつては決して容易なことではないのだ。

そこにもまた何にか秘訣があるらしい。一つ、屠蘇でもくみながら先づ年齢を忘れる秘訣から考へてみようではないか。

羽子板に寄す

（京）（城）（書）（人）（隨）（筆）（展）（覽）（會）

松田黎光

古くは、こぎ板と稱へ安土桃山の頃から羽子板と云ふ。私は其羽子板を見る度に若くして死んだ母を憶ふ。

母は手藝が巧かつた。

十九で私を生んで、亡くなつた時は未だ四十になつた許りであつたので、生きて居れば卯の當り年で今年六十一になるのであるが、母の姿に白髮だの老眼鏡だのとは想像もつかず、只三十前後の母が今日でも眼に浮んで來る。

其母が娘ヶ位の時に製つたものか、實家の長持の中に可成り大きな羽子板が一つあつた。手製の事だから、專門家の夫れの樣には行かないが、形にも押繪にも羽子板の持つ彼の一種特獨のふつくらとして重からぬ重みは矢張り持ち、專門家のとは違つた別の味が滲み出て、母の仕事のこまかな氣の入れ方に感心した事であつた。

今も昔もかうしたものにも時局を盛り込む事に變りはない。日露戰爭當時の羽子板に陸海軍の勇ましい時代の姿を押繪にしたのが種々と賣り出されたと云ふのも、何かの折母に聞いた事もあつたが、何れ母のものもそんな處に暇つてゐたものか、押繪には其頃流行つた小豆色の小紋縮緬のかされた丸髷の女が、陸軍士官の帽子を持つて居る繪であつた。出征を夫と見送つて居る妻であるのは云ふまでもない。

今見れば定めて明治の匂ひの溢るゝものであらうと思ふし、母が丹青こめた遺品でもあるので、手許に取り寄せたいと折りにふれて思ふのであるが、それから十二三年郷里も訪れぬので、今も尚長持の內に無事であるものかどうか、こんな譯で私は羽子板を懷しいものゝ一つに思ふのであるが、稍々東京の人形問屋吉德の主人で、我々の展覽會で何かと厄介をかけて居る山田德兵衞氏より其著書「羽子板」を贈られた。

私にして見れば、何にもまして近來の嬉しい贈りものであつた。

此著の序に、笹川臨風先生の言葉にも有る樣に、全く古い文獻から羽子板に關する巨細の記事を擷ひ出すのは相當に難事であると思はれるのに、文に、繪に、工匠の談話に、古今東西に渉つて調らべ處なく、押繪も多く羽子板に關する一切を論ずるでもなく、衒がるでもなく、素直に解決してゐる。

私は年に一二回の僅な上京の都度ではあるが、お遊びしなければならぬ種々な要件を持ち乍ら、それすら卻々においそれと果せぬ程の多忙な山田氏が、これ程の難事を作るには可成り永い日月の間に少しづつの時間を割いて完成されたものであらうと敬服し、簡單に云つて了へば新春の戶外玩具である此羽子板も、該博で深切な人の手になれば、こんなにも價値のある立派な本になるものかと、今更にその心入れにも感じ入る。

押繪にした處で、遠くは桃山、慶長の昔、床の張りつけに描かれた羽子板遊びの風俗圖から、降つて天和、貞享の繪入圖、近くは江戶末期より明治初期の錦繪に現れた羽子板の繪、專ら羽子板押繪の源ともなる舞臺似顏繪の數々、現ては時代の距離が遙にくに近い錦繪の羽子板に至るまで、有るものを有るがまゝに並べて、先づ著者自らが樂しみ、我れ人ともに共樂しみをわけた形である。

つく羽子の韻びながらに一つ哉

之は一茶の句である

一とめ二ため三やかし四めご五つやの六さし七やの艶師、九一かすよ

朝鮮に居れば、こんな羽子つき聲も久しく聞かぬまゝに年を重ねて、百貨店等で流石に年の暮ともなれば、當り狂言似顏の大羽子板を見ては、平素忘れるともなく忘れて居る、母の手製の羽子板及び母を懷ふ。

今此美しい羽子板を直ちに工藝品の一つとして扱つてよいか何うかはしばらく措いて、兎も角形の面白い一枚の板も特に桐を選んで其上に繡鑛で派手な押繪を置いて何處までも日本的な美の粉飾されたものを盛り上げた、此新春の遊び用具も今日以後次第に減つて行くのではあらうが、時代の推移を飛び越えて、矢張り何時までも新春には欲しいものゝ一つである。

朝鮮に寄せる言葉

文化よ伸びよ

藤森成吉

朝鮮は小說にも戲曲にも書いたことがあり、是非一度行つて見たいと思ひながら、未だにその機を得ません。

朝鮮の新舞踊家の公演などにも（サイシヤウキさん初め）いつも招かれ、特別の關心を以てながめてゐます。朝鮮の文化の發展を心から望んでゐるためでせう。

旅行したいが

榊山潤

不幸にして半島の人を全く知りませぬ。行きずりに逢つたといふ程度の面識のみで、お答へするやうなことが何もないのを遺憾に思ひます。朝鮮についても同樣です。但し、朝鮮へ行きたいとは年來の宿願ですが、機會と閑が僅に見つからず、これも殘念に思つてゐます。

材料が欲しい

戶川貞雄

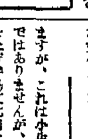
先頃半島人の純情將校の美談を人より聞きましたので、かねてさうした短篇小說をと頼まれてゐたキングの編輯記者にその話をしたところ、それは結構な材料だ、早速キングに頼む、といふやうな話で、最近執筆致したいと思ひありますが、これは小生に限つたことではありませんが、內鮮一體の實を上げ半島文化向上のためにお役に立つことと致しますから、在半島の方々からドシドシさういふ材料を我々作家に提供して頂きたいと存じます。

日本人の自覺

中村吉藏

日支事變下で、半島人が內、鮮一體の自覺認識に醒め、同化融和の實を大に擧げんとしつゝある事實に接して、誠に愉快に堪へない次第です。李王殿下が既に日本國民の敬愛を受けられつゝある如く、今後に於ても、半島人が大日本人たる自覺に徹する事は肝要であり、又、然し、あつてこそ新東亞建設の偉業が成就する次第です。

問奏樂



松竹大船の名物トリオ、水戶光子、東山光子、三浦光子の三人光子、珍らしくも今度原田修造監督の『まごころ經營記』に三人揃つて出演となり、もう大變び朝から晩まで殆ど一日中仲良く三人一緒だが、共演の記念にと監外戲劇を利用することに決めたとはこれが本當の『まごころ經營記』【寫眞＝三浦光子】

歌手への期待

長田幹彦

私は半島から出てくる男女歌手諸君の將來に非常な大きな期待をかけてゐます。實に魅力のある聲の持主が多い。それで情緒の表現もなかなか巧妙です。歌詞やメロディを研究するために私は朝鮮語を學びたいとさへ考へてゐます。今に朝鮮歌手がレコード界に風靡する日がきつと來ると思つてゐます。

李朝物の陶器

相馬御風

私は朝鮮もの、殊に陶器が好きです。とりわけ李朝ものに限りない愛着をもつて居ります。そしてその味を朝鮮の味として懷しんでゐます。そのよき味よ。いつまでも朝鮮の味であれ。

敬老の美風

三田村鳶魚

敬老の風が良いと聞きましたが、まだよく存じません。親子の間柄にも何ほよい處が殘つてゐると存じます。ナマ學問が美俗を毀すかと思ふと學校が恐ろしい心持もいたします。

不連續線

賀狀

【元旦】

【謹賀新年】

【恭賀新年】

【賀戰捷の春】

「新年の御挨拶は日出度申納め候」

「謹みて聖戰第三春の御慶を申述べ候と共に皇軍の武運長久と貴家の御繁榮を祈念仕候」

「聖戰第二の新春を迎ふるに當り謹しく貴家の御清福を併せて貴家の萬歳をお祈り致します」

賀狀をしらべてゐると、いろんな文句がある。

「戰中につき年末年始の御祝詞を差控へ參候不堪御缺禮仕候（下段候）」

といふのもまじつてゐる。

同じ戰中缺禮にしても、父の喪中とか、次男の戰死中とか、くはしく書いてあるのもある。

ところが、これは驚いた。

「非常時局下の新春を迎へるに際し、本來ならば賀狀差上ぐべきのところ、用紙節約及び虛禮排除の趣旨から、本年は敢然これを廢止いたし候間右御諒知相成度候」

と、どんな方面へ何枚印刷されたのかは知らぬが、それが立派に印刷してあつたのである。

ミルトンの幸福兒

大都會と變更

お正月興行の呼び物として第一週第二週映の明治座上映のメトロ作品「大都會」は都合により第二週の四日からは巴里の人氣者で「もぐり大將」「船頭の大將」「ミルトンの一攫千金」等で既に我が國にもお馴染み深いジョルジュ・ミルトンの主演する喜劇でアンドレ・バルト作ウーヴル・セレクテ作曲のオペレットからルネ・ピュジョンが脚色し「ミルトンの與太者」「ミルトンの一攫千金」等多くのミルトン喜劇を發表してゐるレオン・マトオが監督した佛國西ウーレカ・フイルム作品「ミルトンの幸福兒」と變更された

文選番組

京龍館　八日より十一日迄▲東寶映畫鯨見繁太郎、霧立のぼる主演「鶯（うぐひす）」▲東寶スター挨拶映畫「春に唄へば」▲東寶映畫藤原釜足、霧立のぼる、小高まさる主演「チョコレートと兵隊」

學藝だより

◇眞人社新年歌會　一月五日午後一時京城府民館の間、會費五十錢、師詠一首東拓井山誠氏宛送ること

【訂正】一月三日付新年第五面「私が半島人から受けたよき印象」中「二人のよき女性」（河崎なつ）とあつたは前田夕暮氏の寄稿、また四日付第五面「お嫁の世話でも」（前田夕暮）は北川千代氏の寄稿につき併せて訂正す

朝鮮の皆樣へ

にはかめくら

【日活多摩川撮影所】　轟夕起子

光を失つた者の悲しさ、淋しさ、あぢけなさに就いて、私は一度も考へたことがなかつた。暗黑の世界に細々と生きる盲の境遇を、氣の毒とは思つたことがあるが、その眞ッ黑い人生に就いて、想像をたくましくすることが出來ない、といふより考へても見ないことだつた。それが一昨年の十二月、撮影所で汚水を浴びての撮影に、忽ち兩眼を傷め、昨年の正月は完全に光を失つて、生れもつかぬ盲となつてから、我身の不幸を痛切に味つた。これからの我の世を、光を失つたまゝ過ごさなければならぬと考へると、私は名狀すべからざる暗澹たる氣持ちに襲はれた。

今までの私は、自分で云ふのも可笑しいが、風光明媚な明石の浦に生れ、何不自由なく育てられ、父母にいつくしまれ、兄や弟と仲よく暮して來た。學校時代は勿論のこと、寶塚に入り、映畫入りするやうになつてからも、私は恵まれ過ぎる位恵まれて來てゐる。朗かな、明るい人生行路を辿つて來て、一朝にして暗黑の世界に追ひやられたのであるから、この不幸に就いて考へるだけでも、氣が遠くなる思ひがしたのである。

父母や兄弟や友人や撮影所の方々は、非常に氣の毒に思つて、いろいろ手を變へ、品を變へて、私を慰め、且勵まして下さつたが、さうされゝばされる程、私は反對に心のかたくなになつて行くのに自分ながらあきれる程だつた。

しかし、その悲しみを父母や友に覺られまいとして、私はつとめて快活に振舞つた。マキノ正博監督や父母姉が、昨年の正月二日、私を南紀州の勝浦に伴ひ船遊びに興をつくしたが、その船上でも私ははしやいで誰が見ても盲とは思へぬ程の立居振舞を見せたのであつた。

常に微笑をたゝへ、唄を口ずさみ、誰よりもしやべり、誰よりもはしやいだ。さうしてゐないと、實は心の惱みを打ち消すことが出來なかつたのである。うはべのひやうきんさに比べて、私の心は益々やるせなかつた。心のつめたく辛かつた。かうした、にはか盲の煩悶は時の經つにつれ、薄紙をはぐやうに薄れて行つた。それは私自身外見の生活を裝ふつけ煩叉にたへられなかつたからである。私はやはり誰の前もはゞからず、にはか盲の苦惱を訴へることによつて、煩惱緩衝の吐け口を見出したやうに思つたのである。あるがまゝのおのが姿に、私は滿足しなければならぬと考へるやうになり、だんだん悲しみを眞實悲しみとして考へるやうになつたのである。

盲としての本當の煩悶がこれから始まり、その煩悶を克服して、强く生きようと決心するまでに到らず、私の眼は除々に光を感じ、忽ち快方に向つて、『忠臣藏』に端役ではあつたが顏を見せることが出來るやうになつた。兩親兄弟友人の大きな喜びに引きかへ私は何かとりかへしのつかぬことをしたやうな、うつろな心を抱いた。それは再び光を見た喜びにひたりながら一方暗黑の世界に成佛せんとする心の落ちどころを經驗せずに終つた悔いでもあつた。私はただ暗黑愁に閉ざされた盲を經驗したからでもあつた。もつともつと眞實の盲であつたことの方が、私の人生にとつて幸福であつたのではあるまいかと、私は今にして再三再四考へるやうになつてゐる。

これは再び光を浴び得る現在であるが故に考へられるやうな、淡しく贅澤な考へとは思はれぬのである。若しも私がもう少し長く盲であつたならば恐らく或る程度の精神的修養が出來たのではないかと考へるのである。私のやうな心いたらぬ者にとつて、暗黑の世界は天が下された尊い試練であつたのではないか。何故もつと盲の時にかうした考へが浮ばなかつたのであらうかと、私は痛切に反省してゐる。

しかし、かうした反省苦悶も、それからそれへと忙しい仕事に追はれ、時代劇の京都から現代劇の多摩川に移りいよいよ多忙を極めるに到つて、ものを考へる餘裕を私に與へなくなつて來た。私は、にはか盲の苦しさを忘れるともなく忘れ、あわたゞしく今年の正月を迎へた。この正月休みに就いては、前々から考へてゐた通り、靜かに溫泉にでもつかりながら、去年の正月の煩悶を思ひ出し、新たなる心の糧へとしようと思つてゐる。學校時代から始めてゐる舞踊の勉強をしながら、私は心ゆくまで自然に親しみ、多忙の垢をぬぐひとりたい。映畫女優の悲しさは、かうした時にも、わづらはしい世間の眼があり、私をそつとさせてくれないことを恐れる。それにつけても、今痛切に思ひ出されるのは光を失つた時に、何故もつと眞實に一路を見極めなかつたかといふことである。不幸の試練は、私にただ煩悶を與へてくれただけであつた。しかし、私は今にしてこの煩悶に感謝してゐる。この煩悶なかりせば私は反省を忘れるところだつたからだ。不幸は私に光明を與へ、私を元氣づけ、私を向上させると信じてゐる。私は一時たりとも盲であつたことは、今後の私にどれだけ爲めになるか解らぬと思ふ。

賀戰捷之新春併而謝皇軍之奮鬪

咸興府軍營通一　ベニヤ小間物店　電話四〇九番
咸興府本町　松下松太郎
咸南咸興府朝日町　奉仕印刷所　佐々木雅八　電話九一八番
咸南咸興府　大阪屋百貨店　今尾榮太郎
咸興府本町一　芝田印刷所　電話一五三番
咸興府軍營通一　旭印刷所　電話一二六番
大坪星更生部部　婦人部
咸南洪原　新南面職員一同
咸南下碣金融組合　金正中
咸南洪原邑內　貿易商　開豊商會　主　朴成玉
咸興農業倉庫　日高敏男
文房具學用品　咸興府軍營通二　伊藤文勝堂　電話五六四
私立　興文小學校
咸南下碣　北海堂藥房　主　金
株式會社　盤龍券番　電話五一三・一〇六一番
朝鮮料理　咸南下碣　江界館　電話一八番
咸南下碣　前田彥三郎
咸興府中央町二丁目　咸南印刷所
咸南長津邑內　三成釀酒所
木材商　金熙淳　咸南長津
双須正機
木材商　咸南長津　朱在璿
咸興土木管區事務所　職員一同
咸興産業組合
食料雜貨　咸興大和町二丁目二〇　マルタ食料品店　電話七四二番
土谷惟一

咸興土地金融株式會社
咸興商業會
森田泰祐
食料百貨卸問屋　芝山商會
洋品　高島屋
シンガー裁縫機械會社　前津分店
咸興タクシー洪原出張所　電四五番　六六番
綿糸布ゴム靴石油卸商　鐵田南會
內鮮運輸株式會社
洪原理髮館
鶴泉三峰鑛山
洋品雜貨　キリン屋　申基律
咸南洪原邑　東西醫院　姜□模
咸南洪原邑　成一洋服店　金元□
郭景鏞
仙港　細田旅館
遮湖港　湖月旅館
朝鮮商業銀行　端川支店
端川漁業組合　理事　金弘賢
南大水利組合　咸南端川
咸鏡南道　靈武釀酒場
咸南洪原　永和醬油釀造場　本店　興南
咸南洪原邑　京城洋服店　主　姜洪□
朝鮮料理　京城館
商業理髮館　主　朴河淳
咸南洪原　白木商會製材所　電話七番

咸興洪原邑　共新商會　電三五番
洪原藥房　朴燦熙
咸南利原邑　利原合資釀酒所
朝鮮咸興府軍營通一ノ六三　山田寫眞機店　電話長一七八番
咸興府々會議員　八谷賢次　咸興府中央町三
咸興府軍營通一ノ三九　北鮮スポーツ商會　電話一〇一五番
龍山釀酒所　李成周　電話三一九・九五五
咸興府大和町四丁目　南鮮貿易株式會社
東明劇場
三省病院　電話七番
咸鏡南道機船底曳網組合聯合會
文房具一切　永島光商店　咸興府軍營通一　電三五八番
咸鏡南道漁業組合聯合會
咸興商工會議所議員　永島光
木村重樹

咸興運送組合
咸興合同木材株式會社　取締役社長　白石宗城　專務取締役　石崎清四郎
咸興府軍營通一　くだもの洋菓子本舖　清水　風月堂　電話三六六
咸興府々會議員　中樞院參議　劉泰卨
金光正市　咸興府大和町一
北鮮倉庫株式會社　專務取締役　吉野武人
咸興産業株式會社ゴム工場
咸興警察署
バーロマン　咸興府軍營通一丁目
バーブラジル　咸興府大和町二丁目
御旅館　不二屋　咸南長津
長崎亭　窪寺辰次郎　咸興府榮町四十三番地　電話長四一〇四
朝鮮金融組合聯合會　咸鏡南道支部　咸鏡南道內各金融組合
咸南合同電氣株式會社咸興支店　咸興府軍營通
咸興　官公私立中等初等學校
咸興金曜會
咸興商工會議所
咸南土木建築工友會
咸鏡南道廳食堂員一同

賀戰捷之新春併而謝皇軍之奮鬪

順序不同

慶尚北道知事 上瀧基
大邱府尹 古市進
中樞院參議（大邱） 徐丙朝
慶尚北道大邱醫院長 山根政治
興南邑 木村寅太郎
道會議員 邑會議員 白石宗城
興南邑 古山治太郎
千代田生命興南事務所所長 會見由太郎
興南 庄司昌
江原道內務部長 小田正義
江原道警察部長 山村正輔
福島英朔

平壤 李基燦
平壤 稻葉善之助
平壤 有元正義
平壤 松永進一
平壤 柴田鈴三
朝鮮商工株式會社 山口芳三
株式會社三和銀行京城支店 本田弘一
第一生命朝鮮支部 白石一男
京城明治町 梅澤友七
田中三郎
土師盛貞
塚崎兼作

佐野彥藏
大正コンクリート工業所 坪川英士
辰巳礦油株式會社 永岡惠
京城遞信分掌局長 麻生憲治
森武彥
新井俊次
松原純一
鐘紡サービスステーション支店長 平賀三男
山村銳吉
篠崎哲四郎
京城 土井誠一
辻本嘉三郎

田川常治郎
伊藤壽一
當房有次郎
淺川巖次
大谷仁兵衛
大塚俊雄
森安敏暢
東京市豐島區巣鴨六丁目一三ノ八 長久伊勢吉
京城府明治町一丁目十 山本源作
中河原重吉
京城 波多江千代藏
渡邊利一

忠淸北道知事 金東勳
忠淸北道內務部長 吉岡三浦
忠淸北道警察部長 金化俊
忠淸北道學務課長 李多武夫
淸州郡守 李海用
淸州邑長 大河内巖
淸州醫院院長 本多良靜
淸州公立中學校校長 泉政次郎
淸州酒造株式會社社長 安田俊
金組聯合會忠北支部長 江川原茂
郡是製絲淸州工場長 森準次郎
專賣局淸州出張所長 舘塚禮三郎

元山商工會議所會頭 三隅圭利一
元山商工會議所副會頭 小林懷郎
中樞院參議 元山 張義信
元山 西田常三郎
元山 藪濱信夫
元山郵務署長 小池鶴一
朝鮮銀行元山支店長 吉田靜
元山 鹿嶺
元山 佐々木準三郎
鎭海邑會議員 宮下一衛
東亞三中井事務取締役 村井
鳥致院 水曜會

日滿土木芙江出張所
江陵郡守 崔晩達
江陵邑長 草場亮一
江陵 井出亀
江陵公立病院長 吉野靜玉
江陵 劉明順
江陵 崔鍾集
江陵 崔燦允
慶南道會議員 馬山府會議員 馬山商工會議所會頭 西田太郎市
馬山商工會議所議員 小野信一
馬山府會議員 馬山商工會議所議員 渡邊利三郎
馬山商工會議所常議員 小林万二

一年七ヶ月ぶりで『一介の公爵』に還元

憲政史上五度目の正月政變

【東京支社特電】戰後の正月を迎へた四日朝の帝都はちらほらと初雪に見舞はれ銀一色の鋪道を驅け廻る人々の足だけが慌しかつたが戰時に明けた殊更な朝の空氣をけたゝましく振はせた號外のベルはまだ屠蘇の氣分から醒めやらぬ帝都人を驚かせた、わが憲政史上五度目の正月政變である、三日荻窪の首相私邸と官邸とを廻る政界要人の慌しい動きに注意深い人達だけがこの正月の異例を怪んだのであつたが大方の市民は國上人の無雜作な退陣振りにあつといはされたのだ、四日朝近衞さんは平日と變りなく長身をフロックに包んで午前九時十五分荻窪の私邸を出るとそのまゝ參內、次いで首相官邸で各大臣と臨時の初閣議……そして十一時四十分風見書記官長の口を通しての『重大發表』であつた、正午過ぎ參內をすまして官邸へ戾つた近衞さんはもう事變下總理大臣を肩から下して一年七ヶ月ぶりで還元した一介の公爵であつた、疲れが見えてか、『只今內閣總辭職の辭表を捧呈致しました』前首相近衞さんはから極めて靜かな口調で語つて窓外に眼をうつした、街には聰明なる青年宰相を惜しむ市民の聲がかしましくなつてゐた

興亞日本の決意を眉宇に

起上つた平沼さん

平沼さんに大命が降つた、飛電が寒夜の半島の街から街へ、村から村へ傳はると……二千三百萬民衆の眼の前にはすぐにあの寡默謹嚴、底知れぬ力強さの類はれる平沼さんのイカツイ顏のクローズ・アップがあつた、本社の東京至急電話の特報が全鮮主要地に間髮を入れず貼出されると、掲示板の前に人山は吸ひつけられたやうに動かない、大陸建設を新らしき課題として新らしき年と共に新らしく發足する日本の決意を平沼さんの風貌に見て、自ら肅然とするのであつた、平沼さんを語る半島の聲……それは次の人々の聲々の中にある──【寫眞─平沼男】

半島の知名士に聽く

大いに期待 尹致昊氏語る

國民精神總動員朝鮮聯盟理事尹致昊氏は府內監志町六八の自邸で語る

時局重大の折柄賢明なる近衞內閣の方針をうけついでしつかりやつて頂き度いと思ひます、私は政治問題については殆んど盲目に近い程無智ですが、我が國が近來にない大事業を手にして國民の信望を一身に集めてゐた近衞さんがお辭めになられたと云ふ御話の意外を只今拜見しまして一抹の寂しさを感じないこともありませんが、平沼さんも御聞きするところ立派な賢明な方で居られるやうですから必ずや我國一致興亞百年の大業をなし遂げられるものと確信致します

ここに深い大陸の認識 朴榮喆氏の談

商業銀行頭取、滿洲國名譽總領事の朴榮喆氏は語る

近衞さんの退陣は朝鮮にとつて誠に惜しいことです、平沼さんには東京で一度お目にかゝりましたがそれも御挨拶の程度であり朝鮮においでになつたことはありませんが朝鮮事情の研究には深いほどです、殊にわれ〳〵が力強く思ふのは平沼先生が東洋思想について研究の深いことです、物質文明の滔々たる西洋文明の流れの中にあつて先生は現在まで戰ひ拔いて東洋文明を強調されて來ました、謹嚴な紳士な先生もこのことになると熱心な數的に説いてゐられ又大陸の建設に向ふ日本の前途にとつて先生のやうな方が出られたことはまことに心強く、興亞日本のために先生の御出馬は有難いことです、新內閣は必ずや大陸建設を推進するものと思ひます

消防出初式 六日道廳前で

京畿道警務部では六日午前十時から光化門通り京畿道廳前廣場で府協、三開署消防組合の消防出初式を擧行する

よい叔父さんです 滿面笑ひの廣女さんは語る

【東京電話】新首相平沼男を十二年間世話をして來たのは男の令兄故淑郎博士の長女で飯田包充海軍大佐の夫人廣女さんで同邸では、今まで政變の度毎に下馬評高く人間も銀の香を嗅がされて來ただけにこの日馳せ參じた一族郎黨も嬉しさを押へ顏だつたがいよ〳〵宮中より四日午後九時四十二分御召の御沙汰に接し參內する平沼男を見送つた後邸內にはわつと喜びの歡聲が盛り上つた、その中で一番嬉しさうな廣女さんを擁へて感懷を聞く

政變の度毎に近親が集りましたのもこれで確か九回目でせう、到頭今度は大命を拜し御奉公致す時機が來ました、私達に取つてはいゝ叔父さんです、世間の評判と違つて家では話もするし若い人の面倒も見るし近親にとつてはよく〳〵よい叔父さんです、叔父の命日にはかかさずお詣りしてくれますし訪ねて言ひますが私にとつては頼もしい叔父さんです

平沼男の横顏

明けて七十三の當り歲

【東京電話】新東亞建設への重大使命を擔つて政局の第一線に登場した平沼騏一郎男は明けて七十三、明治二十一年に東大法科を卒業して司法官試補となり累進して司法省民刑局長から同四十年歐米に出張歸朝して法學博士となり四十二年には司法次官に進み大正元年には檢事總長に、更に同十年には大審院長に轉じ同十二年九月山本內閣の司法大臣となり同十三年一月總辭職まで實に三十五年間司法畑の大元老としてその勢力は餘りにも大きい、大正十三年樞密顧問官に親任され同十五年樞密院副議長となり同十月には男爵を拜受、昭和十一年には樞密院議長となつて今日に至つた、岡田內閣以來政變の度毎に大命降下を噂されてその政治的實力はまさに當代第一の定評である

廣い趣味の領域 新首相は特殊な健康法もなく趣味の領域となるといかにも廣い、先づ劍道は日本柔道の二段に先で打てるといふ玄人級の實力だ、寶生流の免許を持ち謠曲と囲碁を揃へ閑さへあれば身體を練り芝居も最近こそ見に行かないが若い頃は神々の劇通であつたし義道も揮毫攻めに自然上達して大家の域に達してゐるがどんなことがあつても冊數以外は許さないのも謹嚴の人格を物語つてゐる、法學博士であるから法律學に通曉してゐるのは勿論だが內閣制度創設以來十五年弱三十六代の首相で博士の稱號を持つのは平沼さんをもつて嚆矢とする

七十年の獨身生活 二十から三十までの精勵と過勞の期に肺を病んで妻帶を斷念したまゝ遂に七十年獨身生活を續けて來たが必ずしも獨身主義ではなく『貰ひそびれてこの始末』と獨身の理由を尋ねれば釋明する、酒はおちよこで一、二杯やればそれで終ると云ふ下戶、煙草は太喜王殿でチエリー、ホープのモダン振り、親も子もない獨りの平沼首相の身の廻りは令兄故平沼淑郎博士の令孃飯田包充氏夫人廣女さんとこの一家が同居し二階を占據してゐるから男やもめに蛆はわかない

あくまでも謹嚴 民間合同派と絶縁を思ひたつた後は國民精神作興のため會長として作りあげた國本社々長も同じく辭任して顧問となつたのは昭和十一年三月の事だつた、作州津山藩の家老の家に生れたと云ふ名門の出だけに身を持することあくまで謹嚴、司法官としても秋霜烈日の人であり檢事總長、大審院長、司法大臣に歷任したのは平沼男と林頼三郎氏二人だけだ『大道を一路行くのみ』と云ふ信條を『身と心正しければ天は必ず當る』と云ふ自然を今日の平沼男を生んだのである、司法官の停年制を確立した往年の燦爛期は遂國の精神の然然を期して青年層を指導した國本社の時代、さうして樞府議長となつて迄に首相の印綬を帶びた、青年近衞から嚴格平沼へと政局の舞臺は變つた

寡言實行の人

鄕黨の大先輩を語る

岡山縣人 切山篤太郎氏大喜び

岡山縣人も大喜びだ、平沼さんに學生時代から可愛がられた縣人で後藤京城府永樂町一ノ四辯護士切山篤太郎氏に『平沼新首相大命拜受』の報をもたらすと忽ち喜色滿面、わがことのやうに喜びながら『平沼さんのプロフイールですか、ちよつと見たところ不愛想でとつつき惡い人ですがつき合つて見れば非常に親切で情義に厚い人ですよ、僕が學生時代平沼さんは東京の岡山縣人會の幹事で、僕は學生の幹事でそこでおつき合ひが始まつたのですがさあ明治四十年ごろでしたかね當時平沼さんは司法省の民刑局長でしたよ、今考へるとお若しい大分だが學生の時はよく面倒を見てくれましたよ、僕のことをするものでね、僕は議會傍聽の切符をもらひに司法省に局長を訪ねたんですよ、そしたら局長が國會を僕につけて行つてくれ、傍聽券一枚もらつてくれましたよ、平沼さんはこれほど親切な人で僕が朝鮮に來たのも平沼さんが當時こちらの司法長官宮當さんに推薦して下さつたのです、謹嚴實直な人です、そしてまた平沼さんは信念の人です、世間の政治家のやうに口先でホラを吹く人でなく本當に誠心誠意の實行の人ですよ、非常時局を背負ふには最もふさはしい人だと思ひます』

我ら修養團の敬仰のまと

朝鮮聯合會本部に擧る讃歌

『平沼さんが總理に……』この報に京城茶町の修養團朝鮮聯合會本部ではわが世の春を謳歌する歡呼の聲に、初春ふさはしい歡びも迎へたやうな賑はひだ、それもそのはず、平沼新首相は大正十三年から昭和十一年まで修養團の團長さんだつたし、同團は平沼さんの人格の下に國民精神運動の中樞的役割を演じつゝあるやうなものだ、喜びを朝鮮聯合會理事渡邊中哲心氏は次のやうに語つた

『何よりも修養團としては目出たい限りです、平沼さんは團の仕事を御自分の使命として心魂を打込んで精勵をされてをり、全鮮一萬の團員達も崇拜する平沼男を是非一度朝鮮にお招きしたいと云ふので明年五月京城で團員大會を開催して御來鮮を懇請しようと折角計畫してゐるところなんですが、しかし戰時下の首相として起たれたからにはこの計畫も一寸實現が難しくなつたやうで、私共としては嬉しいやうな殘念なやうな變な氣持です、平沼男は今日でも毎月團の機關誌に必ず何か團員の指標となるやうな數々の文字を……』

朝鮮研究は驚くばかり

韓相龍氏語る

朝鮮生命社長朝鮮實業俱樂部會長韓相龍氏は語る

近衞さんの總辭職は誠に惜しいことです、歷史的な事變の重責を擔はれて出馬されてから病軀を押しての奮鬪、漸く昨年十二月廿二日の中外に對する聲明以來將來の國是は決定しこれからといふ時に退陣されることは實に殘念なことです、然しわれわれは一年有半の近衞內閣の補弼の御功績に對し衷心から敬意を表します、平沼內閣の出現は穩當であり双手を擧げて歡迎します、平沼先生には十數年前私が上京した時修養團の後援會長をなされてをり青木宿禰氏、服部金太郎氏等と共に私が御招待下さつて朝鮮の社會狀態について御話申しあげてからずつと御指導を受け私も『朝鮮の話』を聞かを寄せられわれ〳〵にとつては心からの敬仰の的であります』

半島新女性線

無垢の白紙に還り 【四】

新生の光を望んで再出發する

嘗ての女鬪士 李鍾嬉さん

東洋新秩序建設のための『轉向』は一時半島に風靡した社會主義に浸ばされて青春の情熱をそのために空しく燃燒した彼女等の心にどんな投影をしたどうか?

昭和五年同德女學校三年二て既に讀書會ご赤の洗禮を受け、女學校を出てからは親の反對を押し切つてゴム工場の女工となり『李載裕事件』に連座して滿洲に亡命、新京の荒野で包囲逮捕され去る八月二日出獄した京城苑西町一〇四李鍾嬉さん『もに現在の心境を叩く』

『現在の心境ですか白紙ですわ』牀にかゝつてゐるまた新中にある決意を平山君の寫眞をちらつと眺めて、潑く光と理智的な眼だ

彼女はまたちーつと落、込む

『獄中では多少想を練りましたがそれがまだ熟してゐませんので……』

『マルクス主義はまだ正しいと思ひますか?』

と水を向けると

『そんなあたしであればこの地には居れる筈はないでせう?』

とにこつと笑ふ

『獄中で練つた想とは何んですか?』

と冗談に迫ると李さんもちーつと机の北版を見つめてゐたが

『わたくしがマルクス主義に對して疑惑を生じ出したのはマルクス自身も認めてゐるあの搾取理論が理論的に成立しないことからなのですがそんな經濟學的理論よりも……』

『わたくしは社會は單にブルジヨアとプロレタリアとだけから出來てゐて資本階級を打倒することによつてよき社會が出來るものと信じましたが、現實の社會はそんな簡單なものではなくてもつと複雜なものではないかと思ふわ少くともわたくしは獄中でこれを發見したのよ』

彼女の顏はより嚴肅さを加へて來た

『ご存じのやうに資本主義社會はイギリスが十九世紀から二十世紀にかけヨーロッパを支配し更に世界制覇によつて發展したでしよう、西ヨーロッパに根ざした資本主義社會の社會悪を改める方法としたのがマルクス主義ですのね、して見るとマルクス主義は理論的に西歐的な社會であり、それを西歐的な考へ方で解決せんとしたのは明らかなのですが、それがアジアにあてはまるとは限らないわ』

彼女の兩頰はいよ〳〵紅潮してゐる

『あなたはやはり現在の社會は革新の必要があるものと考へますか』

『勿論だわ現在日本がそれを實行してゐるぢやないの、しかしその革新原理が上、誤つてわたしが信じたマルクス主義のやうにプロレタリア階級のみを強調し國家を抽象した社會主義であつては少くとも東洋ではもはや駄目ですわ』

『ではあなたは新體制革新原理といつたものを獲得してゐるのですか』

と突つ込むと

『困るわね、最初わたくしはそへが熟してゐないといつたでせう、東洋新秩序建設に乘り出した現在の日本がそれを求めて已まないのではないでせうか、社會主義がいけないと言へばそれちや一民族一國家といふドイツ流の全體主義かといへばそれでもないわね、少くとも之だけはいへませう、合理的統制によつて利益社會でない共同社會……』

『道義國家の建設及び經濟的調和といつたやうなものが新秩序建設の指導原理ではないでせうか、しかしこれも哲學的根據づけがまだ出來てないから寂しいわね』

『あなたはこれから何をなさるですか』

ときくと

彼女の充血した眼はきらりと輝く

『今言つた指導原理の哲學的根據づけに努力するつもりです』

ときつぱりと答へた【寫眞─李嬉】

ゲペウ官憲と水兵が衝突!

死傷者迄出すさわぎ

【ワルソー三日同盟】最近ワルソーに來た內務人民委員部長エジヨフ氏の後任として海軍部內に就任したベリア氏は海軍部內における不穩分子を一掃するため黑海沿岸のセバストポール以下各軍港に『肅清委員會』を組織して懸命の活動を開始した模樣だが、三日モスコーよりワルソーに達した情報によればセバストポール軍港においては肅清工作の行過ぎより水兵の摘發が相次いだ結果、水兵とゲペウ官憲との間に深刻なる對立を惹起し遂に兩者の間に衝突が勃發、數名の死傷者を出したといはれる

支那側と交渉

【ハノイ三日同盟】佛印當局は廣東……

轡を列べ百數十騎

總督さんも參加して

けふ朝鮮軍の初乘會

朝鮮軍司令部恒例の初乘會は五日午前八時五十分龍山練兵場に集合、打揃つて朝鮮神宮に參拜の後、步騎、漢江里から漢江人道橋を渡つて鷺梁津に至る間轡を列べて前進する豫定であるが、中村軍司令官の軍關係者の外、南總督も參加、二宮守兵司令官以下民有志も多數參加して、新春の北漢江に軍人軍屬百數十騎の遠乘で津輕下に全ぶ!けしい壯行を期待される

見張能生の事件發生と同時に之を極めて遺憾となし直ちに我が總領事館と連絡をとり目下遣見事能生の身柄釋放につき支那側當局に對して極力交渉中の模樣であるが未だ何等の消息はない

比島遠征籠球戰

【マニラ發同盟】日本代表比島遠征籠球の第三戰たる對太平洋選拔スター・チーム戰は去る廿一日擧行のところ都合で中止となつた、これがため十三日の對ラ・ザール大學戰は十五日に延期され、十五日には新に對テオの一戰を加へることゝなつた、第二戰までの戰績は左の通り

日本37(17─20・15─14)29マツキンレー

日本40(18─22・20─15)35サンベタ大學

城大豫科零敗

【日光電話】第九回全國高校氷上競技大會第一日は三十日午前八時より日光細尾リンクで第四回五帝大氷上ホッケー戰の後擧行された成績左の通り

アイスホツケー一回戰

成城16(6─0・4─0・6─0)0京城

普專快勝

準決勝で

【東京電話】第一回全國高專蹴球大會四日目は四日午後一時から東京中學球場で準決勝二試合を擧行、普成專門は實力を示して名古屋を押へ殆んどチャンスを與へず普成の快勝となつた

準決勝戰

普成專門4(1─0・3─0)0名古屋商

(開始一時審判工藤源田石御夾篤)

普成專門2(1─0・1─0)0高松高商

花園球場で擧行、一回戰で活躍した普成專門も遂に二回戰では慶應豫科に惜敗した

慶應豫科8(5─3・3─3)6普成專門

城大先づ一勝

【日光電話】第四回五帝大氷上ホッケーリーグ戰第三日(二日午前十時三十分細尾リンク)の成績

京城4(2─1・1─0・1─0)1東北

城大、北大に惜敗

【日光電話】五帝大氷上ホッケー第二試合北海道帝大對京城帝大戰は三日午後日光細尾リンクで開始されたが、第一ラウンドで內川が京城は、第一ラウンドで內川がものにした一點を守つてゲームを進めたが、第三ラウンドに至り俄然立ち上つた北大のＦＷの速攻に脆くも敗されて遂に二對一で惜敗した

北海道2(0─0・0─0・2─1)1城大

城大軍再敗

【日光電話】第四回五帝大氷上ホッケーリーグ戰第五日は四日午前九時から日光細尾リンクで擧行成績左の通り

東京帝大5(3─0・1─0・1─0)0京城帝大

普成專門惜敗

對慶應ラグビー

【花園電話】第十四回全國學生ラグビー大會第二日は四日午前十時

急病題話

☆……我が最愛の愛人を奪ひ取つた憎い怨仇を殺してやると京城平洞町七八鍋負職ドイツ人ウエヘル氏(?)方へ元旦と二日の兩日に亙り押入り暴行を働いて西大門署で取調中の自動車の運ちやん金定某(?)

☆……昨年八月ごろから鍾路丁目飲路官部で給仕の明淑(?)に通ひつめ漸く女の心を獲得して同棲までしてゐたが、最近彼が製心、洋服和毛にあこがれてウエヘル氏に心を移してしまつた

☆……それとは些ざかも御存知ない御當人『彼女は決して僕を裏切るはずがない、あの野郎が邪魔にかゝつたのだ』と係官の前で絶對的な自信を振りまいてゐる

けふの天氣

北西の風晴れ寒い

勅題寫眞展覽會

懸賞募集

日時 一月七日から九日間

場所 京城丁子屋新築ホール

戰勝の春を讃へ本年半島寫壇のトップを切つて三百餘點の應募作品の中から嚴選された本社主催勅題『朝陽映島』寫眞の作品發表會は、愈よ七日から右記の如く開催、特選、准特選以下入選作五十八點を展觀して一般の觀覽に供することになつた、半島寫友をすぐつての力作をあつめて新春劈頭を飾るに相應しい展覽會と期待される

京城日報社

貯金生み出す 家計簿 主婦之友の 昭和十四年用 二大附録つき

三千圓 大懸賞つき

ハガキ一本で 一等五十名へ愛國公債十圓券、二等二百名へ流行名古屋帶、三等千七百五十名へ銘仙か中形か大當り大呼判

五大特長!

(一)初めての方にもつけ易い

(二)眼に見えぬ無駄金の流出が止まつて貯金が殖える

(三)日々の收支決算がそのまま月末の合計高になる。

(四)家計上の指導記事を滿載

(五)一度使ひ始めたら永久に使はずにはゐられない。

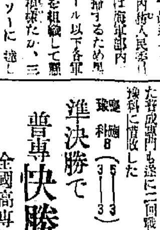
賣切迫る!

卷末附録 主婦日記

別冊附録 掛買ひ帳

定價八十錢(送料十錢) 東京・神田 主婦之友社

どんなに多くしても掛帳につけられる 不經濟がちな掛買ひもこれで經濟大好評



頭痛藥 テーリン

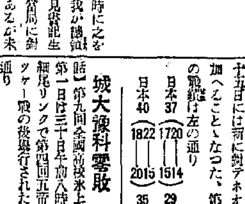
ヒステリの頭痛に テーリン

定價 二包入 金拾錢 四包入 金貳拾錢 七包入 金參拾錢 十三包入 金五拾錢 廿八包入 金壹圓

製造發賣元 東京市小石川區武島町 中村信治商店

京城府南大門通二丁目 株式會社 新井藥房

朝鮮總代理店 全鮮各地藥店にあり



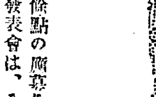
武田長兵衛商店

御慶 みんなノルモの客ばかり

胸やけ・げつぷ・胃痛に

ノルモザン錠

制酸と鎭痛 胃酸過多の治療



兵隊さんを慰問した 二少年のお土産話

「少年俱樂部」新年大增刊には、この外、面白い計畫、讀物や漫畫が一ぱいあつて少年諸君に大評判です。

少年俱樂部新年大增刊に

日本の犬の飼方 犬や DOG SHOP 日本畜犬合資會社

サンエッチ 靴を丈夫にする H.H.H. 靴クリーム

時局柄 鮮產絹織物 箕城織 京城直賣所

花柳病外科 京城黃金町 鳥崎病院 電本2736

皮膚泌尿性病科 醫學博士 渡邊晉 電本694

池田の甘栗 京城驛前 池田商會 電本七五九番

オバサンガ キタ ヲリコガ キタ

麗人荘【168】

竹田敏彦作 伊勢良夫畫

【禁無斷上演映畫化】

眞犯人（三）

昨日の午後七時一分——朝倉を乘せた特急ツバメは、沼津の驛に着くのだつた。

章子は、緋紗子と連れ立つて、さつきから、プラットホームに立つてゐた。

初めて許し合つた氣持で、沼津にも忘れぬ初戀の人朝倉を迎へるのだと思ふと、さすがに處女のやうな心のどよめきを覺えずにゐられなかつた。

「お母さま、もう三分よ……」

緋紗子は、何度も時計を見ては

母の心を思ひやるやうに、線路の向ふを覗き見た。

幸福を乘せてくるか？涙を乘せてくるか？——章子はしかし、薬子のこと、また大原家の騒動のことなどを考へると、折角歸つてくる朝倉の心が、何ら翳りはしないかと思つて、不安な想像ばかりに胸が騒いだ。

『緋紗子はあんなに言ふけれど、この不名譽な母子の者に、變らぬ心の手を伸べてくれるだらうか』

今日まで經驗した朝倉の、純一な熱情を考へると、緋紗子の言ふ通り心配はないはずだが、しかし今日の朝倉は、地位もあれば、名聲もあり、世間の立場がかなぐり捨てゝまで、この、二十年間厚意に反き通してきた、自分等を、庇つてくれるであらうか——

こんな想ひに耽けつてゐる間に

『あら、來ましたよ……』

緋紗子の聲に我に返ると、もう轟々の地響を立てゝ列車は、巨體を眼前に近づけてきた。

章子は瞬きもせず、一二等の車の窓を物色した

『あら……』

章子は、二等車の中程の窓から、ぢつとホームを凝視してゐる懐しい朝倉の顔貌を見た。

『ヤア……』

朝倉は、にっこり、以前のままの優しい微笑に頬を綻ばすと、すぐ窓際から立ち上つた。

やゝ肥り氣味に、堂々とした貫祿は具はつて來たが、十年見ないでも、二十年見ないでも、それは少しも翳りのない朝倉の笑顔だつた。章子は何か涙の溢れるやうな嬉しさ、懐しさに、心の底まで包まれた。

「ヤア……」

朝倉は、ホームに降りるとにこにこ近づいてきたが

「有難う……」

から言つて、いかにも嬉しさうに章子の手を握りしめた。そして、

「おう、これは、いい孃さんだ。緋紗子さんでしたね。私をおぼえてゐますか、はつはは」

快い笑聲を立てると

『さあ、行きませう……』

章子と肩を並べて出口の方へ歩いた。

『あの、お荷物は？』

章子は改札の外へ出ると、朝倉に訊ねた。

『名古屋へ下ろしてきましたよ。今晩は、お宅で世話になつて、いろいろお話をした上、明日東京で島田先生に御挨拶してそれから一度名古屋へ歸るつもりですから』

から言ひながら、赤帽の手から鞄を一つ受取つたきり、章子の待たせてある自動車に、並んで乘つた。が、暫くして

『ところで、薬子さんは、お家で待つてゐらつしやるんですか』

車が滑り出すと、朝倉が訊いた。

ラヂオ

五日（木）

新年宴會 第一放送

朝の部

午前六・五〇 ニュース
七・〇〇（東）時報
七・三〇（東）朝の修養 倫理會 道講草案講話（四）猪狩又藏
七・五〇（城）皇居遙拜、今日の天氣見込（咸興を除く）
七・五一（東）ラヂオ體操
九・二〇（城）氣象通報
九・三〇（東）童曲
（一）歌謠詩曲（齊唱）皆が往くかた（二）童謠（イ）戰勝の春（ロ）日の丸うさぎ（ハ）羽衣（ニ）兵隊さん（ホ）白衣の小父さん（ヘ）角兵衛獅子（ト）支那手品（三）愛國行進曲 朱絃會
一〇・〇〇（東）武運長久祈願 漢詩—香取・鹿島兩神宮
一一・五〇（大）海外市況

晝の部

正午（東）時報
午後〇・〇五（東）和洋合奏（一）長唄『靱猿三番叟』（二）胡弓曲『初雪』（三）長唄『都の春』 指揮 近藤信一 富士管絃樂團
〇・三〇 ニュース
新年こども大會
一・〇〇（東）第一部 第十一回JOAK新年こども大會—日比谷公會堂より中繼— 司會 關屋五十二 日本放送協會
一、御挨拶
二、君が代齊唱 樂務局長 關 正雄
三、吹奏樂（イ）歌のお國（ロ）錦旗の翻り 愛宕高等小學校ブラスバンド 指揮 小曜直之
四、童話 南支那のお土産 天野雅彦
五、ピアノ獨奏 變奏曲 ベートーヴェン作曲 平田美智子
六、獨唱（イ）仮けじろく（ロ）ゴーくタンク（ハ）ボクノオトウト ピアノ伴奏 桑原哲郎
七、ヴアイオリン獨奏（イ）軍隊行進曲 シューベルト作曲（ロ）無窮動 ギーム作曲 豊田耕兒
八、お話 お母さんの心 村岡花子
九、童話劇 戰場の提手 木馬童話劇研究會
三・〇〇（大）第二部 ラヂオスケッチ 少年航空兵 BKコドモ會
四・〇〇 ニュース（氣象通報・釜山・濟州）

夜の部

六・〇〇（名）木琴獨奏（一）行進曲『觀兵式の歸途』ソルゼン作曲（二）ソルゼンロスボルカ オーチス作曲（三）鞭と拍車 アレン作曲（四）カッコーワルツ ジョナソーン作曲（五）ロボロポルカ デヒン作曲（六）行進曲『軍人の精神』 伴奏 CKアンサンブル 渡邊秀子 指揮 吉川翠芳
六・二五（京）趣味講演 新春隨想 文學博士 成瀬無極
七・〇〇 ニュース・天氣見込
七・三〇（各局）前線將士に送る タ—新年郷土だより—
（熊本）（一）千羽鶴（錄音）（二）岩戸神樂（三）（イ）すりつき唄（ロ）羽根つき唄（四）肥後俚謠 めでたいな（五）俵ノ場正月風景（實況）（六）武道場（實況）護刀劍 宮崎縣岩戸神社有志 熊本市有志 吉句、附詩吟
（廣島）廣島だより（一）嚴島神社參拜實況（錄音）（二）新年拜賀式實況（錄音）（三）祝俵唄（錄音）
（大阪）（一）初詣（錄音）（二）大阪だより（三）石清水八幡宮頭新願祭（錄音）前野アナウンサー（四）詩吟 閑戰線將士鷗部習堂
（五）獨唱と齊唱（イ）前線の將士に捧ぐ（ロ）皇軍將士に感謝の歌（獨唱）阿部幸次（齊唱）大阪放送合唱團（伴奏）大阪ラヂオオーケストラ
（名古屋）新春ラヂオ風景（一）社頭の祈り（熱田神宮初詣錄音）（二）鄕土の歌（イ）御國萬歲（ロ）五萬石 知多郡子供連中（ハ）桑名の殿様（ニ）おばば（ホ）鄕土だより（ヘ）第三師團進軍歌 岐阜連中
（濱松）挨拶並新年郷土便り 濱松放送局長 附、酒井の太鼓 河西三省
（東京）（一）鄕土だより アナウンサー
（二）一文獅子 一文獅子連中
（三）木遣り 手古、くぜり、さだ、ふき子、雨げ、學太郎、榮三、ちやら、雛子連中
（新潟）俚謠 三階節 柏崎町有志（唄）吉次（三味線）霞校
（同）助六（太鼓）豆千代
（仙臺）一、獨朗文朗讀『戰地の兵隊さんへ』（仙臺）仙臺市荒町小學校四年生 佐々木英子（弘前）弘前市第一大成小學校六年生 服部啓之助
二、わらべうた（仙臺）（イ）お正月（ロ）雪（ハ）羽根つき唄（ニ）風 仙臺市片平丁小學校兒童（伴奏）小野カネ（指導）八巻さき
（秋田）（イ）雪ふみ遊び（ロ）お手々あはせ（ハ）子守唄（ニ）お手玉遊び（ホ）口遊び 秋田縣中川小學校兒童（指揮）阿部民彌
（山形）（イ）雪こんこん（ロ）夢を捨てるすなひことば（ハ）子守唄（ニ）羽根つき唄 JGコドモ會
（弘前）（イ）中々の地藏様（ロ）サガ作り（ハ）子守唄 弘前市朝陽小學校兒童
（盛岡）サンチョ・ナガホ（指揮）伊藤孝俊 盛岡市櫻城小學校兒童
（札幌）一、札幌神社初詣（錄音）
二、小學校拜賀式（錄音）
三、お正月便り『戰地のお父様へ』『御兄様へ』 男女小學生二名
四、挨拶『懐しき戰友の皆様へ』
五、俚謠・追分節
九・四〇（東）時報ニュース・氣象通報・明日の暦・翌日の番組
地方へのニュース

第二放送

午後〇・〇五（東）和洋合奏
一・〇〇 歌曲の午後
六・〇〇 お話『各地の正月遊び』 金通泰
六・二五 講演 新年展望（五） 李國夙
七・三〇 西道歌謠 李蓮子
八・〇〇 小說 金鮮英
八・三〇 唱劇調 朴錦球
九・〇〇 歌詞 李月延

童曲

【前九・三〇】 朱絃會

【一】歌謠曲（齊唱）わが往くかた 中村孝也作詞 平井澄子作曲

わが往くかたは山のあなた、榮匂ふ曙の國、風よ、吹けよ、曠野を越えて、この若駒を、そのかどに

わが往くかたは海のあなた、ひかりたゞよふ曉の國、浪よ起てよ、舳艫あげて風この操船をその岸に

我のあなた空のあなた、ほまれは矢まぬ國より、風よ、浪よ、吹けや、起てや、あゝ夜は明けぬ、日は出でぬ

【二】童謠

（イ）戰勝の春 聖戰作詞 平井澄子作曲

苦勞かさねた皇軍の、武漢三鎭陷ちたので、今年は樂しいお正月、うれしくく嬉しいな

皇軍戰勝この春は、漢口市街のはたみに、風にはためく日の御旗、どこへ行つても日の御旗

勝つておごらぬ日本の、お雜煮食べた兵隊さん『や失敬』と通つてゆく

（ロ）日の丸うさぎ 平井澄子作詞作曲

ピョンく兎白うさぎ、赤い日の丸きりぬいて、背中につけて飛び出した、生きてる國旗日の御旗

（あとからくピョンピョコリン跳んではねてるピョンピョコリン）以下（ ）內略

ピョンく兎白うさぎ、強い日本のしろうさぎ、みんな背中に日の丸で、御旗になつてとんで行け、

ピョンく兎白うさぎ、めでたい勝利のお正月、海越え山越え戰地まで、萬歲おめでとありがとゝ

（ハ）羽衣 葛原しげる作詞 梁田貞作曲 平井澄子作曲

あれ天人は羽衣の、舞をまひく踊り行く、風に袂がヒラくと、松原こえて大空の、霞に消えて昇り行く

あれかくれ行く松原は、三保の浦邊かなつかしや、漁の漁師は安らかに、榮え榮えよいつまでも、日本一の富士山も、霞の下に消えて行く

（ニ）兵隊さん 平井澄子作詞作曲

鉄砲持つて戰へば強い忠義な兵隊さん、子供にお手紙書く時にや、ニコくやさしい小父さんね、慰問袋をありがとい、兵隊さんからお手紙よ

手紙の書いたお手紙が一番うれしいと書いてある、甘いおいしいキャラメルを皆で食べたと書いてある、私の作ったお人形はマスコットだと書いてある

うれしいやさしいお手紙ね、ほんとにありがと兵隊さん、仲よし小よしお友達、みんなでよんで喜んだ、又お手紙を上げましよね、慰問袋も上げましよね

（ホ）白衣の小父さん 平井澄子作詞作曲

うれしい樂しいお正月、兵隊さんのおかげです、小父さんおけがは如何です、小父さん御病氣如何です、早くなほつて下さいね、元氣になつて下さいね

（ヘ）角兵衛獅子 山村耕二作詞 山本雅之作曲 平井澄子編曲

テンテレックピイドコドン、ピイピイテレックスッテンテン、笛や太鼓にはやされて、踊る越後の角兵衛獅子、手申はらがけチョイとかけて、もんぺ袴に鉢巻、踊りやテレック目が光る

チンテレックスッテンテン、ピイピイテレックスッテンテン、笛や太鼓にはやされて、踊る二人の角兵衛獅子、くるり逆立ちよいとわかれ、愛嬌ふるきの前後、踊りやテレック宙返し

（ト）支那手品 一谷清平作詞 平井澄子作曲

サアサ始まりで御座います、可愛い太夫がお目通り、御目をとめて御一覽、（ハタ、ドンチャンくジャランボン）（ ）以下略

支那の手品で御座います、これなるまりがあの箱へ、見事通へばおなぐさみ

今度は曲技で御座います、李さんさか立ちとんぼ返り、皿さんクルく皿まはし

これでおしまひで御座います、道具は箱にしまいます、皆さんありがと又あした

【三】愛國行進曲 內閣情報部撰

あすのきゝもの 六日（金）

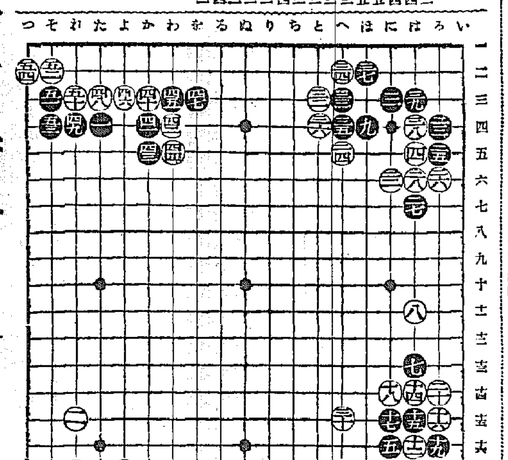
一〇・一〇 レコード音樂
午後〇・〇五（城）管絃樂 指揮 洪蘭坡
〇・〇五 雅樂（清樂）湖面の吹雪 淵本旭秋
〇・三〇 ニュース
三・〇〇（城）婦人の時間 時局下主婦の覺悟 井上美名子
六・〇〇（東）お話 お正月遊び〃科學〃凧上げと羽根つき〃 山下俊三
八・四〇（東）ラヂオコント

本社特選 牛島大棋戰

二段 松本薫
先 朝鮮棋院初段 任佑植

【4】

○四〇 か三　●四一 か四　○四二 わ四　●四三 か五　○四四 わ五　●四五 わ三　○四六 よ三　●四七 を三　○四八 た三　●四九 れ四　○五〇 れ三　●五一 そ三　○五二 そ二　●五三 そ四　○五四 つ二



左上に新手 此場合に處して面白き手段

講評 七段 瀬越憲作

◇昨紙に、黑三三は手拔きして『れノ十三』に打つのが、急務であることを提唱し、さうした場合右上隅が如何にして安全か、その具體的解說を保留して置いた。それは參考圖（一）以下に依つて首肯されるであらう。

參考圖（1）先づ白一と囲を打つて三とノゾキ、さうして五と打つて來れば、これは黑六とハネて簡單に活きである。

手順中白三で五なら、黑三の斷にカケツイで活きる。

參考圖（2）白一と單にケイマして來たら、黑二とマガつて斷る。次いで白三と出て黑四とオサへた時、五とハサミツケれば、以下二十となつて黑活きである。

斯うなつた場合本譜黑二七のノゾキは惡手となる。即ち黑二七白二八の交換がなければ、同圖黑二十とアテゝ先手活きとなるからである。

參考圖（3）白三で斷くトビ込めば、必然の手順を選び黑十二で活き。

何白九で『い』にハネて頑張る劫爭は一寸打切れないであらう。

正着ではあるが

◇白四十で『とノ五』の肩をツイで居れば本物だが、白として左樣なことでは、先方の勢力を輕ぶことは容易でない。

要するに白は四十とカゝつて上邊に勢威を張り、因つて『とノ五』のキリを直接的に窺はうとの肚なのである。

◇黑四一で『たノ六』に受ければ、白は『わノ六』にトンで打つ心算なのであらうが、それで白が良いとは限らない。

◇白四四では四六にノビ黑四八と交換して、然る後四四にオシて打つべきである。

◇黑四三で四五にキル手は、往々にして見受けるが、黑四三白四四となつてから、四五とキツたのはあまり見掛けない。が、この場合ではキビシく面白き手段である。

とはいへこれで四六にオサへ白四五黑『かノ六』と、實利の大に就く斯かる場合の常套手段に優るとは斷言出來ない。

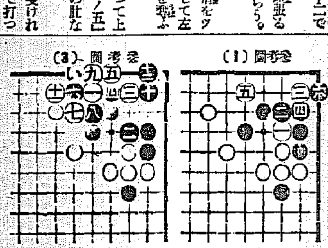
黑四五とキレば、以下五一までは當然の運びである。

◇茲で白は五二と素直くオサへ黑五三白五四と隅が活きたが、五二で『よノ四』黑『よノ五』白『たノ五』と田切る手段はないであらうか。それを一つ調べて見よう。

參考圖（4）白一、三に對して黑は、黑四とアテ六とツグ一手である。以下黑二二までの結果が想定され、隅の黑は全滅となるが、獲得した厚肚な外勢は、その損失を償つて何餘りあるから、これは明らかに黑が有利の戰れである。

右手順中白十三で『い』に打つて二手を逃げ出すと、黑『ろ』で隅の白を取られて了ふ。

◇隅白五二、五四は已むを得ない處置なのである。



當代一流 爭覇戰譜【第十局】

平手 四段 加藤富久
先 四段 志澤春吉

（圖は前回七八金引迄の局面）

【持駒】加藤氏 角香歩八　【持駒】志澤氏 金歩歩

（持時間各七時間）

觀戰記 六段 飯塚勘一郎

攻撃チャンスを逸す 激烈果敢な後手の反撃

前局充實せる奥野氏を破擊した加藤四段は相變らず本局に於いても、前回の策戰を踏襲して一旦受けて然る後反擊するの指法に出たのは、特に自己の得意とする戰法を試み、その特徴を遺憾なく發揮せんとする氣持の現はれで第三局に於ける五二金締めが即ちそれである。これに對して志澤氏が第三局五八金と締める處で、敢しく四六銀と挑攻するかと思はれたが、奥野氏の失敗に懲り、四六歩の指法を用ひたのは敵の出様如何に依つて、急、持久の兩用策を狙つたものであつた

但し後手の第三局四四歩に對し六八銀以下三七桂と跳ね、彼我共に攻勢策に轉じたのは、日頃の棋風が然らしむるものであるらしく、比較的温和な受けを特長とする志澤氏に於ては、むしろ意外と思はれる程の強硬決意であつた。只策戰遂行に當つて第四局後手三三角に對し折角の攻勢位置にある飛を二八へ退いたのは、まことに遺憾であつた。當然四七金と立ち、後手五十角の時三五歩と挑むべきで、敵に七三角と要所に利かされては、先手は下の攻勢に困難を來たし、敵に反撃される端緒を胚胎した。むしろ志澤氏が同じ飛を退くなら二九飛と深く退いて置けば、敵に七三角と覗かれても、自陣に敵角の見透しがないから、四筋攻略の端緒を摑み得た筈である。これが爲め最も重大なる機に手戻りを招いたのは、返すくも殘念の到りであつた。後手方加藤氏が此間素早く反攻め然も角を犠牲にして三八銀と要所を衝いた攻法は、日頃の面目躍如たるものがあつたのみか、これに依つて完全に研勢を確保したかの觀があつた

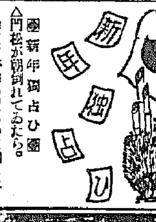
想ふに先手方の敗因は折角攻勢を持續しつゝ途にその機を摑み得ずして、敵に逸早く逸脱されたのが、抑々の原因で、これを觀ると如何に機會を逸する事が重大な結果を及ぼすものであるか、讀者にも充分お解りになつたであらう。第六局以下志澤氏も隨分苦戰したが、加藤氏より間違ひなく應酬され遂に挽回の餘地がなかつた

日本海汽船 北鮮連絡航路

敦賀行 清津發 はるびん丸 六の日 さいべりや丸 一の日 一・六・十一・十六・廿一・廿六日前十時
羅津發 同日發五時
雄基發 翌々日前八時

新潟行 清津發 月山丸 八の日 三の日 三・八・十三・十八・廿三・廿八日前十時
羅津發 同日發五時
雄基發 翌々日八時

切符販賣所 雄基・羅津・清津・元山 北日本汽船會社在清津 日本海汽船會社在新潟
●乘車船通し切符は鮮滿各主要驛・各地ビューロー案内所で發賣す



■新年獨占ひ■

△門松が朝倒れてゐたら。昨夜君が醉つぱらつて倒したのを忘れたのかね。何處か打身でもしてゐたら早速ママーの貼薬を貼り給へ。

△追羽根で負けたら 君が下手糞なんぢやよ。腕ばかり磨らしてみつともない。ママープラスターをお貼りなさい。

△歌留多で。つたら。相手が子供で歌留多はイロハ歌留多ぢやないか君、まあ夜更しして神經痛でも起さぬ様ママーの貼薬の御用心。

△所で發賣元と定價は。成程、肝腎要のそれを知らんとはいやはや、東京市神田區鍛冶町大木合名會社が發賣元で、定價は廿錢、卅錢、五十錢、一圓。ママープラスターが本名で一名ママーの貼薬と言ひ何處の薬店にもある。